

ラオス人民民主共和国
有機農業促進プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成28年7月
(2016年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

農村
JR
15-069

ラオス人民民主共和国
有機農業促進プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成28年7月
(2016年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

序 文

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、ラオス人民民主共和国（以下、「ラオス」と記す）と締結した討議議事録（R/D）に基づき、2013年9月より技術協力「有機農業促進プロジェクト」を実施しています。

今般、本プロジェクトの協力期間終了を約6カ月後に控え、協力期間中の活動実績などについてラオス側と合同で総合的な評価を行うとともに、今後の対応策などを協議するため、2016年2月21日から3月5日まで、当機構の清家政信国際協力専門員を団長とする終了時評価調査団を現地に派遣し、プロジェクト活動の評価を行いました。

本報告書は、同調査団によるラオス政府関係者との協議及びレビュー結果などを取りまとめたものであり、本プロジェクト並びに関連する国際協力の推進に活用されることを願うものです。

最後に、本調査にご協力いただいた両国の関係者各位に対し、心からの感謝の意を表すとともに、今後の更なるご支援をお願い申し上げます。

平成28年7月

独立行政法人国際協力機構

農村開発部長 三次 啓都

目 次

序 文

目 次

プロジェクト位置図

現地調査写真

略語表

評価調査結果要約表（和文・英文）

第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	1
第2章 プロジェクトの概要	2
2-1 プロジェクトの背景	2
2-2 プロジェクトの要約	2
第3章 評価調査の手法	4
3-1 調査手順	4
3-2 評価項目	4
第4章 プロジェクトの実績と実施プロセス	5
4-1 プロジェクトの実績	5
4-1-1 投入の実績	5
4-1-2 活動の実績	6
4-2 成果の達成状況	6
4-2-1 成果1の達成状況	7
4-2-2 成果2の達成状況	8
4-2-3 成果3の達成状況	9
4-3 プロジェクト目標の達成状況	10
4-4 プロジェクトの実施体制並びに実施プロセス	12
4-4-1 実施体制	12
4-4-2 活動進捗のモニタリングと共有の仕組み	13
4-4-3 技術移転	13
第5章 評価5項目による分析	14
5-1 妥当性：「高い」	14
5-2 有効性：「高い」	16

5-3	効率性：「比較的高い」	16
5-4	インパクト：「中程度」	17
5-4-1	上位目標の達成見込み	17
5-4-2	波及効果	18
5-5	持続性：「比較的高い」	20
第6章 結 論		24
第7章 提言及び教訓		25
7-1	提 言	25
7-2	教 訓	27
第8章 技術面総括		28
8-1	有機農業に関する技術普及について	28
8-2	OA 認証に係る検査体制について	28
8-3	OA に関する意識啓発について	29
8-4	OA 農産物のマーケティングについて	29
第9章 団長総括		30
9-1	空中戦と地上戦	30
9-2	「消費者」はどこに？	30
付属資料		
1.	合同評価報告書（含む PDM）	35

プロジェクト位置図



現地調査写真



農林省農業局（DOA）におけるキックオフ会合
（左端：局次長及びラオス側評価団）



農業局規格課（STD）カウンターパート(C/P)
インタビュー（左から：課長、基準開発ユニット長、
認証・OA 戦略計画策定担当）



クリーン農業開発センター（CADC）へ
供与したトラクター



CADC での専門学校生受入れ
〔有機農業（OA）の知識や実習風景〕



CADC 展示圃場



CADC グリーンハウス
（施設整備供与）



ビエンチャン市内仮設有機農業マーケット
(月、木曜開設)



ビエンチャン有機農業生産グループ理事への
インタビュー



ビエンチャン有機農業生産グループ理事長への
インタビュー (Nontae 村)



有機農業認証証明書



ビエンチャン有機農業生産グループ理事長の
野菜圃場
(主人が会長で多忙で、奥さんが現在主体に栽培中)



首都ビエンチャンの県農林局 (PAFO) の C/P



Organic Home 店内
(展示準備中)



Organic Home で販売される有機野菜
(今回の視察のために準備された見本)



OA 戦略計画
(ラオ語最終版)



第3回合同調整委員会 (JCC) での
合同評価レポート署名

略 語 表

略 語	欧 文	和 文
ACT	Organic Agriculture Certification Thailand	タイの有機農業認証機関（NGO）
ANRD	Agriculture, Natural Resources, and Rural Development Sector Strategy to 2020	農業・自然資源・農村開発セクター戦略
CADC	Clean Agriculture Development Center	クリーン農業開発センター
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAFO	District Agriculture and Forestry Office	郡農林事務所
DAC	Development Assistance Committee	（OECD）開発援助委員会
DDG	Deputy Director General	局次長
DG	Director General	局長
DOA	Department of Agriculture	（農林省）農業局
DOPC	Department of Planning and Cooperation	計画協力局（農林省）
EOJ	Embassy of Japan	在ラオス日本国大使館
GAP	Good Agricultural Practice	農業生産工程管理
GOJ	The Government of Japan	日本国政府
GOL	the Government of Lao PDR	ラオス政府
ICS	Internal Control System	内部監査システム
IPM	Integrated Pest Management	総合的病害虫管理
ISO	International Organization for Standardization	国際標準化機構
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JFY	Japanese Fiscal Year	会計年度（日本）
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
LAK	Lao Kip	キープ（ラオスの通貨単位）
Lao PDR	Lao People's Democratic Republic	ラオス人民民主共和国
LCB	Lao Certification Body	ラオスの有機認証制度
LOAPP	Lao Organic Agriculture Promotion Project	ラオス有機農業促進プロジェクト
LPP	Laos Pilot Program	ラオス・パイロット・プログラム
MAF	Ministry of Agriculture and Forestry	農林省
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録（覚書）
MOFA	Ministry of Foreign Affairs	外務省（日本）
NSEDP	National Socio-Economic Development Plan	国家経済開発計画
OA	Organic Agriculture	有機農業

ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
OJT	On-the-Job Training	オンザジョブ・トレーニング、実地 訓練
PAFO	Provincial Agriculture and Forestry Office	県農林局
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリッ クス
PGS	Participatory Guarantee System	参加型有機認証システム
PO	Plan of Operations	活動計画
PVP	Plant Variety Protection	植物品種保護
QM	Quality Manual	品質管理マニュアル
R/D	Record of Discussions	討議議事録
SOP	Standard Operating Procedures	標準手順書
STD	Standard Division	(農林省農業局) 規格課
TIEP	Technical Information Exchanging	技術交換事業 (JICA)
TOT	Training of Trainers	指導員育成研修
USD	United States Dollar	米ドル
VOAPG	Vientiane Organic Agriculture Production Group	ビエンチャン有機農業生産グルー プ
VTE	Vientiane Capital	首都ビエンチャン

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ラオス人民民主共和国	案件名：有機農業促進プロジェクト（LOAPP）
分野：農業開発	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：農村開発部第一グループ	協力金額（評価時点）：1億9,900万円
協力期間 (R/D)：2013.9～2016.9	先方関係機関：農林省農業局（DOA）
	日本側協力機関：農林水産省生産局
	他の関連協力：
1-1 協力の背景と概要 <p> ラオス人民民主共和国（以下、「ラオス」と記す）ではこれまで農薬の使用頻度が低く、農薬の残留程度は極めて低いことに加え、周辺の農薬使用地からも隔離しやすいため、商品作物生産としての有機農業（Organic Agriculture：OA）は高い潜在力があると考えられている。農林省（Ministry of Agriculture and Forestry：MAF）は2005年にNGOとの協調により、「有機農業基準に関するラオス国農林大臣決定」を策定し、2006年からラオス有機農業基準が施行されている。 </p> <p> しかし、認証・検査を担う農林省農業局規格課（Standard Division：STD）に所属する検査官全9名のうち実際にラオスOA認証に沿った認証・検査を行える人材は4名（2014年時点）にすぎず、認証・検査の手続きに約半年を要するなど十分機能していない。生産者レベルでは、首都ビエンチャンでラオスOA認証を受けた農家組織が19カ所（2014年12月時点）に上るものの、一部のOA生産者の品質管理に課題が残るとされるほか、農家組織の内部監査システム（Internal Control System：ICS）や行政からの技術指導の不足、国内の市場までの輸送や流通の問題により、市場の要望に沿った生産や民間企業との連携は十分行われていない。 </p> <p> このような状況下、ラオスの有機認証制度（Lao Certification Body：LCB）の構築、市場への関与（強化）を通じて農家の収入向上を図ることを目的として、独立行政法人国際協力機構（JICA）は技術協力プロジェクト「有機農業促進プロジェクト」（以下、本プロジェクト）を2013年9月から3年間の予定で開始した。本プロジェクトは、①OA開発における国家戦略（以下、「OA戦略」）の作成、②OAを技術的にサポートするクリーン農業開発センター（Clean Agriculture Development Center：CADC）の能力向上や、③STDのOA認証に係る審査能力向上等を通じ、OAを促進するための体制を強化することをめざしている。 </p> <p> 2015年2月には、本プロジェクトの中間管理ミッションが派遣された。そこでは、OAの裾野を広げていく視点で活動を行うことの必要性や、輸出振興のための情報収集や出口戦略の重要性などが指摘された。 </p> <p> 今回の終了時評価調査は、2016年9月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績、成果を確認・評価するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言や類似事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。 </p>	
1-2 協力内容	
(1) 上位目標	
OA促進のための体制が機能する。	

(2) プロジェクト目標

OA 促進のための体制が強化される。

(3) 成 果

- 1) OA 戦略が作成される。
- 2) OA 促進のための CADC の能力が向上する。
- 3) OA 促進のための STD の能力が向上する。

(4) 投入 (2016 年 1 月末時点)

日本側：総投入額	1 億 9,900 万円
長期専門家派遣	3 名
短期専門家派遣	3 名
第三国専門家派遣	10 名
ローカルコンサルタント	3 社
(OA 市場調査、OA 市場分析、トレーナー養成)	
研修員受入 (本邦)	20 名
(集団研修受講者 5 名含む)	
第三国研修 (タイ)	13 名
機材供与	約 1,800 万円
ローカルコスト負担	約 3,210 万円
その他 (圃場整備等)	約 2,640 万円

ラオス側：

カウンターパート (C/P) 配置	累計 23 名
首都における事務所・会議室の提供、事務所光熱費の支出	
ローカルコスト負担	9 億 1,900 万 Kip

2. 評価調査団の概要

調査者	<日本側>	
	団長／総括	清家 政信 JICA 国際協力専門員 (貧困対策)
	農業政策	瀬尾 充 農業政策アドバイザー (現地参団)
	協力計画	大槻 和弘 JICA 農村開発部第一グループ第一チーム特別嘱託
	評価分析	松本 彰 A&M コンサルタント (有) 代表取締役
	<ラオス側>	
	団 長	Mr. Khamtanh THADAVONG 農林省農業局 (DOA) 次長
	団 員	Dr. Phanpradith PHANDALA DOA 計画協力課長
	団 員	Mr. Hadsady SISOUVANH DOA 管理課長代理
	団 員	Mr. Vongsavanh VONGKAYSONE 農林省計画協力局 (DOPC) 国際協力課長代理
調査期間	2016 年 2 月 21 日～3 月 5 日	評価種類：終了時評価

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果

成果1：有機農業開発国家戦略（OA 戦略）が作成される。

指標：合同調整委員会（Joint Coordinating Committee Meeting：JCC）のメンバーが JCC において戦略計画に合意する。

成果1は達成された。

OA 戦略の作成をめざし、これまで複数の短期専門家による協力や調査、さらにはワークショップを通じて執筆作業が行われた。最終版は JCC メンバー内の了解を得たのち、DOA 局長により承認された。OA 戦略は、DOA 局長の承認をもって MAF の承認として取り扱われるため、現況は指標で設定された以上のレベルで活動が実施されたこととなる。なお、次の段階として製本、配布される予定。

成果2：OA 促進のための CADC の能力が向上する。

指標：OA に係る指導員育成研修（Training for Trainers：TOT）を実施できる CADC のトレーナーが8名に増加する（現状4名）。

成果2は達成された。

CADC との協議を経て作成された「能力評価シート」（OA 知識、OA 技術、マーケティング、マネジメント、指導技術の5つの大項目）を基に、短期専門家指導により技術移転が行われた。能力評価の結果は、OA 技術について全般的に高いものの、指導技術、マーケティング、マネジメント能力について改善の余地があるとされた。その後、長期専門家のフォローや継続研修の結果、能力向上が図られ、当初の計画どおり活動は順調に行われている。また、実用的で簡易な TOT 教材（パワーポイントスライド、紙芝居形式とポスター形式の普及教材も含む）も CADC 職員とともに作成されている。これまで CADC にはトレーナーが4名しかいなかったが、CADC が独自に TOT やオンザジョブ・トレーニング（OJT）を行うことで他職員をトレーナーとして養成した結果、2015年には能力評価に合格した人材は10名に増加した。

成果3：OA 促進のための STD の能力が向上する。

指標 3-1：LCB 認証による取り扱いと行動を示す国際規格（例：ISO17065）で求められる項目の少なくとも70%をカバーする方針文書を STD が策定する。

指標 3-2：STD の検査官全員が、規定に沿って単独で圃場検査を実施できる。

成果3はおおむね達成の見込み。

指標 3-1 に関して、第三国講師による指導やワークショップ開催を通じて、現行の LCB を ISO/IEC17065 に合致したシステムにするための関連文書の整備など、国際規格によって求められる項目を100%カバーするだけの文書が揃えられるに至った。

指標 3-2 に関して、STD 職員の能力も、講師からの OJT 指導やタイの有機農業認証機関（Organic Agriculture Certification Thailand：ACT）によるインターン研修（ラオス国内で開催）等の機会の下に徐々に向上しており、2015年時点では6名がプロジェクトで実施した能力評価において単独で圃場検査を実施できるレベルにあると判定された。加えて、2名の職員が間も

なく ACT 検査官としての認定を受けるめどが立ったなど、当初想定していた認証プロセスの改善及び検査官の能力向上が一定程度図られている。

(2) プロジェクト目標

目標：OA 促進のための体制が強化される。

指標 1：対象地域の県農林局（Provincial Agriculture & Forestry Office : PAFO）／郡農林事務所（District Agriculture & Forestry Office : DAFO）職員（作物担当）の少なくとも 50% が OA 基準の理解度テストに合格する。

指標 2：OA 認証に要する期間（完全な申請書の受理から認証の通知まで）が 4 カ月を超えない。

プロジェクト目標は、本プロジェクト終了までに達成される見込み。

指標 1 について、これまで 2 回の PAFO/DAFO 職員への研修実施の結果、目標数値（50%以上）の合格率を超えている。

指標 2 について、プロジェクト開始時は所要時間が 7 カ月であったが、2015 年時点で 6.4 カ月と目標値には達していない。しかし、時短の阻害要因が明らかにされており（OA 認証審査会議が、各セクションの担当者の都合が合わず頻繁に開催できないなど）、対応策（各セクションから代理人を立てることを可能とし、審査会議を毎月開催するなど）が今後実施に移され、プロジェクト終了時点で目標値に達する見込みが立てられている。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：高い

1) 国家政策上の位置づけ

ラオス政府は、2006 年に「クリーン農業」を重要な国家政策目標に掲げており、MAF の「農業開発戦略 2011～2020 年」や「2025 年までの農業開発戦略と 2030 年のビジョン戦略」において OA が、消費者にとっては安全な作物の生産、持続的な生産、自然資源の保全、農家にとっては収入の機会として重要な役割を果たすことが期待されている。

2) 対象グループ・受益者のニーズ

対象グループとなる機関・部署は、どれも OA を促進するために必要な機関・部署であり、これら行政機関の関係部局への体制整備と能力強化に関する介入は不可欠である。また、OA を技術的にサポートする CADC において、圃場整備の一部をプロジェクトで支援したことは、クリーンで付加価値のある農業、商品作物振興を進めるラオス政府の方針に沿っており、研修・展示圃場の目的や、OA の新しい試験栽培や生産技術の発展のために有益である。

3) カウンターパート（Counterpart : C/P）の配置

本プロジェクト活動には、必要な部署から適切な立場の職員が配置されており、人事異動が生じてもおおむね適切に補充が行われている。また、プロジェクト・マネジャー（現 CADC 所長）の活動に対する貢献度は高い。

4) わが国援助政策との関連、JICA 国別事業実施計画上の位置づけ

日本政府の対ラオス国別援助方針では、援助の基本方針にミレニアム開発ゴールの達成及び最貧困国からの脱却への支援を掲げ、4 つの重点分野の 1 つとして「農業の発展と森林の保全」を柱に据えている。これに従い、JICA の対ラオス事業展開計画では、「農業の発展と森林の保全」において、農水産業の生産性向上と自給型から市場型への段階

的發展を小目標とした「農業・農村開発及び農水産行政強化プログラム」を設定している。本プロジェクトはこのプログラムに該当する協力であり、農家収入の向上によって貧困削減を推進する戦略のひとつとして位置づけられる。

(2) 有効性：高い

プロジェクト活動は計画どおり実施され、協力終了時点ですべての成果達成が見込まれており、プロジェクト目標は達成可能と判断できる。ラオス国の OA 促進のためには、行政側の体制強化として、CADC 及び STD の能力向上、認証体制の整備、中・長期的視野での活動や役割分担を OA 戦略に示すことが必要であり、この観点で本プロジェクトは十分な貢献をしたと考えられる。

(3) 効率性：比較的高い

一部に活動の遅滞があるが、活動はほぼ計画どおり実施されており、活動内容に対する投入の量は概して適当であった。特筆すべきは、第三国専門家やローカルコンサルタントを活用したことであり、派遣時期の調整などの困難はみられたものの、費用対効果の面では日本からのリソースに頼ることよりも効率的であった。一方、OA 促進の観点からは、ラオス側による更なる人的・財政的リソースの確保が求められる。

(4) インパクト：中程度

1) 上位目標の達成度

上位目標：OA 促進のための体制が機能する。

指標 1：プロジェクトの終了後、PAFO/DAFO 技術職員、農家グループ、その他に対して、OA に関する CADC の研修が 40 回を超えて実施される。

指標 2：CADC 及び PAFO/DAFO の研修を受けた OA 農家グループに対して STD が検査と認証を行う事例が 4 倍に増加する（現状 2 事例が 8 事例に増加）。

指標 1 について、プロジェクト期間の 3 年間（終了時評価の時点で 2.5 年が経過）で、OA に関する CADC 主催の研修（PAFO/DAFO 職員や農家グループに対する研修）実績は、2013 年 32 回、2014 年 13 回、2015 年 16 回であった。

この実績推移から考えると、数年後に「毎年 40 回を超える研修の実施」は不可能である。同指標は、プロジェクト開始年の 2013 年の実績「32 回」を基準に増加傾向を想定した推定指標であったが、ここには、他ドナー等の支援により実施された研修が含まれていた。その後、他ドナー等の支援による研修が減少し、研修回数は 2013 年レベルより少ないものとなったが、ドナーの支援を想定せず実施する研修として考えた場合、2014 年、2015 年の実績をベースに発展させることが現実的であると考えられた。そのため、調査団は同指標を「毎年 20 回以上」と改定することを提案した。

指標 2 について、新規に認証検査を受けた事例数は、2013 年 3 件、2014 年目 2 件、2015 年目 2 件であった。他方、認証更新のための検査件数を含めた合計数は、同 18 件、12 件、11 件となる。

これまでの状況にかんがみれば、CADC や PAFO/DAFO が農家に対して OA 研修を実施したことが直接的に検査・認証件数の増加に結びつくとはいえず、むしろ、これらの研修受講の有無にかかわらず、新規・更新も合わせた総数が増加しているかどうかを確

認することが、OA 促進の状況をみるうえで妥当であると判断された。そのため、これまでの実績を踏まえて考慮した結果、調査団として同指標を「年 10%増加」（新規のみならず更新申請も含む）と改定することを提案した。

上述のとおり、現在の指標では本プロジェクトの効果を適正に測ることができないが、調査団が提案する指標（改定案）に沿ってみれば、上位目標の達成が見込まれる。

2) 波及効果

以下の波及効果が確認された。

① ビエンチャン市内の新たな販路開設（常設店舗「Organic Home」）

2016年4月に開店予定の同店舗は、農家にとって恒久的な売り場が確保されるだけでなく、市民へのOAに対する認知度を高め、生産者と消費者との距離を縮める「架け橋」となることが期待される。

② OA 農家グループの運営管理意識の向上

店舗経営や会計などの基礎研修を通じて、OA 農家グループは生産管理やマーケティングの面に取り組む意識が高まってきている。

③ CADC の展示圃場の有効活用

CADC における圃場整備・拡充や職員への研修により、OA の新たな試験栽培への応用性が高まり、習得された技術の利用や適用化が始められている。また、同圃場は、視察・展示の目的以外にも農学生の受入れなど OA を実習する場となっており、将来の人材育成の拠点としての可能性を上げた。

④ 負のインパクト

特にみられない。ただし、OA の長期的な波及のためには、行政側の体制整備だけでなく、OA 実践の便益が広く農家レベルや購買者（消費者、民間セクター、観光客等も含む）にも享受できるよう、より広範な視点が求められる。

(5) 持続性：比較的高い

1) 政策的側面

2025年までの農業開発戦略案ではOAを含むクリーン農業の優先度が高く、本プロジェクトで策定されたOA戦略の実施にも期待がもたれ、政策面の持続性が見込まれる。

2) 組織・制度的側面

OAなどクリーン農業の推進を支援・実施する基礎的な体制がDOA内にあり、農家グループや企業のニーズに応じて、OA認証・検査、技術指導、研修など、行政サービスの提供を行うことが役割として定められていることから、中央レベルの制度面の持続性が見込まれる。

3) 技術的側面

OAに関する知識や実践的技能をC/Pが習得することで能力強化や人材育成が図られた。今後は、こうした人材が、指導者としてPAFO/DAFO職員や他職員に対しても技術移転を展開することが期待される。

4) 財政的側面

OAの政策面での優先度は高く、OA戦略も公式文書として承認されるなど、OA促進に係る予算計画が策定されている。他方で、本プロジェクトの実施期間中は、ラオス側が活動予算を要求しても年度当初に予算配分が間に合わないなど、国全体の問題として

予算の負担には制約がある。しかし、CADCでは、試験栽培した有機野菜の販売益を正規の予算配分が得られるまでの代替資金として活用することで、研修の実施や圃場整備、プロジェクトで拡充した機材設備の維持管理など、必要最小限の資金運営を独自に行っており、持続性に向けた工夫と前向きな姿勢がみられる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

本プロジェクトでは、初期段階ではOAの促進における行政制度面の強化が中心であったが、中間管理ミッションでは、農家側のニーズに基づいた活動の重要性が助言された。これを受けて、プロジェクトでは農家グループがマーケット活動を学ぶ場として常設販売所「Organic Home」の設立支援などを行った。こうした農家側の直接的なニーズにも対応することで、プロジェクトの波及効果が拡大することにつながった。

(2) 実施プロセスに関すること

ラオス側C/Pの強いコミットメントが以下の点に寄与した。

- 1) OA戦略策定・承認やOA圃場の整備などに進捗の遅れが生じても、限られた期限内に完了することができ、効率性の向上に寄与した。
- 2) STD自らのイニシアティブによりOA戦略策定チームが設立され、内容を最終化させたことで、持続性を高めることに寄与した。
- 3) CADCでは、職員の自発性により、展示圃場におけるOAの実証実験や実習・研修が実施され、持続性向上に寄与した。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

OAの普及が新規のOA申請・認証の件数増加につながるという論理が必ずしも成立せず、上位目標の指標にプロジェクトが介入した効果が現れにくい部分がみられた。これについては、指標の改定を行うことで現実に即した状況確認ができるめどがあった。

(2) 実施プロセスに関すること

- 1) CADC職員の一部が異動したため、OA指導者チームとしての能力向上に時間を要したが、CADC内部で若手への指導や実習経験を積ませるなどチーム力の保持・強化に努めた結果、プロジェクト目標に負の影響は及ばなかった。
- 2) STD幹部職員の過重な業務によりOA認証審査会議が予定どおりに開催できず、プロジェクト目標である認証プロセスの時短が十分に進まなかったが、審査会議に出席する各部署が代理人を立てる制度を設けるなど対策を講じたことにより、今後時短化が達成される見通しが立った。

3-5 結論

これまでのプロジェクト活動はおおむね良好に実施されている。一部の指標の達成状況が当初予定より進んでいない点もあるが、解決策が示され改善の見通しが立ったため、実施期間の終了までにプロジェクト目標は達成されると見込まれる。よって、本プロジェクトは当初予定どおり、討議議事録(R/D)記載の期間である2016年9月をもって終了する。

3-6 提言

(1) 今後の活動内容の整理

今般の終了時評価後に行うべき活動を整理した。そのうち、協力期間終了後に対応すべき項目は以下のとおりとなる。

- 成果1
- ・OA 戦略/ロードマップに沿って活動を実施する。
 - ・OA 戦略/ロードマップの進捗と各活動の実施状況を確認する。
 - ・OA 戦略を改良/改定する。
- 成果2
- ・CADC が TOT（上級レベル）のカリキュラム策定と教材の開発を行う。
 - ・OA トレーナー養成のため、CADC が PAFO/DAFO 職員向け TOT 活動の強化を図る。
 - ・対象各県に OA 市場を設置する。
- 成果3
- ・検査業務を PAFO へ移管するための方法を協議する。
 - ・LCB が他の国際認証基準との間で同等性を獲得する。
 - ・他国の認証システムの検査官として認定されるよう、職員への研修を継続実施する。

(2) プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) 及び活動計画 (PO) の改定

以下のとおり、今回の調査結果から PDM 及び PO の改訂につき提言を行った。

1) 活動項目の明記

プロジェクトで整備を支援している倉庫、パッキングハウス、グリーンハウス、常設販売所 (Organic Home) が現行の PDM 上に分かりやすく整理されていないため、以下のとおり、2つの項目を成果2の活動項目として追加明記するよう提言を行った。

2-2 : CADC における研修や実演に必要な施設を整備・改修する (倉庫、パッキングハウス、グリーンハウス等)。
--

2-10 : 農家グループ/農家に対するマーケティング活動を支援する (有機農産物の常設市場等)。

2) 上位目標指標の修正

上位目標の指標2点は、どちらも数値設定が実際の状況に対して高く、適切ではないと判断されたため、以下のとおり改訂につき提言を行った。

指標1 :

現在	プロジェクトの終了後、PAFO/DAFO 技術職員、農家グループ、その他に対して、OA に関する CADC の研修が 40 回を超えて実施される。
改定案	プロジェクトの終了後、CADC 及び PAFO/DAFO による農家への OA に関する研修が年間 20 回を超えて実施される。

指標 2 :

現 在	CADC 及び PAFO/DAFO の研修を受けた有機農家グループに対して STD が検査と認証を行う事例が 4 倍に増加する（現状 2 事例が 8 事例に増加）。
改定案	有機農家グループに対して STD が検査と認証を行う事例*が毎年 10%づつ増加する。 * : 「事例」とは、新規申請事例のみでなく、認証更新の事例も含む。

(3) オーガニック・ホーム (Organic Home) への支援

有機農産物の常設販売所である「Organic Home」は、ビエンチャン有機農業生産グループ (Vientiane Organic Agriculture Production Group : VOAPG) により運営されるが、今後の継続と経営力向上にはビエンチャン首都 PAFO による協力と支援が不可欠となる。日本側の支援は技術面での助言と実地訓練に限られ、店舗が完成すれば運営コストは VOAPG が賄うこととなる。OA 促進と市民の認知度向上の観点から、MAF が VOAPG に対して ICS や検査・認証、促進活動等に関する研修の機会を設けることを提言した。

(4) 関係者間の相互コミュニケーション

意見聴取などを通じて、農家側は CADC や PAFO レベルに技術的助言を期待している反面、行政側は、農家から要望が出てこないと認識しているなど、関係者間でニーズや認識についてのギャップがあることが確認された。サービス提供者として DOA、CADC、PAFO/DAFO は、提供できるサービスの内容について広く、分かりやすく農家グループ／農家側に伝えていく必要がある。そのためには、農家グループ／農家側との相互コミュニケーションの機会を頻繁に設けることが望まれる。

3-7 教 訓

(1) プロジェクトの枠組み

技術協力プロジェクトは、案件の形成段階において農家などの最終裨益者から情報収集を行うことが重要だが、それが必ずしも十分に行えない場合もある。

そのため、実施段階においては、最終裨益者の真のニーズを念頭に置いて活動を展開する必要がある。例えば、本プロジェクトのように技術の普及方法や認証など制度面の強化を図る協力においても、最終裨益者である農家が、技術の普及により収入向上を図りたいという本質的なニーズに合致しているかどうか、常に意識することが肝要である。

(2) 地域内のリソース活用

周辺国やラオス国内の現地人材の活用は、国の状況や文化、言語等の面で共通理解できる部分が多く有用である。加えて、渡航手続きに係る時間も比較的短く済むため、本邦からの日本人専門家派遣と比べて優位性がある。また、タイでは、OA に関して外国からの研修員を受け入れる施設も少なからず存在し、言語の類似性や費用対効果の観点から有用性が高い。とりわけ、農家グループの受入れ等には適性が高い。

Summary of Terminal Evaluation

1. Outline of the Project		
Country: Lao People’s Democratic Republic		Project Title: Lao Organic Agriculture Promotion Project (LOAPP)
Issues/Sector: Agricultural Development		Cooperation Scheme: Technical Cooperation Project
Division in Charge: Rural Development Dep.		Total Cost: 199 million Yen
Period of Cooperation	R/D: September 2013 to September 2016 (3 years)	Partner Country’s Implementing Organization: Department of Agriculture (DOA) of Ministry of Agriculture and Forestry (MAF)
		Supporting Organizations in Japan: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF)
<p>1-1 Background of the Project</p> <p>In Lao PDR, it is described that organic agriculture (OA) has high potential for commercial production because pesticide and chemical fertilizer have not been widely applied in conventional farming. MAF had established the “MAF Minister’s Decision on Organic Agriculture” in collaboration with NGO in 2005 and the “Standard of Organic Agriculture in Lao PDR” had been commenced since 2006.</p> <p>Meanwhile, the Standard Division, Department of Agriculture, MAF (STD), in charge of inspection and granting certification on OA had only 4 inspectors out of 9 (in 2004) who were able to execute the inspection role based on the Lao Certification Body (LCB). Such an insufficiency of the personnel took approximately 6 months for the process of inspection and certification on OA.</p> <p>Although the OA certifications were granted to 19 farmers’ groups in Vientiane Capital as of December 2014, many issues such as quality control on farmer’s production, Internal Control System (ICS) of farmers’ group, technical supports provided by government, transportation and logistics, production plan based on the market needs, and collaboration with public sectors were not in the sufficient level.</p> <p>Based on above background, JICA Technical cooperation project “Lao Organic Agriculture Promotion Project (LOAPP)” was formulated in September 2013 as a 3-year-project, aiming at increasing farmers’ income through the establishment of OA certification system as well as strengthening the marketing activities. LOAPP is looking at the system enhancement in promoting OA with three outputs: 1) Setting up a national OA Strategy, 2) Capacity development of Clean Agriculture Development Center (CADC) and 3) Improvement of STD for their inspection techniques and process.</p> <p>In February 2015, the Japanese Mid-Term Consultation Mission Team was dispatched to LOAPP. They pointed out the importance on slotting activities for the further expansion of OA toward farmers’ level together with information collection and future’s plan for the purpose for the promotion of export business.</p> <p>At the final stage of LOAPP’s cooperation with the remained period of half-year, the Terminal Evaluation consists of both Lao and Japanese sides was conducted for the purpose of clarification of</p>		

benefits and contributions through the activities of LOAPP as well as consideration on future's direction lead by Government of Lao after the termination of LOAPP.

1-2 Project Overview

(1) Overall Goal

Structure for promotion of organic agriculture is functional.

(2) Project Purpose

Structure for promotion of organic agriculture is enhanced.

(3) Outputs

- 1) Strategic plan for national organic agriculture development is finalized.
- 2) Clean Agriculture Development Center (CADC)'s capacity for promotion of organic agriculture is improved.
- 3) Standard Division (STD)'s capacity for promotion of organic agriculture is improved.

(4) Inputs (as of end-January 2016)

Japanese Side : Total cost 199 million JPY

Experts/Consultants: 3 Japanese long-term experts, 3 Japanese short-term experts,
10 third-country lecturers (from Malaysia and Thailand)
3 local consultants (OA & market survey, TOT for CADC staff, OA market analysis)

Training : 20 trained in Japan (15 Specific Training under LOAPP, 5 Group Training Course)
13 trained in Thailand

Technical equipment : Approx. 18 million JPY

Operational Cost (Local Operation) : Approx. 32.1 million JPY

Other Cost (Facility renovation & construction) : Approx. 26.4 million JPY

Lao Side :

Counterpart : Total 23 persons

Land and Facilities : Offices (in Vientiane Capital & CADC), meeting rooms, light & water expenses

Local Cost : 919 million Kip

2. Evaluation Team

Members of the Evaluation Team	< Japanese side >	
	Leader	Mr. Masanobu KIYOKA, Senior Advisor, JICA
	Agricultural Policy	Mr. Takashi SEO, JICA Agricultural Policy Advisor, MAF
	Planning Management	Mr. Kazuhiro OTSUKI, Team 1 Special Advisor, Agricultural & Rural Development Group 1, Rural Development Department, JICA
	Evaluation & Analysis	Mr. Akira MATSUMOTO, President, A&M Consultant Co., Ltd.

< Lao side >	
Leader	Mr. Khamtanh THADAVONG, Deputy Director General, Department of Agriculture, MAF
Member	Dr. Phanpradith PHANDALA , Director, Division of Planning and Cooperation, Department of Agriculture, MAF
Member	Mr. Hadsady SISOUVANH, Deputy Director, Administration Division, Department of Agriculture, MAF
Member	Mr. Vongsavanh VONGKAYSONE, Deputy Director, International Cooperation Division, Department of Planning and Cooperation, MAF

Period of Evaluation : 21 February 2016 to 5 March 2016

Type of Evaluation : Terminal Evaluation

3. Results of Evaluation

3-1 Achievements

(1) Outputs

Output 1: Strategic plan for national organic agriculture development is finalized.

[Indicator] JCC member reaches the consensus on the strategic plan in the Project JCC.

The Output 1 has been achieved.

The final draft of Strategic plan for national OA development (OA Strategy) was endorsed by JCC members and approved by Director General of DOA officially which is treated as the approval at Ministry's level. Therefore, the current status is beyond the level of originally-planned. The approved OA Strategy will be disseminated at the next step for the expansion.

Output 2 : CADC's capacity for promotion of organic agriculture is improved.

[Indicator] Number of CADC trainers who are capable of conducting TOT on organic agriculture is increased by 8 persons (currently 4 persons).

The Output 2 has been achieved.

Based on the 5 criteria of Competency Evaluation Sheet (OA Knowledge, OA Technique, Marketing, Management and Teaching Methodology) which was elaborated through series of discussions with CADC, the Japanese Short-Term expert provided technical advices. The result of Competency Evaluation showed the weaknesses in Teaching Methodology, Marketing and Management although the level of OA Knowledge was relatively high. Japanese Long-Term Expert has been following up those weak points through continuous trainings so that the level of competency was brought up at present.

TOT materials (i.e. presentation slides, paper drama, posters) have also been produced among CADC staff and such items were utilized for Trainings for Trainers (TOT) and On-The-Job Training (OJT) held by CADC in order to bring up CADC staff for new OA trainers. The number of trainer who passed the Competency Evaluation originally 4 at the commencement of LOAPP, finally increased into 10 in 2015

Output 3 : STD's capacity for promotion of organic agriculture is improved.

[Indicator 1] Standard Division has policy documents covering at least 70% of the topics required by international norms (i.e. ISO17065) guiding the handling and conduct of the Lao Certification Body (LCB) certification process.

[Indicator 2] Standard Division has policy documents covering at least 70% of the topics required by international norms (i.e. ISO17065) guiding the handling and conduct of the Lao Certification Body (LCB) certification process.

The Output 3 is expected to be almost achieved.

Standard Division had set policy documents covering all the topics (100% coverage) required by international norms (ISO17065) through the advisory given by third-country lecturers and series of discussion in workshops.

The level of inspectors was also gradually being improved through the series of training given by the third-country lectures as well as the intern training organized by the Thailand's accredit organization (Organic Agriculture Certification Thailand : ACT). The result of Competency Evaluation scored that number of inspectors capable enough to execute their inspection role had increased to be 6 persons.

In addition, some inspectors are supposed to be accredited by ACT shortly.

(2) Project Purpose : Structure for promotion of organic agriculture is enhanced.

[Indicator 1] At least 50% of Provincial Agriculture and Forestry Office (PAFO)/District Agriculture and Forestry Office (DAFO) officers (in-charge of crop) in the target areas pass an understanding test on organic agriculture standard.

[Indicator 2] Period required for organic certification process (after receiving completed application to notification) is no longer than 4 months.

The Project Purpose is expected to be achieved by the end of the Project.

As for the Indicator 1, more than 50% of PAFO/DAFO officers have passed through 2 times of understanding tests on organic agriculture standard.

On the other hand, the Indicator 2 is yet to be achieved since the time consumption for certification process is still 6.4 months, not less than 4 months. However, the Project has clarified the causes of such time-consuming process (i.e. difficulty in arranging Board Meeting under every representative's busy schedule) and the countermeasures (i.e. setting the meeting by monthly with enabling deputy personnel from each section for making decision) will be taken shortly. Thus, it is expected the time consumption will be shorten less than 4 months at the end of the Project.

3-2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance: High

Relevance to the development policies of Government of Lao PDR (GOL) :

In 2006, GOL set "Clean Agriculture" as the one of important national goal. In line with this, "MAF

Agricultural Development Strategy 2011 to 2020” (final draft Sep. 2010) as well as “Strategic Plan for National Agriculture Development 2025, Vision Towards 2030” (3rd draft, Sep 2015) showed that OA can play a crucial role in supporting safe food production for consumers, sustainable production, conservation of natural resources and opportunities to generate income for farmers. OA is deemed to have a significant potential in the Lao PDR.

Relevance of target groups’ needs :

As the target groups of this Project which includes DOA officers (STD and CADC) and PAFO/DAFO officers of the Vientiane Capital are all important players to promote OA, it is appropriate to strengthen the basis and capacity development of those groups under LOAPP.

In addition, improvement of OA farm in CADC is to go along with the intention of the GOL which promotes clean and value-added agriculture, and also seems to be a good demonstration /display farm as well as basis on the new/appropriate techniques on OA.

Allocation of Counterpart Personnel (C/P) :

An appropriate number of C/P from appropriate sections is assigned to LOAPP with fulfilment in the case of staff’s turning over. In addition, the contribution of Project Manager (current Director of CADC) toward LOAPP is remarkable.

ODA policies of the Government of Japan (GOJ) :

“Country Assistance Policy for Lao PDR (2014)”, prepared by Ministry of Foreign Affairs (MOFA) of GOJ sets the “Agricultural Development and Forest Conservations” as one of the priority areas. “Country Assistance Implementation Plan for Lao PDR (2015)” drawn by JICA in line with the MOFA policy placed the Project in the “Program for Agricultural and Rural Development and Strengthening the Administration of Agriculture and Fisheries” in the focused area of “Agricultural Development and Forest Conservation”. LOAPP has been formulated in line with such ODA policies of GOJ as the one of strategy to increase the earnings of farmers who constitutes the majority of the nation’s poor.

(2) Effectiveness: High

As the activities of the Project have been implemented as planned, it is expected that the Project is likely to achieve the outputs. Thus, the Project Purpose is seemed achievable at the end of the Project. In order to promote OA in the Lao PDR, the approaches for the institutional enhancement such as, the capacity-building for CADC and STD, the formation of certification process in STD, as well as the middle/long-range perspective activities and responsibilities clearly described in OA Strategy are all essential. The Project has played an important role and made significant contribution in this respect.

(3) Efficiency: Relatively High

Most of the activities were implemented as planned although some of the indicators were yet to be achieved as mentioned above. Therefore, the productivity of the Project referring to the input is seemed almost appropriate.

Some good results in this Project regarding to efficient point of view include the proper selection of the third country experts and engagement of local consultants. From the aspect of the cost-effectiveness, those inputs are judged more efficient than the recruitment of resource personnel

from Japan even though there were some difficulties in adjusting their trip schedule.

In view of promoting OA further in Laos, it is highly expected that more human and financial resources from Lao side would be secured.

(4) Impacts: Moderate

1) Overall Goal : Structure for promotion of organic agriculture is functional.

[Indicator 1] More than 40 times of CADC trainings on OA for PAFO/DAFO technicians/farmer's groups/etc. are conducted after the project termination.

[Indicator 2] Number of cases that STD conducts organic inspection and certification to organic farmers groups trained by CADC and PAFO/DAFO is increased by 4 times (currently 2 cases increased to 8 cases).

As for the Indicator 1, the number of the trainings on OA (for PAFO/DAFO technicians and farmer's groups) held by CADC during the last three years counted: 32 times (in 2013), 13 times (in 2014) and 16 times (in 2015) respectively. Based on such status and trend, it is not seemed possible to attain the target level ("more than 40 times of CADC trainings"). At the time on commencement of the Project in 2013, the number of training was "32 times", therefore it was expected such increasing trend of training, however, the target number included other trainings supported by other donors. After 2013, the trend did not go beyond the level of 2013 since the donor-supported trainings were decreased. In order to monitor the CADC's capacity in conducting trainings, it is more appropriate to look at the pure number of training held by CADC excluding donors' support, similar to 2014 and 2015. Therefore, the Team proposed to reset the target into "20 times" according to the status in 2014 and 2015.

As for the Indicator 2, the number of cases which STD newly inspected/certified during the last three years counted: 3 cases (in 2013), 2 cases (in 2014) and 2 cases (in 2015), while the total cases including renewal counted: 18 cases (in 2013), 12 cases (in 2014) and 11 cases (in 2015). Such status shows that number of OA trainings which CADC/PAFO/DAFO conducted may not have direct coincidence with the increase of new case in OA application and certification. It is therefore appropriate to look at the total number of cases (new and renewal cases) in order to grasp the real trend of OA inspection/certification rather than focusing only upon new cases. Based on such idea, the Team proposed to reset the objective of the indicator into "Cases including not only new application but also renewal of certification" and its target level to be "increased by 10% year by year".

As above mentioned, it is hardly able to measure the progress of the Project appropriately under the current indicators. However, with the modifications of these 2 indicators as the Team proposed, it is deemed that Overall Goal will be attained.

2) Knock-on Effect

New sales channel in Vientiane Capital (Opening permanent shop, "Organic Home") :

The permanent shop, which is scheduled to open in April 2016, is expected to play important roles as: a permanent shop for farmers to sell their OA products, a place to deliver information on OA toward citizens, and a bridge to promote access between producers and consumers.

Rising OA farmers' awareness in management :

The basic trainings to the OA farmer's groups, such as shop management and accounting, were provided by the Project. The farmer's groups become more conscious about their farm management and marketing.

Enhanced utilization of CADC demonstration farm :

Through setting up/renovation of facilities in CADC and also providing trainings for the officers, it expanded experimental cultivation and applied new techniques in the demonstration farm. Furthermore, the CADC is now becoming a good learning center of OA for young agricultural students who are expected to be future's key players for OA promotion in Laos.

Negative effect :

There is no particular negative effect.

However, a wider scope of view will be needed for the further expansion of the benefit of OA not ending up with reinforcement of institutional system at government level but also stepping more toward farmers' level as well as customer's level (including consumer, private sector and tourist, etc.)

(5) Sustainability: Expected to be relatively high

Policy aspect :

Priority of the clean agriculture including OA is quite high in the agriculture development strategy plan to 2025, and also GOL is expected to take actions for the further improvement of OA within the framework of OA strategy established by LOAPP.

Institutional aspect :

Based on strong policy of GOL to promote OA, there is the clear department structure such as STD and CADC within DOA/MAF. Those department and centers have mandate to provide quality service according to the needs of farmer's groups and enterprises who apply for the certification of OA as well as technical guidance and OA training.

Technical aspect :

The C/Ps of LOAPP have gained knowledge and practical skills on OA. Thus, it is expected that such trained C/Ps shall undertake their duties in their offices and transfer outputs of the Project as trainers to other staffs including PAFO/DAFO.

Financial aspect :

In accordance with the importance of OA and official endorsement of OA strategy, MAF has a plan to secure financial resources for OA. On the other hand, the Project was sometime constrained by the budget allocation by GOL. Such as delay of financial allocation is a nation-wide issue to take heed in carrying out a project.

In view of sustainable field activities, the Team appreciates that CADC manages their revenue such as sales of OA products, as a temporary fund until the allocation of official budget, for the daily operation, maintenance of farmland and facilities as well as conducting trainings.

3-3 Factors that Promoted Realization of Effects

(1) Factors Concerning to Planning

Initially, LOAPP had been focusing mainly upon the government's institutional strengthening. At the stage of Mid-Term Consultation, Japanese Mission Team suggested the Project to look further into farmers' needs. In response, LOAPP decided to provide the other supports such as the establishment of permanent OA shop, "Organic Home", for the farmers to learn market activities. Such approaches corresponding to farmers' needs promoted positive knock-on effect of the Project.

(2) Factors Concerning to the Implementation Process

The C/Ps took strong commitment specially in the following points:

- 1) Delay of some activities such as formation of OA strategy and improving CADC's demonstration farm were reeled up for the completion within the timeframe. (Contribution factor for effectiveness)
- 2) Establishment of "Strategy team" was initiated by STD so that OA strategy was completed successfully. (Contribution factor for sustainability)
- 3) OA experiments and variety of trainings on CADC's demonstration farm were conducted under the ownership of staff members. (Contribution factor for sustainability)

3-4 Factors that Inhibited Realization of Effects

(1) Factors Concerning to Planning

Due to the fact that the promotion of OA was not always reflecting to the increase of new cases of OA application/certification, the impact of the Project was not clearly shown in the indicator of Overall Goal. The revision of the indicator as suggested by the Team will provide clearer information for grasping the status of OA application/certification.

(2) Factors Concerning to the Implementation Process

- 1) OA staffs' turning over in CADC gave negative effect to the capacity building of OA trainers' team. However, it was recovered through senior staff's internal mini-trainings for bringing up young staff as well as sufficient occasions of OJT for preserving the trainers' team work.
- 2) High-ranking officers' heavy schedule was the obstacle in arranging the Certification Committee Meeting that prolonged the time consumption of OA certification process. As the countermeasure, new rule for the meeting is set and will be taken shortly. Under the new rule, it enables other officers to attend the Meeting as the substitute attorney for decision-makers so that burden in arranging the Meeting would be mitigated.

3-5 Conclusion

The activities of the Project have mostly been implemented well. Although some indicator shows delay in progress, it is seemed that the Project Purpose will be achieved at the end of its cooperation period since the countermeasures will be taken shortly. Thus, it is concluded that the Project will be terminated in September 2016 as originally stipulated in the R/D.

3-6 Recommendations

(1) Future course of actions

All necessary activities after the Terminal Evaluation were summarized in the table. Specially, the activities which should be treated after the termination of the Project are shown below:

- Output 1 Initiate to implement the activities along with OA Strategy
Follow up progress of the OA Strategy/Road map and monitor the activities
Improve/revise the OA Strategy
- Output 2 Develop TOT curriculum and training materials by CADC (advanced level)
Strengthen the TOT activities of CADC to PAFO/DAFO staff to develop OA trainers
Establish OA markets in target provinces
- Output 3 Discuss the means to delegate the inspection activities to PAFO in the Provinces
Get equivalency of LCB with some international norms
Continue training for officers to be entitled as inspectors for foreign certification system

(2) Revision of PDM and P/O

The Team recommends the contents of PDM shall be revised with the following findings and considerations.

1) Clarification of activities

The Project has supported several facilities such as warehouse, packinghouse, greenhouse, and Organic Home (permanent OA market), which should be indicated in PDM for the clarification of the necessities of those facilities established. Therefore, two activities should be appeared under Output 2 as shown below.

2-2) Set up/renovate necessary facilities in CADC for training and demonstration (warehouse, packinghouse, greenhouse, etc.)
2-10) Support farmers' groups / farmers for marketing activities (permanent OA market, etc.)

2) Modification of Indicators for Overall Goal

Two indicators for Overall Goal are considered too ambitious and inappropriate. It is recommended therefore to make following modifications for both indicators.

Indicator 1:

Present	More than 40 times of CADC trainings on OA for PAFO/DAFO technicians/farmer's groups/etc. are conducted after the project termination.
Revised	More than 20 times of farmer's training on OA by CADC and PAFO/DAFO are conducted annually after the project termination.

Indicator 2:

Present	Number of cases that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups trained by CADC and PAFO/DAFO is increased by 4 times (currently 2 cases increased to 8 cases).
Revised	Number of cases* that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups increased by 10% year by year. (* Cases including not only new application but also renewal of certification)

(3) Supports for Organic Home

While the Organic Home will be managed by the Vientiane Organic Agriculture Production Group (VOAPG), constant supports by PAFO are crucial for further continuation and sound management. The supports provided by Japanese side should be limited only to technical advice and practical training. Once the building and facilities have been completed, operational cost shall be taken by VOAPG.

In view of promoting OA and people's awareness, the Team proposes that MAF provides VOAPG with trainings for ICS, inspection/certification, promotion activity, and so on.

(4) Interaction among stakeholders

Through interviews and meetings, the Team found the gap among voices of stakeholders. For instance, farmers are expecting CADC/PAFO to provide them technical advices, while CADC/PAFO are recognizing that farmers send no request. In order to grasp the potential and changing needs of farmer's, DOA/CADC and PAFO/DAFO, as service providers, are expected to clarify what can be provided for farmer's groups/ farmers and to disseminate such information widely. Frequent occasions for making interactive communication with farmer's group/ farmers are needed.

3-7 Lessons Learnt

(1) Framework of Project

"Technical Cooperation Project" cannot be always formulated at the planning stage with sufficient information from key informants including farmers. Therefore, in the process of project implementation, the project should consider the measures to address the real needs of farmers. For example, a project as well as LOAPP aiming at strengthening promotion method or institutional system should require continual awareness onto farmers as ultimate beneficiaries to see if such project's approaches are really corresponding to farmers' need which is an income growth through technical improvement in farming.

(2) Utilization of Resource person and training center in the region

Utilization of resources from neighboring countries or local personnel is worthwhile because of similarity in culture, language and surrounding situation. In addition, the procedure of assignment is not relatively time consuming in comparison with the assignment of the expert from Japan.

In addition, time consumption for the assignment takes shorter time rather than the personnel assigned from Japan. Moreover, there are several training centers for practicing OA in Thailand where foreign trainees can be accepted. Because of the similarity in language, their training style and topics as well as cost-effectiveness, sending trainees to Thailand may be quite beneficial for Lao personnel, especially for farmer's level.

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の目的

下記4点が終了時評価調査の目的である。

- (1) 技術協力の開始から終了(調査時点)までのプロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix : PDM) に照らし合わせた実績確認(活動、投入)、実施プロセスの検証
- (2) 評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト及び持続性)の観点からの総合的評価
- (3) プロジェクト終了時までに行うべきこと及びプロジェクト終了後に先方政府が行うべきことに係る提言
- (4) 促進・阻害要因の分析を通じたプロジェクトからの教訓抽出

1-2 調査団の構成

(1) 日本側

担当	氏名	職位・所属
団長/総括	清家 政信	JICA 国際協力専門員(貧困対策)
農業政策	瀬尾 充	ラオス農林省(MAF)計画協力局(DOPC) 農業政策アドバイザー(現地参团)
協力計画	大槻 和弘	JICA 農村開発部第一グループ第一チーム 特別嘱託
評価分析	松本 彰	A&M コンサルタント(有) 代表取締役

(2) ラオス側

氏名	職位・所属
Mr. Khamtanh THADAVONG	Deputy Director General, Department of Agriculture, MAF
Dr. Phanpradith PHANDALA	Director, Division of Planning and Cooperation, Department of Agriculture, MAF
Mr. Hadsady SISOUVANH	Deputy Director, Administration Division, Department of Agriculture, MAF
Mr. Vongsavanh VONGKAYSONE	Deputy Director, International Cooperation Division, Department of Planning and Cooperation, MAF

1-3 調査日程

本終了時評価調査は2016年2月21日から3月5日の間に実施された。調査日程の詳細を合同評価報告書付属資料1に示す。

第2章 プロジェクトの概要

2-1 プロジェクトの背景

ラオス人民民主共和国（以下、「ラオス」と記す）ではこれまで農薬の使用頻度が小さく、農薬の残留程度は極めて低いことに加え、周辺の農薬を使用した栽培からも隔離しやすいため、商品作物生産としての有機農業（Organic Agriculture : OA）は高い潜在力があると考えられている。農林省（Ministry of Agriculture and Forestry : MAF）は2005年にNGOとの協調により、「有機農業基準に関するラオス国農林大臣決定」を策定し、2006年より施行している。

しかし、認証・検査を担うMAF農業局（Department of Agriculture : DOA）規格課（Standard Division : STD）に所属する検査官全9名のうち実際にラオスOA認証に沿った認証・検査を行える人材は4名（2014年時点）にすぎず、認証・検査の手続きに約半年を要するなど十分機能していない。

生産者レベルでは、首都ビエンチャンでラオスOA認証を受けた農家組織は19カ所（2014年12月時点）に上るものの、一部の有機生産者の品質管理に課題が残るとされるほか、農家組織の内部監査システム（Internal Control System : ICS）や行政からの技術指導の不足、国内の市場までの輸送や流通の問題により、市場の要望に沿った生産や民間企業との連携は十分行われていない。

このような状況下、ラオスの有機認証制度（Lao Certification Body : LCB）の構築、市場への関与（強化）を通じて農村部の収入向上を図ることを目的として、独立行政法人国際協力機構（JICA）は技術協力プロジェクト「有機農業促進プロジェクト」（以下、本プロジェクト）を2013年9月から3年間の予定で開始した。本プロジェクトは、①OA開発における国家戦略（以下、「OA戦略」）の作成、②OAを技術的にサポートするクリーン農業開発センター（Clean Agriculture Development Center : CADC）の能力向上や、③STDのOA認証に係る審査能力向上等を通じ、OAを促進するための体制が強化されることをめざしている。

なお、2015年2月には、本プロジェクトの中間管理ミッションが派遣された。そこでは、OAの裾野を広げていく視点で活動を行うことの必要性に加え、輸出振興のための情報収集や出口戦略の重要性などが指摘された。これを受けて、本プロジェクトでは、有機農産物の常設販売所を開設することで農家グループがマーケティングを実践する場を提供しつつ、OA促進や市民の認知度向上につなげる試みを開始した。

2-2 プロジェクトの要約

PDM（第2版、2015年3月5日）等に従って本プロジェクトを要約すると以下に示すとおりとなる。

（1）案件名

ラオス人民民主共和国有機農業促進プロジェクト（Lao Organic Agriculture Promotion Project : LOAPP）

（2）協力期間

2013年9月15日～2016年9月14日（3年間）

(3) 協力相手先機関

農林省農業局 (DOA) の STD と CADC、首都ビエンチャン県農林局 (Provincial Agriculture and Forestry Office : PAFO)、首都ビエンチャン下各郡農林事務所 (District Agriculture and Forestry Office : DAFO)

(4) プロジェクト対象地域

首都ビエンチャン

(5) 対象グループ

DOA 職員 (STD、CADC)、首都ビエンチャン PAFO 及び DAFO の職員

(6) 上位目標

OA 促進のための体制が機能する。

(7) プロジェクト目標

OA 促進のための体制が強化される。

(8) 成 果

- 1) OA 戦略が作成される。
- 2) OA 促進のための CADC の能力が向上する。
- 3) OA 促進のための STD の能力が向上する。

第3章 評価調査の手法

3-1 調査手順

終了時評価調査には、本プロジェクト実績資料の確認、現地調査、カウンターパート（Counterpart：C/P）要員・専門家、受益者等の関係者とのインタビューが含まれた。以上の結果を踏まえ、OECD 開発援助委員会（DAC）の評価5項目に基づく評価分析を行った。

3-2 評価項目

評価項目は以下のプロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目から構成される。

（1）プロジェクトの実績

PDM の達成指標等の内容及び活動計画（Plan of Operations：PO）に照らし合わせて投入、成果及びプロジェクト目標についてプロジェクトの達成状況を検討した。

（2）実施プロセス

PO で計画された工程に沿って活動が実施されたか、プロジェクトが適切に管理されたか、プロジェクトの実施を促進・阻害した要因として何が挙げられるかなどを検討するため、本プロジェクトの実施プロセスを確認した。

（3）評価5項目

本プロジェクトの評価に適用される評価5項目の各項目の定義は、以下の表3-1のとおりである。

表3-1 評価5項目の定義

妥当性	プロジェクトの上位目標やプロジェクト目標に、相手国や日本側の政策との整合性はあるか、受益者の課題の解決になるかなど、援助事業の正当性・必要性を問う視点。
有効性	プロジェクトの実施により、プロジェクト目標が達成され、受益者もしくは社会への便益や課題が解決されたか（あるいはされ得るのか）を問う視点。
効率性	主にプロジェクトのコストと成果の関係に着目し、投入資源が有効に活用されているか、プロジェクト運営は的確になされたかを問う視点。
インパクト	プロジェクトの実施によりもたらされる、より長期的、間接的効果や対象地域外への波及効果（上位目標を含む）をみる視点。予期しなかった正負の効果・影響も含む。
持続性	プロジェクトが終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続する見込みはあるかを問う視点。

第4章 プロジェクトの実績と実施プロセス

4-1 プロジェクトの実績

4-1-1 投入の実績

本プロジェクト実施期間中の日本側及びラオス側による投入は、以下に要約するとおりである。投入の詳細内訳は付属資料1.「合同評価報告書」Annex 4に示す。

(1) 日本側の投入

1) 専門家の派遣

計3名の長期専門家が派遣された。内訳は、①チーフアドバイザー／有機農業（OA）が1名、②業務調整／研修が2名である。

短期専門家は計3名が派遣された。指導分野は、①OA・市場調査、②OA技術・研修カリキュラム開発、③指導員育成研修（Training of Trainers：TOT）カリキュラム・教材開発にそれぞれ1名である。

さらに第三国専門家が、タイ国、マレーシア国から累計で10名が派遣された（2016年4月に更に1名予定あり）。またマーケット分析調査などで、ローカルコンサルタントが計3回登用されている。

2) 本邦研修及び第三国研修

日本のOA視察とOA実践研修の2コースで計15名、加えて、集団研修コースに5名が参加した。また、東北タイにおけるOA研修には13名が参加した。

3) 機材調達・施設整備など

本プロジェクト活動において使用する機材として、コンピュータ、車両、モーターバイク、トラクターなどが供与された。供与機材金額は15万2,930.39米ドルである。

また、CADCにおける研修施設整備（グリーンハウス、パッキングハウス、給水施設など）や、農家のマーケティング活動支援のための常設販売所整備など、施設の整備や補修に総額22万9,935米ドルが支出された。

4) 現地業務費の支出（2013年9月～2015年12月）

本プロジェクトの活動に伴って支出された現地業務費の金額は表4-1に示すとおりで、2015年12月末時点で29万1,147.74米ドルが支出されている。

表4-1 現地業務費の支出

（単位：米ドル）

日本会計年度	金額
2013	63,446.48
2014	130,367.54
2015	97,333.72
計	291,147.74

(2) ラオス側の投入

1) C/P 要員の配置

実施機関により本プロジェクトの管理及び活動実施のために配置された C/P は、既に異動した者も含め合計 23 名となる。内訳は、STD 12 名、CADC 7 名、首都ビエンチャン PAFO 4 名であり、このうち 17 名が現在も C/P として本プロジェクト活動を担当している。

2) 建物・施設

DOA により専門家の執務スペースとして首都ビエンチャンの MAF 本館近隣にプロジェクト事務所 2 室が用意され、電話代・光熱費も負担された。また、短期専門家の執務スペースとして CADC にも執務スペースが提供された。

3) ローカルコスト負担 (2012 年 10 月～2016 年 9 月)

本プロジェクトの開始から 2016 年 9 月の終了までのラオス政府側による負担分は、一部見込み額を含めて合計 9 億 1,868 万 7,400 Kip となっており、これらの経費には C/P の人件費やプロジェクト事務所の賃貸費用、電話代、光熱水費などが含まれている。

表 4-2 ラオス国側経費負担

(単位: Kip¹)

ラオス国会計年度	金額
2013 (2012.10～2013.9)	353,919,800
2014 (2013.10～2014.9)	188,339,900
2015 (2014.10～2015.9)	309,824,400
2016 (2015.10～2016.9)	66,603,300
計	918,687,400

4-1-2 活動の実績

終了時評価調査時点では、PDM 並びに PO に沿ってほぼ当初予定どおりに活動が実施され、成果 1 から成果 3 の指標を達成するための介入はほぼ完了していることが確認された。

また、これまで本プロジェクトで開催した研修やセミナー、ワークショップなどの実績は、付属資料 1. 「合同終了時報告書 (英文)」Annex 5 に、また本プロジェクトの活動を通じて作成された成果品リストを Annex 6 にまとめた。

4-2 成果の達成状況

PDM (第 2 版) に示される規定の達成指標と終了時評価調査で行ったサイト調査の結果に基づいて、成果 3 件の達成状況の程度を確認した。その結果を以下に要約する。

¹ 1 Kip=0.014 円 (2016 年 3 月 JICA 統制レート)

4-2-1 成果1の達成状況

成果1	OA 戦略が作成される。
指標	合同調整委員会（Joint Coordinating Committee : JCC）のメンバーが JCC において戦略計画に合意する。

<これまでの経緯>

時期	主な動き
2013年12月	OA 戦略策定のためのアクションプラン（ドラフト版）に係る最初の関係者会合が開催
2014年1～3月	短期専門家による「OA・市場調査」、加えて、ローカルコンサルタントによる「ラオスにおける OA 市場調査」の実施により、ラオスにおける OA の概要が明確に
2014年4月	OA 戦略に係る農林省内の関係者間協議開始
2014年8月	第1回セミナー開催 第1ドラフト案への講師コメントや提言、省内関係者からの意見聴取
2014年9月	OA 戦略に係る1次ドラフト完成
2015年1月	第2回セミナー開催
2015年3月	OA 戦略に係る2次ドラフト案作成
2015年4～5月	DOA 内に設置されたタスクフォースで更なる内容の検討
2015年5月	第3回目セミナー開催、DOA 及び PAFO 出席
2015年5～6月	ローカルコンサルタントによる「OA 促進に係る市場分析」 OA 市場に係る国内外の動向や今後の方向性への知見
2015年6月	パブリック・ヒアリング（於南部）
2015年7月	パブリック・ヒアリング（於北部）
2015年9月	パブリック・ヒアリング（於中部）
2015年11月	OA 戦略に係る3次ドラフト（英語版）完成
2015年11月～	ラオス語版ドラフト改定
2015年12月～ 2016年1月	OA 戦略セミ・ファイナル版（英語及びラオス語版）完成
2016年1-2月	セミ・ファイナル版の JCC メンバー内による共有
2016年2月	OA 戦略最終版の DOA 局長への提出、承認（＝MAF による承認）

<結果>

成果1は達成された。

成果1では、OA 戦略の作成をめざし、これまで複数の短期専門家による協力や調査、さらには関係者を招集してのワークショップを踏まえ、執筆作業が行われた。最終版は JCC メンバー内の了解を得た後、DOA 局長により承認された。OA 戦略は同局長の承認をもって MAF の

承認として取り扱われるため、現況は指標で設定された以上のレベルで活動が実施されたこととなる。

なお、次の段階として、OA 戦略は製本、配布される予定である。

4-2-2 成果2の達成状況

成果2	OA 促進のための CADC の能力が向上する。
指 標	OA に係る TOT を実施できる CADC のトレーナーが 8 名に増加する(現状 4 名)。

<これまでの経緯>

時 期	主な動き
2014 年 7 月～	「能力評価シート」を開発し、CADC 職員の第 1 回目能力評価を実施
2014 年 8～9 月	CADC 職員向け技術研修開催(肥料作成と作物の栽培方法、病害虫対策、マーケティングに関する考え方など) 短期専門家による職員能力の強化策提案(OA 技術・カリキュラム開発)
2014 年 10 月	C/P 9 名、OA 研修参加(於日本)
2014 年 12 月	CADC 職員 13 名、OA 研修参加(於タイ)
2015 年 1～2 月	ローカルコンサルタントによるファシリテーション技術研修
2015 年 8～9 月	C/P 6 名、OA 研修参加(於日本)
2015 年 10～11 月	CADC 職員による TOT 研修のカリキュラム策定及び教材作成 同研修の中では、CADC 職員が講師となり、PAFO/DAFO 職員への OA 研修実施(TOT 基礎レベル: 3 日間)
2015 年 12 月	タイ講師招へいによる ICS 研修開催
2016 年 2 月	CADC 職員による PAFO/DAFO 職員に対する OA 研修実施(TOT 基礎レベル: 5 日間)
2016 年 2 月	CADC トレーナーへの第 2 回目能力評価実施 2014 年に 4 名→2016 年 2 月 10 名に増加(シニア 7 名、セミ・シニア 3 名)

<結 果>

成果 2 は達成された。

CADC との協議を経て作成された「能力評価シート」は、OA に関する知識、OA の実践技術、マーケティング、マネジメント、指導技術の 5 つの大項目について評価するツールであり、これを基に短期専門家の指導や技術移転が行われた。第 1 回能力評価の結果は、OA の実践技術について全般的に高いものの、指導技術、マーケティング、マネジメント能力について改善の余地があるとされた。

その後、長期専門家によるフォローアップや研修を継続的に実施した結果、職員の能力向上がみられるようになった。また、パワーポイント資料の以外にも、紙芝居形式やポスター形式の普及教材など、実用的で簡易な TOT 教材を CADC 職員とともに作成したことが、トレーナ

ーとしての意識向上に寄与した。加えて、TOTにより養成された新人トレーナー達は、オン・ザ・ジョブ・トレーニング（On-the-Job Training：OJT）として講義や実習の指導も担当することで経験を積み上げていった。

こうしたプロジェクト活動としての研修や活動の他、CADC自らが独自のOJTを行った結果、当初4名であったCADCのトレーナーが、第2回能力評価では、10名²がトレーナーとしての能力を有すると判定され、当初目標の8名を上回った。

4-2-3 成果3の達成状況

成果3	OA促進のためのSTDの能力が向上する。
指標1	LCB認証による取り扱いと行動を示す国際規格（例：ISO17065）によって求められる項目の少なくとも70%をカバーする方針文書をSTDが策定する。
指標2	STDの検査官全員が、規定に沿って単独で圃場検査を実施できる。

<指標1に関するこれまでの経緯>

時期	主な動き
2014年2月	LCBの概要を取りまとめ、ラオス職員（LCB検査官）への研修計画を策定
2014年3月	研修計画策定の結果をワークショップで報告・協議
2014年12月 2015年1月 2015年3月	タイ人講師招聘 ・現行LCBをISO/IEC17065（認証機関に係る国際基準）に適合させるための関連文書整備 ・上記関連文書の1つとして「Policy Manual」（認証機関の組織、認証の原則、公平性、検査官の条件等を定めた認証制度に関連する文書のひとつ）の原案作成 ・若手職員へのOJT研修実施
2015年10月 2016年1～2月	LCB関連文書の策定
2016年1月	ISO/IEC17065 ³ 基準に合致した「品質管理マニュアル（Quality Manual：QM）」 ⁴ 策定（ラオス語・英語の対象併記）

² TOT研修の受講生は全23人。このなかには、臨時職員や既に他部署に異動した者も7人含まれる。調査時点ではトレーナーとして能力があると認定された9人がCADCのOA担当職員として在勤しており、1人はCADC内の他部署の職員であるが、OAのトレーナーとしても参加可能な人材であるとして、10人のなかに含めている。

³ ISO/IEC 17065 適合性評価-製品、プロセス及びサービスの認証を行う機関に対する要求事項（Conformity assessment - Requirements for bodies certifying products, processes and services）

（参考URL：<http://www.jab.or.jp/service/product/>、<https://www.iso.org/obp/ui/#iso:std:iso-iec:17065:ed-1:v1:en>）

⁴ 前項の「Policy Manual」を「品質管理マニュアル（QM）」へと名称変更した。

<指標 2に関するこれまでの経緯>

時 期	主な動き
2014年9月	STD 職員の能力を評価するための「能力評価シート」の導入
2014年9月	「能力評価シート」を用いた第1回能力評価を実施
2014年10月	C/P 9名、OA 研修参加（於日本）
2015年3月	国内現地研修の実施
2015年8月	ACT（タイのOA 認証機関）インターン研修参加（STD 職員計3名参加）
2015年8～9月	C/P 6名、OA 研修参加（於日本）
2015年10月	ACT インターン研修参加（STD 職員計2名参加）
2015年11月	ACT インターン研修参加（STD 職員計2名参加）
2015年12月	ACT インターン研修参加（STD 職員計2名参加）
2015年10～12月	第2回能力評価実施。単独で検査を実施できる検査官の人数が4名（2014年）から6名（2015年）に増加。その他3名も、おおむね単独での検査実施可能。

<結 果>

成果3はおおむね達成の見込み。

指標1に関して、STD では現行の LCB を ISO/IEC17065 に適合したシステムとするための関連文書の整備を行うとともに、第三国講師招へい（タイ）による助言指導やワークショップの開催などを実施した結果、国際規格によって求められている項目を 100%カバーするだけの文書が揃えられるに至った。

また、指標2に記される STD 職員の能力についても、OJT やラオス国内で開催されたタイの OA 認証機関（Organic Agriculture Certification Thailand : ACT）のインターン研修などの機会を通じて、徐々に能力向上が図られ、2015年12月時点では、6名が本プロジェクトで実施した能力評価において単独で圃場検査が実施できるレベルにあると判定された。加えて、2名の職員が間もなく ACT 検査官としての認定を受けるめどが立っている。

こうしたことから、当初想定していた認証プロセスの改善及び検査官の能力向上が一定程度図られており、おおむね達成見込みと判断した。

4-3 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標	OA 促進のための体制が強化される。
指標 1	対象地域の PAFO/DAFO 職員（作物担当）の少なくとも 50%が OA 基準の理解度テストに合格する。
指標 2	OA 認証に要する期間（完全な申請書の受理から認証の通知まで）が4カ月を超えない。

<結 果>

本プロジェクト終了までに達成される見込み。

指標 1 については達成されており、指標 2 については、プロジェクト終了時までに達成する見込みが立っている。

<指標 1 >

CADC 職員による PAFO/DAFO 職員に対する OA 研修がこれまで 2 回開講され、それぞれの研修終了後に OA 基準に関する理解度テストが実施された。その結果は、第 1 回目の合格率が 100%、第 2 回目が 69%⁵となり、どちらも当初目標数値の 50%を超えた。

表 4-3 有機農業 (OA) 基準理解度テストの合格率

目標値	第 1 回テスト結果 (2015 年 10 月)	第 2 回テスト結果 (2016 年 2 月)
50%	100%	69%

<指標 2 >

認証に要する期間は、プロジェクト開始時点で 7 カ月であり、2015 年時点では 6.4 カ月と時間短縮の度合いは小さく、目標値の 4 カ月には及んでいない。しかし、表 4-4 に示すとおり既に時間短縮の阻害要因について分析が行われ、その対応が今後実施に移されることで関係者間の合意が得られている。よって、プロジェクト終了時点までに指標 2 は達成されるものと判断される。

表 4-4 OA 認証の時短に対する阻害要因と対応策

時短の阻害要因	対応策
OA 認証審査会議が、各セクションの担当者の都合が合わず頻繁に開催できない。	各セクションから代理人を立てることを可能とし、OA 認証審査会議を毎月開催する。
認証決定されても認定書が発行されるまでに時間を要する。	認証審査会議での決定以降 10 日以内に認証を発行する。
認証の各ステップに要すべき期間を定める規定がない。	品質管理マニュアル (QM) など関係文書の遵守により、認証期間の短縮を図る。

なお、プロジェクト目標の「体制強化」という観点では、ラオス側関係者 (特に STD 及び CAD) の OA 促進における能力向上を図ることが一義的ではある。しかし、指標 2 に示す STD の認証審査の期間短縮については、STD 職員の能力向上の他、審査・認証における一連の手続きや、認証作業自体の煩雑さなど、機能やフローの効率化や簡素化などについても対応する必要がある。そのため、本プロジェクトが、こうしたプロセス上の問題点について分析し、対応策を明らかにしたことは評価できる。

⁵ 第 1 回目テストは暫定のもので、問題数や範囲が限定的であった。第 2 回目は、1 回目と比較して、テストの難易度が上がり、しかも若手や新入職員が対象だったため、合格率が下がった。

<指標 2 の現状>

OA 農家グループが CADC または PAFO/DAFO による研修を受講し、新規に OA 認証の検査を受けた事例は、3 件（2013 年）、2 件（2014 年）、2 件（2015 年）であった。他方、OA 認証の有効期間は認証後 1 年間であり、認証の更新件数を含めると表 4-6 のとおりとなる。

表 4-6 OA 認証件数

年	2013 年	2014 年	2015 年
新規	3 件	2 件	2 件
更新	15 件	10 件	9 件
合計	18 件	12 件	11 件

出典：DOA STD からのヒアリング結果

<指標 2 の改定>

これまでの状況にかんがみれば、CADC 及び PAFO/DAFO が農家グループに対して研修を実施したことが直接的に検査・認証件数の増加に結びつくとはいえず、むしろ、認証の更新も含めて検査・認証の件数が総数として増加しているかどうかを確認することが、OA 促進の体制をみるうえで妥当であると判断された。こうした認識と、これまでの実績を踏まえて現実的に考慮した結果、調査団として同指標を「年 10%増加（新規のみならず更新申請も含む）」と改定することを提案した。

表 4-7 上位目標の改定案

指標 1	プロジェクトの終了後、CADC 及び PAFO/DAFO による農家への OA に関する研修が年間 20 回を超えて実施される。
指標 2	OA 農家グループに対して STD が検査と認証を行う事例 ⁶ が毎年 10%ずつ増加する。

4-4 プロジェクトの実施体制並びに実施プロセス

4-4-1 実施体制

本プロジェクトは、DOA を運営責任機関とし、CADC 並びに STD が直接の実施機関となり、加えて、対象地域となる首都ビエンチャン PAFO も C/P 機関となっている。また、本プロジェクト運営に係るラオス側の責任者として、DOA 局長がプロジェクト・ディレクターに、CADC 所長がプロジェクト・マネジャーに任命されている。

本プロジェクト事務所は MAF 本省から 5 分程離れたところにあり、終了時評価時点では日本人専門家が 3 名ここに常駐していた。

⁶ 「事例」とは、新規申請事例のみでなく、認証更新の事例も含む。

ラオス「有機農業促進プロジェクト」
「有機農業促進に向けた体制が強化される」

農林省の有機農業促進のための各部局の役割と活動が明確になり、DOAの規格課(認証検査分野)とCADC(有機農業技術リソース)の能力が強化される

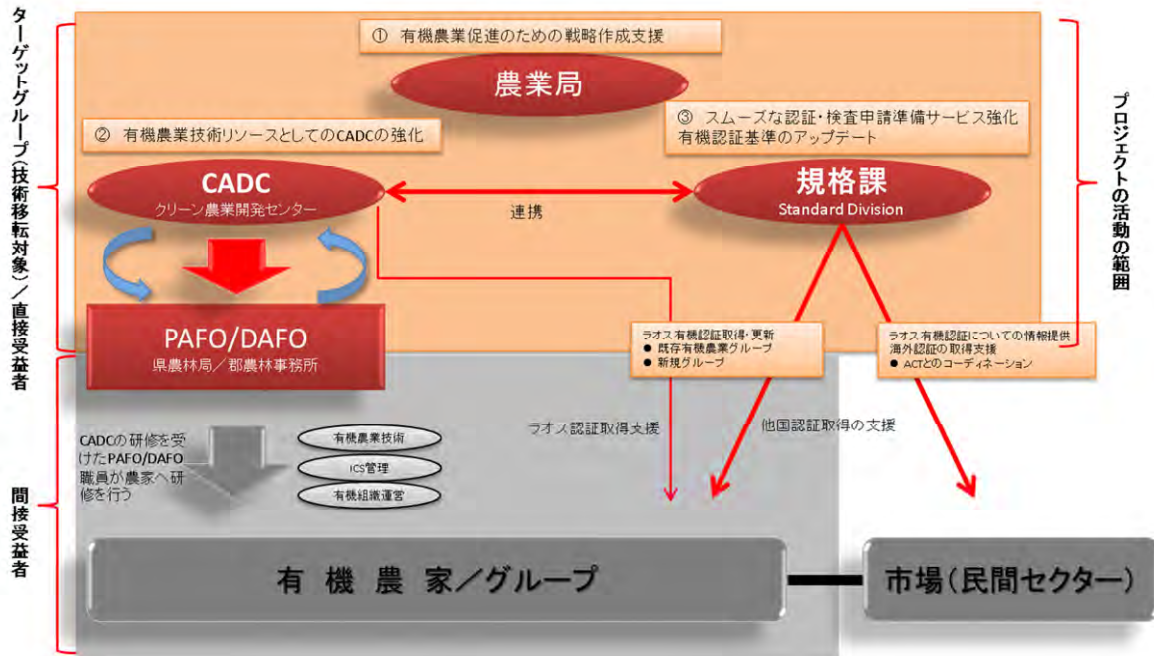


図4-1 プロジェクト実施体制図

4-4-2 活動進捗のモニタリングと共有の仕組み

本プロジェクト活動の進捗モニタリングと運営は、PO に沿って、各活動の実施時期や担当者を明確にして行われていた。さらに、翌年度の活動開始前には、プロジェクトの年間計画が策定され、これを基に活動のモニタリングや調整が行われていた。

実務上の諸課題については、定期的な会合で協議がなされ、その結果は議事録として整理され、毎回 C/P 全員に共有されている。JCC は年に 1 回の開催を原則として、これまで 3 回開催された（終了時評価調査期間中に開催された第 3 回 JCC を含む）。

プロジェクト進捗報告書（和文）は 6 カ月ごと、さらに月報（英語）が定期的に JICA ラオス事務所に提出されている。

4-4-3 技術移転

これまでのところ、技術移転は長期専門家を中心に、特定課題へは日本人短期専門家の派遣に加え、第三国から招聘した講師や、ラオス国内のローカルコンサルタントなども登用しながら対応してきた。

第5章 評価5項目による分析

5-1 妥当性：「高い」

本プロジェクト開始から終了時評価調査の時点においても、OA 推進の方針はラオス国の優先政策・計画として変更がなく、以下の理由により総合的に判断し、「高い」と判断される。

(1) 相手国政府国家政策上の位置づけ

ラオス政府は、2006年に「クリーン農業」⁷政策を掲げ、農業・自然資源・農村開発セクター戦略（Agriculture, Natural Resources, and Rural Development Sector Strategy to 2020: ANRD）において、「農業セクターの自給から商業的な小農生産への転換」を行うため、OA や農業生産工程管理（GAP）、さらに国内・地域・世界市場へのアクセス強化などを政策課題として打ち出している。

さらに、第7次農林業セクター開発5カ年行動計画（2011-2015年）においても、安全な農産品生産による付加価値化をめざす「クリーン農業」が明記されている。

また、MAFの「農業開発戦略2011～2020年」（2010年9月：最終ドラフト版）において、OAは「新農業」の一環として位置づけられ、ラオス国の事情として周辺の農薬を使用した栽培から隔離することが容易で、農薬の使用頻度が小さいといった利点をもつことから推進しやすいと明記している。

さらに、「2025年までの農業開発戦略と2030年のビジョン戦略」（2015年9月：第3次ドラフト版）における中長期展望では、まず食料安全保障から取り掛かり、その後は、比較優位性や競争優位性の高い農産物の生産や、「クリーン、安全、持続的な農業」の開発・近代化へとシフトすることで、国家経済の基盤固めに貢献できるような生産性の高い農業をめざすと明記されている。従来より、ラオス国では、土地面積の狭さや自然環境面で土地利用に制約があり、集約的で高付加価値の農業生産は、環境的にも社会的にも、競争力を高め国際市場で生き残っていくための不可欠な要素となっている。政府が進めようとする農業の商業化と輸出促進のためには、ラオス国内におけるOAの普及促進が必要とされる。また、「クリーン農業生産」が重要な政策目標として掲げられ、この目標を達成するために、OAは、消費者のための安全な作物の生産、持続的な生産、自然資源の保全、さらには農家にとっての収入の機会としてなど、様々な重責を果たすことが期待され、ラオス国での大きな潜在性を秘めていると記されている。

以上のとおり、本プロジェクトは、ラオス国の進める国家開発政策や戦略に沿って形成・実施されており、整合性が高いといえる。

(2) ターゲットグループ・受益者のニーズ

本プロジェクトで、活動実施の主要パートナーとして位置づけた「ターゲットグループ」

⁷ 「クリーン農業」とは、①Organic、②Conventional GAP farming、③Conventional Pesticide free farming、④Conventional sustainable (Traditional) の4つを指す。なお、ラオスがめざす「クリーン農業」の目的として、まずは国内の食の安全を確保することが主目的であるが、同時にASEAN 10カ国で農産物関税撤廃が予定されている状況のなか、輸出農産物の有利性を高める効果も期待されている。

は、DOA (STD⁸及び CADC⁹)、さらに首都ビエンチャン PAFO 及び DAFO である。これらの機関・部署はどれも OA を促進するために中心的役割を果たす機関・部署であり、こうした行政機関の関係部局の体制整備と能力強化を行うことは、OA の推進に不可欠な要素であると判断される。

また今回、OA を技術的にサポートしている CADC (首都ビエンチャン近郊) において、圃場整備の一部を本プロジェクトで支援したことは、クリーンで付加価値のある農業、商品作物振興を進めるラオス政府の方針に沿ったものであり、研修・展示圃場の目的や、OA の新しい試験栽培や生産技術・方法などをより拡大・発展させるうえでも有益なものといえる。

(3) C/P の配置

本プロジェクト活動を展開するうえで、必要な部署から適切な立場の職員が配置されており、人事異動が生じても概ね適切に補充が行われている。また、プロジェクト・マネジャーは、本プロジェクト開始時点では CADC 副所長として活動の推進に尽力した。その後、同氏が CADC 所長の任に就いたことにより、CADC の運営を含め、本プロジェクト活動の主体的な実施が進み、持続性の発現にも大きく貢献した。

(4) わが国の援助政策との関連、JICA 国別事業実施計画上の位置づけ

日本政府のラオス国に対する国別援助方針 (2014 年) では、援助の基本方針にミレニアム開発ゴールの達成と、最貧困国からの脱却への支援を掲げ、4 つの重点分野が設定されている。このなかの 1 つに、「農業の発展と森林の保全」¹⁰が挙げられており、そこでは、ラオスの主要産業である農業セクターの振興、貧困層の大半を占める農家の所得向上を通じた経済の安定的成長、経済成長に伴う都市と地方の格差是正を図るための生産性向上や商品作物栽培促進のための支援が対応方針の柱とされている。

これに従い、JICA の対ラオス国事業展開計画 (2015 年 4 月) では、「農業の発展と森林の保全」において、農水産業の生産性向上と自給型から市場型への段階的発展を小目標とした「農業・農村開発及び農水産行政強化プログラム」を設定しており、本プロジェクトは、この部分に該当する協力であり、農村開発がラオス国における貧困削減を進めるための戦略のひとつと位置づけられている。

以上、本プロジェクトは、こうした日本の政策や戦略と軌を一にするものである。

(補足) <ラオスの次期国家開発計画・政策との整合性の確保>

第 8 次国家経済開発計画 (NSED 2016-2020) においては、「クリーン農業」並びに「農業生産の質」という用語が用いられ、引き続き、OA や GAP の普及促進が重要課題であることが言及されている。

クリーン農業、特に OA の促進は、ラオス国内外市場への販売や安定供給のために重要であ

⁸ ラオスの有機認証制度 (Laos Certification Body : LCB) は、従来は CADC の所管であったが、2011 年に STD へ移管された。現在のラオス国内の OA 認証は STD が行っている。

⁹ CADC は、OA や GAP に関する技術的指導のほか、ICS の支援も行っている。

¹⁰ その他は、「経済・社会インフラの整備」、「教育環境の整備と人材育成」、「保健医療サービスの改善」の 3 つ。

ると謳われており、以下の項目が記されている。

- ・アウトカム 1「持続的で包括的な成長の発展」では、農産物の質・量の確保、製品化が重要課題であると明記されている。
- ・アウトカム 2「食料安定供給確保」では、クリーン農業の標準化が重要であり、環境にも優しいとの特記がされている。

また、MAF で OA を担当する DOA で作成された作物生産開発戦略（2013 年 10 月）には、農業製品の近代化を進める上で、商業的農業生産を始め、「クリーン、安全、高付加価値、持続的生産」の推進が掲げられている。

5-2 有効性：「高い」

成果 1 と成果 2 は達成されており、成果 3 の指標もおおむね達成されている。また、4-3（プロジェクト目標の達成状況）で述べたとおり、プロジェクト目標も終了時までに達成される見通しが立っている。本プロジェクトの目的は、OA を促進するための基盤を強化することであった。そのために、OA 戦略を策定することで短期的・長期的視点で各関係機関が担うべき役割を明らかにし、これを関係者間で共有した。OA の技術的普及を担う CADC に対しては、研修に必要な設備や機材の拡充を行うとともに、普及を指導する人材の育成を行うことで県・郡職員の普及人材養成への道筋をつけた。加えて、OA 認証のプロセスに対しては、認証制度の改善や職員の審査能力向上を図った。さらには、農家グループのマーケティング活動を支援することで、市場を意識した生産・販売への試みや、生産者である農家と消費者との接点の拡大、消費者への OA に対する理解促進への可能性を拓いたことなど、3 年間の協力期間に目標を達成するためには正しいアプローチであったと判断される。

5-3 効率性：「比較的高い」

一般的に、活動内容に対する投入の量は適切であった。上述してきたとおり、本プロジェクトの 3 つの成果を達成するための活動は多岐にわたり、各部署の C/P と日本人長期専門家 2 人（2015 年 9 月から終了時評価時点までは 3 人）のみで業務を遂行することは容易ではないところだが、本プロジェクトでは、日本人短期専門家の派遣に加え、第三国講師やラオス国現地のローカルコンサルタントを積極的に登用して活動をこなしていった。会議の延期や第三国講師の招聘時期が延期されるなど、活動実施において多少の遅滞もみられたが、プロジェクト活動は概してほぼ計画どおり実施されており、人的投入の面で費用対効果は高い。

また、OA 促進の観点からは、ラオス国側の人的リソースの確保と定着が重要であるが、CADC、STD、首都ビエンチャン PAFO の各関係機関では、中心となるリーダーや推進役として適切な人材が C/P として配置されている。彼らは、これまで他の開発パートナーの支援によって育成された人材であり、本プロジェクト終了後においても指導者的な役割を果たすものと思われる。ただし、更なる OA 促進のためには、人的リソースが十分であるとはいえず、今後も人材を養成していく必要がある。

一方、ラオス国側の予算措置に関して、CADC では、独自に実施する OA 研修の運営費や、農学生実習の宿泊費負担などの費用を、試験栽培した農産物の販売収益を充当するなどといった工夫により賄っており、今後はプロジェクト活動の継続にも充当する用意がある旨、CADC センタ

一長から説明があった。しかし、全般的にみると、ラオス側の費用負担実績表（付属資料1.「合同評価報告書」Annex 4.7 (2)）にも記されるとおり、本プロジェクト活動に対する純粋な活動費（職員の給与、事務所賃料を除く）は、ほとんどが CADC の負担であり、DOA（STD を含む）や PAFO による負担には限りがあった。

5-4 インパクト：「中程度」

5-4-1 上位目標の達成見込み

上位目標	OA 促進のための体制が機能する。
指標 1	プロジェクトの終了後、PAFO/DAFO 技術職員、農家グループ、その他に対して、OA に関する CADC の研修が 40 回を超えて実施される。
指標 2	CADC 及び PAFO/DAFO の研修を受けた OA 農家グループに対して STD が検査と認証を行う事例が 4 倍に増加する（現状 2 事例が 8 事例に増加）。

<見込み>

現在の指標では達成状況が測定できない（指標の改定により達成の見込み）

現状の設定指標は本プロジェクトの効果を適正に図ることができず、指標の改定が必要と判断される。一方、以下に示すとおり、調査団が提案する指標の改定案を用いた場合には、本プロジェクト実施の効果の度合いを適切に確認することが可能となり、上位目標の達成が見込まれる。

<指標 1 の現状>

PAFO/DAFO の技術職員や農家グループに対して CADC が実施した OA 関連の研修の回数は、32 回（2013 年）、13 回（2014 年）、16 回（2015 年）となっている。現時点の状況並びに OA に関する CADC の研修実績の推移から考えると、目標数値となる「40 回を超える研修の実施」は不可能と考えられる。

表 5-1 CADC が実施した OA 研修の実施回数

年	2013 年	2014 年	2015 年
研修実施回数	32 回	13 回	16 回

<指標 1 の改定>

同指標は、本プロジェクト開始年の 2013 年の実績「32 回」を基準とした増加傾向を想定した推定指標であったが、ここには、他ドナー等の支援により実施された研修が含まれている。その後、他ドナー等の支援による研修も減少し、研修回数は 2013 年のレベルより少ないものとなったが、ドナーの支援を想定せず実施する研修として考えた場合、2014 年、2015 年の実績をベースに発展させることが現実的であると考えられた。そのため、調査団は同指標の改定として、「毎年 20 回以上」を提案した。

5-4-2 波及効果

本プロジェクトは、3年間という短期間の協力でもあり、また活動のほとんどが、行政側の体制整備を核としていたものの、以下のような点が特筆できる。

(1) ビエンチャン市内の新たな販路開設（常設店舗「Organic Home」）

これまではOA農家が農産物を生産しても、販売の場が仮施設であったことから、OA組合のメンバーにとって、常設販売所の実現は悲願の達成であった。同販売所が開店することで、農家にとって恒久的な売り場が確保されるのみならず、市民へのOAに対する認知度が高まり、生産者と消費者との距離を縮める架け橋となることが期待される。

(2) OA農家グループの運営管理意識の向上

店舗経営や会計等、基礎研修を通じて、OA農家グループは生産管理やマーケティングの面で取り組む意識が高まってきている。

(3) CADCの展示圃場の有効活用

CADCにおける圃場整備・拡充や職員への研修により、OAの新たな試験栽培への応用性が高まり、習得された技術の利用や適用化が始められている。また、同圃場は、視察・展示の目的以外にも農学生の受入れなどOAを実習する場となっており、将来の人材育成の拠点としての可能性を上げた。

(4) 教材や成果品の活用

タイ人講師の支援を得て品質管理マニュアル(QM)をまとめる過程で、STD職員の能力向上が図られた。このことが、のちに職員たち自らが他の関連教材を作成する契機となり、意識向上にも大きく貢献した。また、こうして作成された教材は、若手職員への技術指導にも活用されている。

なお、成果1で行ったOA戦略の策定では、ラオス国の事情に沿った内容となるよう、全国でパブリック・ヒアリングを実施し、すべての県のPAFOに対してOAへの認識を広める効果があった。今後、同戦略は製本され、国内の関係機関に配布・説明がなされるとともに、戦略を実行に移すための実行委員会も設置されることが予定されており、これからの展開に期待がもたれる。

(5) 負のインパクト

特にみられないが、上位目標やその先までを見据えた貢献という観点では課題もみられる。

先述のとおり、本プロジェクトでは、協力期間中にOAを促進するための基盤を強化することをめざしているが、これが達成された数年後には、上位目標の「OA促進のための体制が機能する」状態が期待される。しかしながら、さらにその先数年を考えた場合、OAが広く波及・拡大する、すなわち消費者のOAに対する認知度が高まり、市場が拡大し、一般農家もOA農家に転換する、といった状況は、行政側の体制整備がなされるだけでは実現し得ない。それには、OAを展開するための便益が、広く農家レベルや、さらには国

民（広く消費者という意味では、国内外の OA 農産物を扱う民間セクターや観光客等も含まれる）にも享受できるような視点が求められ、本プロジェクト終了後の体制のあり方として、考慮すべきポイントは多岐に及ぶと考えられる。

（補足） <プロジェクトが支援した常設店舗「Organic Home」>

これまで首都ビエンチャンでは、消費者の OA 農産物への関心は高まってきているものの、常設マーケットは存在していなかった（タートルアン広場、チャオファグム公園、フイフォン市場や各イベント開催に合わせて、週回数ないし臨時でテント販売）。同仮設販売所は、「ビエンチャン有機農業生産グループ（Vientiane Organic Agriculture Production Group : VOAPG）」が運営しているが、2015 年 9 月にはタートルアン広場から別の場所への移転を強いられ、それに対する消費者のクレームも生じたもよう（ただし、別の場所では売上が上がらず、結局はタートルアン広場の近くにある国会議事堂前で再開）。

こうした背景の下、常設施設設置が悲願であった VOAPG の要望を基に、OA 農産物販売の常設店（名称：Organic Home、場所はビエンチャン市中心部より 8 km 地点）の建設・開店のための支援が行われた。同「Organic Home」は、ビエンチャン市内の PAFO 所有地を利用して建設され、PAFO の指導監督の下、VOAPG が OA 野菜等の販売活動を行う予定である。従来の建物の解体と店舗の改装は VOAPG 自らが行い、JICA は供与機材調達、資機材購入、内外装デザインを支援（計 9 万ドル相当）し、また専門家の指導・支援の下、会計をはじめ店舗運営に関する研修を組合幹部向けに行っており、4 月中旬の開店を予定している（正式開店はそれ以降、準備が整ってからの見込み）。

常設販売所の設置は VOAPG の悲願であり、主な理由は、①臨時仮設マーケットの場合、テーブル、テントの毎回の片づけがあり、設置片づけを個人に委託し、その費用：650 万 Kip/月が必要、②さらに複数の仮設マーケットでは、消費者だけでなく、OA 農家もどこで何を販売しているかにつき混乱が生じている、といった 2 点であった。よって、常設店舗が 1 つあれば、購買者にとって分かりやすいこと、追い出されたりするリスクもなくなると、組合メンバーは話していた。

（補足） <「ビエンチャン有機農業生産グループ（VOAPG）」と仮設市場>

同組合は、2016 年 2 月時点で 11 村落により構成されている（各村落で OA 生産グループを形成している）。OA を実践している農家メンバーは 176 世帯。このうち、OA 農産物を栽培し、ビエンチャン市内で販売している農家メンバーは 127 世帯。残り 49 世帯は、新たにグループに加盟したトンマン（Thongmang）村の農家メンバーや、既存の生産グループのなかで新規に OA を始めたいという一般農家からの転身メンバーであり、今年から OA を始めた者ばかりである。新メンバーとなった農家は、土づくりや VOAPG による研修を受けなければならない（1 年の試験期間）、まだ「OA 農産物」として市場に野菜を出せない状態にある。

なお VOAPG 会長によると、ここ数年、メンバー数は増加傾向にあるという。その主な理由は、「OA は環境に優しい」「生産者自身の健康にも悪影響を及ぼさない」「清潔で安全な食料が生産できる」などといった意識をもつ農家が増えてきたためとのこと。こうした一般農家が、PAFO/DAFO からの支援を受けながら、OA 農家へ転向している。これまでの行政側によるサービス提供の一例として、トンマン村の場合、サイタニ郡 DAFO から OA 研修の機会

提供や、グリーンハウス用のビニール資材の支給がなされている。

VOAPG は、各村落の OA 生産グループの総体（連合）として、OA 認証を受けており、認証は個別農家や村落ごとの単位で得ているものではない。また、各農家メンバーが集まって共同生産や共同販売を行っているのではなく、個々の農家が生産し、それぞれがビエンチャン市内や他の市場で販売している。

ビエンチャン市内3カ所（タートルアン地区、ファークム地区、ファイオン地区）でそれぞれ開催曜日を変えて定期的開催される OA 市場（仮設市場）は、テントなどの資機材の一部がプロジェクトにより支援されている。これら OA 市場では、OA 農産物のみが販売されるが、個別農家の生産状況で出荷できる日とできない日とがあり、店頭に並ぶ農産物の量も、各自の生産状況に委ねられている。一般的な価格傾向として、雨期には出荷量が少なく価格は高めとなり、乾期や収穫期には出荷量が多く価格は低めとなる。販売面では、水曜日の客足が少ない一方、土曜日（タートルアン市場及びファークム市場）は賑わうことから、農家の出店要請も土曜日が多く、出店可能な2つの市場において、公平性を保つために、出店する農家も交代制となっている。

5-5 持続性：「比較的高い」

本プロジェクトの持続性の見込みについては、現時点で評価するのは時期尚早ではあるが、以下の観察と分析に基づき、「比較的高い」と判断した。

（1）政策的側面

2025年までの農業開発戦略案において、OAを含むクリーン農業の優先度が高く、今後も大きな政策的変更は予定されていない。本プロジェクトの支援でOA戦略が策定され、今後は同戦略が実施の検討段階に移行していく¹¹。OA認証の規定が整備されたことにより、従来よりもスムーズな審査と認証の実施が見込まれている。国内市場や近隣国のOA農産物に対するニーズや関心が徐々に高まっており、その状況は今後も当面変わりが無い。これらの点から、政策面の持続性は高いと見込まれる。

（2）組織・制度的側面

上記のとおり、ラオス政府としてOAに対する基本方針は変わらず、これを推進するための基礎的な体制がDOA内にある。さらに、OA認証を得た農家グループや民間企業などが毎年認証を更新する必要がある¹²、ICS¹³をはじめ、今後も引き続き強化が図られる必要がある。対象地域の周囲の農家や一般住民のOAについての意識が高まるにつれ、今後、OAを始め

¹¹ 同戦略にはワークプランをはじめ、投資プロジェクト案や実施・予算計画も含まれてはいるが、まだ概要だけで、実際の具体的なアクション・プランや年間・複数年の実行計画にまでは落とし込まれていない。なお、このなかには、「OA委員会（民間セクターを含むプラットフォーム）」の提案も含まれている。同戦略の実施については、今後運営委員会が設置され、実施に対する協議が開始される予定である。

¹² 認証にはまだ時間を要しており制約要因となっている。農家が新規に認証取得を行うには、土壌づくりや環境整備面、資金面だけでなく、実践の技術面や管理面、書類整備面などにおけるハードルは高く、政府による助言や支援が不可欠である。一方、STDへの聞き取りによれば、申請から認証までに要する費用は、申請場所や規模によるが、概して「200万Kip程度（約2万8,000円相当、2016年3月時点）」。農家グループのメンバー数が100人だとすれば、1人当たり、「2万Kip（280円程度）」と、それほど農家の負担になる額ではないとのことであった。

¹³ CADC所長の聞き取りによれば、CADCでは、今の組織体制を改革し、「ICS/参加型有機認証システム（Participatory Guarantee System：PGS）課」を開設し、より強化を行いたいとの希望をもっている。

たいという農家や農家グループの増加が想定され、ひいては新規に認証を取得する事例も増えることが期待される。また、OA 認証の取得のための費用は申請者グループが支払うことや、CADC の OA 農場の維持管理運営には農産物の販売益の一部を充当する予定であることなどから、本プロジェクトにおける能力強化の対象である STD と CADC の職員が、OA 認証・検査もしくは技術指導・研修など、行政サービスの提供を継続する見込みは高く、制度面における中央レベルの持続性は高いと見込まれる。

(補足)

<CADC の今後の構想>

本プロジェクトの支援による圃場整備や職員の能力強化により、CADC における活動は急拡大しており、また学生の受入れや試験栽培など、新たな展開が図られている。

CADC 所長は、将来、CADC を「クリーン農業」が学べる学習・情報センターとして、「国立クリーン農業開発研修センター (National Training Center for Clean Agriculture Development)」に昇格させるべく機能を拡充していきたいとの意向を有している。また、現在ある3つのクリーン農業促進の実働部署 (OA ユニット、GAP ユニット、収穫後処理ユニット) に加え、品質管理ユニット (ICS/PGS システムの導入) の部署、さらに OA 部署のなかに、新たな部署 (果樹、観賞植物部門) を創設する計画もあるとのことであった。

(補足)

<CADC の新しい機能：農業学生の受入れ>

以前は、高等専門学校生 (3 年制) の最終学年の農場視察として、毎年数名を数日間に限り受け入れていただけであったが、現在の所長が就任してから、学生の受け入れ方針が変わっている。

本プロジェクトの支援により、グリーンハウスやパッキングハウスが整備され、配水システムやトラクターの機材供与などにより、圃場が整備・拡張された。この圃場を利用して、学生にも実習してもらおうと、2014 年から学生の受入れを拡大し、最終年度の学生の短期実習のみならず、新入生の受入れも開始した。ここでは、農業習得の基礎から実習を行えるよう CADC の若手職員を指導担当として配置し、学生への助言や技術支援を行うほか、宿泊・食事も提供している。また、受入人数についても、これまでは通年でも 1 桁台の人数に限られていたものが、2015 年は 20 数名、2016 年は既に 30 数名を受け入れている (2016 年 2 月時点)。この学生の受入れは高等専門学校からの要望でもあるが、拡大した圃場を有効活用でき (無償で労働力が得られる、実習で生産した農産物を販売し収益が得られる)、さらには CADC の若手職員の指導者としての訓練の場にもなり、「Win-Win 関係」にあると、CADC センター所長がコメントしている。

(3) 技術的側面

本プロジェクトの実施で、OA に関する知識や実践的技能を C/P が習得し、能力強化や人材育成が図られたことで、中央の STD や CADC において、今後の中核人材となる職員やトレーナーが必要数確保された。今後は、こうした職員が同じポストにとどまり、知識や技能を活用すること、そして PAFO/DAFO 職員や他の職員に対しても得られた経験・技術が移転されること、さらには各種教材や規定集の改訂版を活用していくことが期待される。

また、CADC においては、今後も OA の技術や研修実施体制を維持・向上させていくことが見込まれる。

対象地域の PAFO/DAFO では、OA の知見を深めた職員がいる一方で、まだ十分な理解を有していない職員も存在する。OA 農家グループにおいても、品質確保のための ICS の徹底や、行政側からの指導はまだ十分なレベルにあるとはいえない。これらの点については、今後も活動を継続していく必要がある。

(4) 財政的側面

OA における政策上の優先度は高く（戦略ビジョン 2025 や OA 戦略計画ビジョン 2030 にも位置づけあり）、OA 戦略も公式文書として承認されるなど、OA 促進に係る予算確保の計画が策定されている。一方、本プロジェクトの実施期間中は、C/P 側が活動予算をラオス国政府へ申請しても十分な予算配分がされていないなど、ラオス国側の予算確保や経費負担には制約があった。

他方、CADC の OA 技術研修や栽培試験などの活動においては、試験栽培された OA 野菜の売り上げを、正規の予算配分が得られるまでの代替資金として活用することで、研修経費のほか、圃場や本プロジェクトで整備・投入した設備や機材の維持管理に充当する試みも実施され、持続性に向けた前向きな姿勢として評価できる。加えて、本プロジェクトに要請があったが支援対象としなかった貯水池造成や圃場拡大については、最終的に CADC の自己資金により整備が行われており、相応の自助努力姿勢がみられる。

加えて、2015 年 10 月に終了した「JICA-ASEAN 連携ラオス・パイロット・プログラム（農業コンポーネント）」¹⁴により整備された CADC 内の GAP 圃場についても、協力終了後の栽培や施設の運営管理状況を確認した。予算不足やスタッフの配置換えなどもあり、規模の縮小などはみられるものの、圃場の運営は行われていた。

(補足)

<CADC の予算状況>

今回の調査で、CADC の予算状況について聴取した内容は以下のとおり。

ラオス国会計年度	金額（単位：Kip）
2013 (2012.10～2013.9)	150,000,000
2014 (2013.10～2014.9)	200,000,000
2015 (2014.10～2015.9)	250,000,000
2016 (2015.10～2016.9)	820,000,000（要求額）

出典：CADC 及び DOA の計画協力課へのインタビュー結果及び計画実行案を基に作成

予算の内訳について、2015 年度の場合、配分された 2 億 5,000 万 Kip の内訳は、GAP 及び

¹⁴ 正式名称「ASEAN 統合に向けた開発格差是正をめざしたラオス・パイロット・プログラム（LPP）（安全で高品質な農産物振興コンポーネント）」。ラオス政府と JICA の協働プログラムで協力期間は 2010 年から 2015 年 10 月までの 5 年間。「ASEAN 統合ロードマップ」に掲げられた GAP の実施のため、ラオス国における GAP 実践の導入として、ロードマップ策定、パイロットサイトでの GAP の試験的導入、関係職員の能力強化を行っていた。

OAにそれぞれ約1億 Kip、残りが収穫後処理や事務経費に5,000万 Kipであった。これに対して、同予算の実際の用途は、施設・圃場の維持管理費、臨時職員備人費、事務管理費、職員の出張旅費、野菜販売の輸送燃料費などである。また、学生の実習受入に係る食事や宿泊所関連の費用の一部も同予算から捻出している模様である。

2016年度は、「商品作物生産及び国家食料安全保障」特別予算枠の下、「食料安全保障のための米生産及び加工」(3億2,000万 Kip)と「クリーン農業生産促進及び普及」(5億 Kip)の事業を実施するため合計8億2,000万 Kipの予算が承認されている。DOAは、2015年末までに当該事業執行のための予算配布を財務省に申請しており、2016年3月現在、同省からの予算配布を待っているところだが、実際の配布額や配布時期については明らかになっていない。通年の予算配分状況からみると、全額承認される可能性は未知数だが、ここ数年の予算配分実績の推移からみれば、前年より増額されるとの予測がもたれている。

第6章 結 論

今回の終了時評価に係るプロジェクト関係者（MAF 関係部局、県・郡職員、OA 農家グループ、専門家など）との一連の協議やインタビュー、現地踏査の結果、本プロジェクトの活動はほぼ予定どおり実施され、プロジェクトの介入による相応の効果と成果達成状況が確認された。一部の指標においては、調査時点で未達成の部分もあるが、当初の協力期間終了までに達成するめどが立っており、本プロジェクトは全体として当初の目的を達成する見込みとなった。このため、当初予定どおり、討議議事録（Record of Discussions : R/D）記載の期間である 2016 年 9 月をもって終了する。

本プロジェクトの達成度は、以下のとおりに集約できる。

- （1）OA 戦略が策定され、DOA によって正式に承認された。
- （2）目標としていた人数以上の CADC 職員が、TOT 研修を経てトレーナーとして育成された。
- （3）ラオスの有機認証制度（LCB）が国際規格と同等のマネジメントシステムとして認証を得るために最低限必要な方針文書が、STD で揃えられた。
- （4）規定に沿って OA 認証検査を実施できる検査官の人数が当初目標以上に増加した。さらに、これら検査官のなかには、他国の認証機関〔タイの有機農業認証機関（NGO）：ACT〕の検査官として認定を受けるに足るだけの実力を備えた者も出てきている。
- （5）PAFO/DAFO 職員のうち、OA 基準に関する理解度テストに合格した者が当初目標の 50% を上回った。
- （6）OA 認証に係る審査期間は、当初目標の「4 カ月未満」にまでは達していないが、この時短の阻害要因は既に明らかにされている。今後、対応策が実行に移されることが関係者間で合意されていることから、本プロジェクト終了時点までに時短は達成されると見込まれる。

第 7 章 提言及び教訓

7-1 提言

(1) 今後の活動内容の整理

本プロジェクト期間が終了しても、OA の普及促進のためには、活動を継続・発展することが望まれるため、今後行うべき活動は各成果ごと 3 つの段階に分けて、以下のとおり整理する必要がある。

段 階	成果 1	成果 2	成果 3
1. プロジェクト期間内に完了すべき活動	OA 戦略が最終化され、MAF に承認される。	CADC 職員と共に、総合的病害虫管理 (IPM) 研修の実施や、TOT カリキュラムの策定及び教材の作成を行う。(中級レベル)	ISO/IEC17065 に沿った認証システムの強化を図る。
	OA 戦略を必要部数印刷する。	PAFO/DAFO 職員が CADC 職員と共に、農家のニーズに対応した農家向け研修プログラムを策定し、CADC/PAFO/DAFO 職員向けの OJT として研修を実施する。(基礎レベル)	OA 認証審査会議の頻繁な開催や、品質管理マニュアル (Quality Manual) 及び標準手順書 (SOP) の実施を通じて、認証期間の時短対策を講じる。
	OA 戦略の実実施計画と責任者を決定するための運営委員会を設置する。	「Organic Home」運営のため、農家グループ/PAFO 職員の能力向上を図る。	OA 基準見直しのための DOA 内ワークショップを開催する。
			検査官のためのフィールド研修を実施する。
2. ラオス側の努力により継続されるべき活動	OA 戦略を実施に移すため、担当機関と予算を明記したロードマップを策定する。	CADC 職員による PAFO/DAFO 職員に対する TOT(中級レベル) を実施したのち、各農家グループ/農家に対して研修を実施する。	認証に係る時短対策の進展状況を確認する。
	OA 戦略及びロードマップ/年間活動計画を周知するためのワークショップを開催する。	PAFO/DAFO 職員が農家に対する研修を計画・実施できるよう CADC 職員が支援する。	OA 基準改定のためのパブリックヒアリングを実施する。
	OA 普及のため、全国レベルの OA 協議会 (さまざまな関係者間のネットワーク) の設置を立案する。	国の OA 技術研修センターとして CADC の能力向上を図る。	検査官が ACT 検査官として認定されるよう、継続的な能力向上を実施する。
3. 長期的視点で取り組むべき活動	OA 戦略/ロードマップに沿って活動を実施する。	CADC が TOT (上級レベル) のカリキュラム策定と教材の開発を行う。	検査業務を PAFO に移管するための方法を協議する。
	OA 戦略/ロードマップの進捗と各活動の実施状況を確認する。	OA トレーナー養成のため、CADC による PAFO/DAFO 職員向け TOT 活動の強化を図る。	ラオス国の認証制度が他の国際認証基準との間で同等性を獲得する。

	OA 戦略を改良／改定する。	対象各県に OA 市場を設置する。	他国の認証システムの検査官として認定されるよう、職員への研修を継続して実施する。
--	----------------	-------------------	--

(2) PDM 及び PO の改定

今回の調査結果から、以下のとおり、PDM 及び PO の改訂を提言する。

1) 活動項目の明記

本プロジェクトで整備・拡充を行った倉庫、パッキングハウス、グリーンハウス、常設販売所「Organic Home」が、現行の PDM（第2版）上に明記されていない。そのため、これらの投入要素とその目的を PDM 上に整理すべく、以下のとおり、成果2の活動項目として2つの項目を追加する必要がある。

2-2： CADC における研修や実演に必要な施設を整備・改修する（倉庫、パッキングハウス、グリーンハウス等）。
2-10： 農家グループ／農家に対するマーケティング活動を支援する（OA 農産物の常設市場等）。

2) 上位目標指標の修正

上位目標の指標2点は、どちらも数値設定が実際の状況に対して高く、適切ではないと判断されるため、以下のとおり改定することを提言する。

<指標1>

現 在	プロジェクトの終了後、PAFO/DAFO 技術職員、農家グループ、その他に対して、OA に関する CADC の研修が 40 回を超えて実施される。
改定案	プロジェクトの終了後、CADC 及び PAFO/DAFO による農家への OA に関する研修が年間 20 回を超えて実施される。

<指標2>

現 在	CADC 及び PAFO/DAFO の研修を受けた OA グループに対して STD が検査と認証を行う事例が 4 倍に増加する（現状 2 事例が 8 事例に増加）。
改定案	OA 農家グループに対して STD が検査と認証を行う事例 [*] が毎年 10%づつ増加する。 <small>*：「事例」とは、新規申請事例のみでなく、認証更新の事例も含む。</small>

3) Organic Home への支援

OA 農産物の常設販売所として 2016 年 4 月に開店予定の「Organic Home」は、VOAPG により運営されるが、今後の継続と経営力向上には PAFO による協力と支援が不可欠となる。日本側による支援は技術面での助言と実地訓練に限られ、ひとたび店舗が完成すれば運営コストは VOAPG が賄うこととなる。OA 促進と市民の認知度向上の観点からは、MAF

が VOAPG に対して ICS や検査・認証、促進活動などに関する研修の機会を設ける必要がある。

4) 関係者間の相互コミュニケーション

意見聴取などを通じて、農家側は CADC や PAFO レベルに技術的助言を期待している反面、サービス提供側は農家から要望が出てこないと認識しているなど、関係者間でニーズや認識についてのギャップがあることが確認された。サービス提供者として DOA、CADC、PAFO/DAFO は、提供できるサービスの内容について広く、分かりやすく農家グループ／農家側に伝えていく必要がある。そのためには、農家グループ／農家側との相互コミュニケーションの機会を頻繁に設けることが望まれる。

7-2 教訓

(1) プロジェクトの枠組み

本プロジェクトは、①制度構築、②行政側の人材育成、③農家への普及、④流通改善・販売促進、といった一連の流れの最初の部分的に絞って活動が行われた。しかし、そのアプローチは、行政側のニーズに基づいた部分が中心となり、真の裨益者となる農家のニーズや、プロジェクトの便益が農家への程度到達するか、といった点が十分にくみ取れていない側面もあった。

技術協力プロジェクトでは、案件の形成段階から農家など最終裨益者より情報収集を行うことが重要であるが、時間的制約などから必ずしもそれが十分に行われない場合もある。そのため、実施段階においては、最終裨益者の真のニーズを念頭に置きながら活動を展開する必要がある。例えば、本プロジェクトのように技術の普及方法や認証など制度面の強化を図る案件であっても、最終裨益者である農家が、技術の普及によって収入向上を図りたいという本質的なニーズに合致しているかどうか、常に意識することが肝要である。

(2) 地域内のリソース活用

周辺国やラオス国内の現地人材の活用は、国の状況や文化、言語等の面で共通理解できる部分が多い。加えて、渡航手続きに係る時間も比較的短く済むため、本邦からの日本人専門家派遣と比べても優位性がある。また、タイ国では OA に関して外国からの研修員を受け入れる施設も少なからず存在し、言語の類似性や費用対効果の観点からも有用性が高い。とりわけ、農家グループ等のタイ国（特にタイ東北地方）で研修を受講することは、講師陣側がラオス国の農民の文化や考え方に共感しながら研修を進めることに慣れているという観点から、特に研修地としての適性が高い。

人的・予算的にも制約のある小規模案件においては、国内や周辺国のリソースを有効活用することが、効率的な投入を行ううえで参考となる点だといえよう。

第8章 技術面総括

8-1 有機農業に関する技術普及について

- (1) 本プロジェクトによる貢献もあり、CADCのOAのモデル圃場に関しては、ほとんどすべての圃場には作付けが行われているか、そうではなくても利用栽培計画が存在し、職員、研修員等による活発な活動が行われていることが観察された。また、圃場への水の供給に関しては、プロジェクトが支援した給水タンクに加え、CADCが自費により貯水池を造成し、ポンプによる給水も行えるようにしているなど、CADCとしてOAを積極的に進める強い意欲も認められた。
- (2) CADCでは、首都ビエンチャン周辺、また、それ以外の県からも高等専門学校(polytechnic)等の学生を無償で積極的に受け入れ、食費や交通費などをCADCが負担して、OAについての実地研修、試験及び実証実験を実施している。このことは、ラオス国におけるOAの理解者・実践者の裾野を広げることにつながると同時に、CADCにとっては、職員の研修実施能力の向上(学生の指導は若手職員に担当させているとのこと)及び作業員の確保という実際的なメリットもあり、工夫をして同センターの運営、職員の能力向上を行っていることが理解できた。
- (3) 一方、予算不足等の理由により、CADCでは各県・郡の普及関係者への恒常的・計画的なOAに関する研修は行われてはならず、現時点では、他のドナー・NGOプロジェクトないし企業・県機関からの要請に応じた研修が個別、臨時に行われているのが実情である。
- (4) DOAでは、将来的にCADCをラオス国における本格的なクリーン農業(OA・GAP)のトレーニング・情報センターとする構想を有している。総論として、その必要性は理解できるものの、人的・資金的なリソースに限りがあるなかでは、人材育成、各県・地域への技術移転、研修内容整備、施設整備等に関して、具体的にどのようなステップを踏んでこの構想を実現していくのか、戦略計画及び、より詳細な工程を描くことがまず必要となろう。

8-2 OA認証に係る検査体制について

- (1) 本プロジェクトの支援による検査に関する研修を通じ、一定の知識を獲得したか、又は向上させた検査官の数は増えており、多くの検査官は単独で検査を実施できる水準にある。しかしながら、今後増加していくと考えられる検査要請、また、PAFO等への検査業務委譲という将来構想へ対応するためには、更なる検査体制の充実が必要である。
- (2) 今回の調査において、OAの普及に必要な事項として、首都ビエンチャンPAFO及び農家側から共通して挙げられたのがICSに関する能力強化であった。当面、検査業務をSTDの検査官が担う必要がある一方で、これら検査官が検査以外の業務も抱えて多忙である現状においては、より効率的で迅速なOA検査・認証のため、農家グループ内部で自ら技術の維持・モニタリング等を行うこと、すなわち、ICSを推進することが不可欠である。このことは、農家側の認証取得及びその更新のコスト負担の低減にもつながる。したがって、検査体制の

充実と並行して、農家グループ内及び PAFO/DAFO にも ICS についての指導を行える人材を育成すること、そして、農家からの ICS についての研修要請や照会にこれまで以上に対応可能な体制を構築することも、優先的に取り組むべき課題のひとつと考えられる¹⁵。

- (3) また、近年、DOA の認証を取得ないし更新していない者が、意図的に同局が指定するラベルを使用する違法事案が発生している (STD からの聞き取りによる)。DOA が推進する OA 認証制度の信頼性確立のためには、このような事案の取り締まりの強化、市場や農場における抜き打ちの調査などの措置が必要となろう。

8-3 OA に関する意識啓発について

- (1) 調査において、DOA からは、消費者及び農家に対して OA に関する意識啓発を引き続き行っていく必要があるとの問題意識が提示された。意識啓発の促進は、OA 農産物のマーケットの拡大に直接貢献することはいうに及ばず、OA 農産物のバリューチェーン構築を促す基礎的な条件となるものであり、その重要性は論を待たない。

- (2) 上述のような意図的な違法ラベル事案が発生していることが示すように、DOA による OA 認証制度はその認知度を徐々に増していると考えられるものの、ラオス国内ではさまざまな OA 農産物の表示がなされた農産物が混在するかたちで販売されていることに変わりはない¹⁶。このような実情を考慮しなければ、いくら政府が OA 推進の旗の下に意識啓発活動を実施しても、DOA が定める OA 基準に沿ったものとはならない可能性もある。したがって、農林省 (MAF)、関係省 (商工省、保健省、教育スポーツ省等)、民間企業等関係者が協調し、利用できるさまざまな手段・機会 (さまざまな利害関係者が協議する場や組織の設立、セミナー、広報、展示会、学校教育等) を通じて、DOA が進める OA (基準) あるいは GAP をはじめ、「クリーン農業」及び認証制度に関する意識啓発が行われる必要がある。

8-4 OA 農産物のマーケティングについて

OA の促進のためには、OA 農産物のマーケットの拡大にも対処する必要がある。このためには、上記のような意識啓発のほかにも、生産者側が市場のニーズの把握に努め、販路の開拓を行っていくことも必要である。しかしながら、多くの農家に関して、このための知見や経験がまだ十分に備わっていない現状においては、農家に対してマーケティングについて学ぶ機会を何らかのかたちで提供ないし情報提供すること、生産者と需要家のマッチングを支援することなども必要であろう。本プロジェクトの支援により設置された「Organic Home」に係る取り組みはまさにこれらを実践するものであり、このなかで得られた成功体験や教訓が広く共有され、今後の同様の取り組みに生かされることが望まれる。

¹⁵ 農家等に対する ICS に係る支援は、主に CADC が行っている。

¹⁶ 「有機農業基準に関する農林大臣決定」(2005 年) では、DOA 以外の他の機関の認証又は自己申告による OA 農産物の表示を強制的に排除する規定とはなっていない (DOA の認証を取得していない者が、同局が指定するラベルを使用することは禁止されている)。

第9章 団長総括

9-1 空中戦と地上戦

首都ビエンチャンでは、OA 農産物の国内市場が小さいとか、輸出志向が必要だという「空中戦」的な議論は活発だが、数量的な分析や事実情報の裏づけに乏しく、説得力に欠けることが懸念された。終了時評価に先立ってサバナケット県を訪問する機会があり、OA 野菜の生産者グループの女性リーダーと彼女の畑で面談する機会があった。なぜ OA 栽培に取り組んでいるのかという問いに対して、彼女は端的に「OA 野菜は日持ちが良いから」とだけ答え、彼女の周囲にはその観点からグループの活動に関心を示す女性が多いことを教えてくれた。こういった地に足の付いた情報は、インターネットがなくても、農家の女性同士の日常的な口コミで確実に伝わる。他方、面談に同席した PAFO 職員にとっては初めて聞く話であったし、さらに遠く離れた首都ビエンチャンの役所には伝わっていない。

換言すれば、①生産者の価値観と政策立案に携わる官僚の価値観に乖離があること（両者の相互作用が十分に機能する日常的な「場」や「機会」の設定が不十分）、さらに、②OA の規制策と促進策が整理されないままに混在しているため、現場を担う PAFO・DAFO 職員の役割に明確な指針が示されていないことが、上記のエピソードからうかがわれる。本プロジェクトでは、その活動範囲を“行政の世界”に限定し、バランスの取れた3つの成果がほぼ達成されたとはいえ、将来に向けた OA 促進のためには、より農家に近い環境での情報収集や意見交換など、PAFO/DAFO を含む農林省職員が多くの“地上戦”を経験する「場」の設定、そしてその経験を政策や制度のデザインに効果的に利用できる環境整備などが求められよう。

9-2 「消費者」はどこに？

農産物に関しては、先進工業国ではその人口のほとんどが生産者ではなく、消費者である。わが国も例外ではなく、生産者（農業就業人口）は総就業人口の4%程度にすぎず、OA に取り組む農家は更に少ない。すなわち、日本で OA というとき、生産者は膨大な、しかも多様性に富んだ消費者群に向き合い、「消費者はどこに」と万策を尽くす。日本の OA 農産物に関する消費者調査¹⁷によると、約95%の消費者は OA 農産物に関心をもつ一方で、国の OA 認証制度を理解している者や JAS の OA 認証マークを知っている者は、わずかに5%にすぎない。この5%を広い市場のなかで特定するのか、あるいは認知されていない認証制度にはかかわらず、何らかの手段で特定の消費者との信頼関係を形成して直販するのか、OA 農家の販売戦略は多様である。

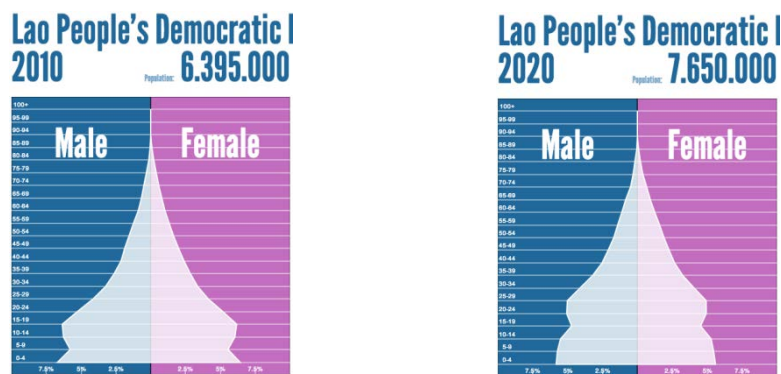
他方、ラオス国はどうか。国民の多くは農村部に暮らし、ひと握りの都市住民だけが純然たる消費者だと考えられている。OA 促進の観点から、この日本とラオス国の違いをどうとらえるか。ひとつの方向性は、この都市部住民に焦点を当ててマーケティングのあり方を検討すること、そしてもうひとつは、国民の大多数が生活を営む農村部での OA 農産物市場を発掘することではないか。

首都ビエンチャンの人口は、わずかに約80万人にすぎない（徳島県人口約78万人、東京都練馬区約71万人。いずれも2010年）。そういう意味では、都市部での市場形成は戦略次第である。仮設の OA 農産物市場、これからスタートする「Organic Home」というエントリーポイントが、

¹⁷ 「有機農産物に対する消費者の意識と理解促進に関する調査報告書」、(特活)日本有機農業研究会、平成23年3月。

既にある。また、都市部一般家庭の台所は女性に任されているとすると、OA の拡大・促進の一翼を担うのは彼女たちであるに違いない。ラオス国に限ったことではないが、MAF は農業生産と生産性向上に注力するあまり、消費者の構造や動向は視野の外にあるとって過言ではない。OA に関心をもち、OA 農産物を積極的に購入しようという消費者について、ラオス国 MAF はどのように把握しようとしているのか。また消費者の裾野を広げるための手立ては何か。こういった課題について終了時評価で十分に踏み込むことはできなかった。評価の議論の場に女性の姿はなく、「男の世界」にとどまっていたことは、今回の評価のひとつの限界であったかもしれない。

他方、農村部では地産地消の枠組みのなかで進められてきた日本の「学校給食」の取り組みが参考になるかもしれない。「Organic Home」には、給食を提供する幼稚園から OA 農産物の引き合いがきているという。まずはこういった引き合いに地道に取り組み、所管する教育省上層部への情報提供を充実させることも有意義であろう。教育省は典型的な上意下達セクター官庁であり、好事例があれば、それをモデルとして政策的に全国展開する可能性があるからである。農村部においては、よく顔を知る同じ村の子供たちに安全な食料を提供しようという価値観が、農家には浸透しやすいと期待できないだろうか。ラオス国の人口ピラミッドは、図に示すように末広りの富士山型から釣鐘型への移行期にあることを示しており、その 40 歳未満人口はラオス国内の比較的大きな潜在市場の存在を示唆してはいないだろうか。安定的な OA 農産物供給力の充実、農家間の生産調整をはじめとする組織力の向上、既得権益との調整といった農家側で越えなくてはならないハードルは決して低くはないが、「OA の国」ラオス国のめざすべきひとつの方向性かもしれない。



出典： <https://populationpyramid.net> (World Population Prospects The 2015 Revision)

図 9-1 ラオス国人口ピラミッド (左：2010年、右：2020年予想)

付 属 資 料

1. 合同評価報告書（含む PDM）

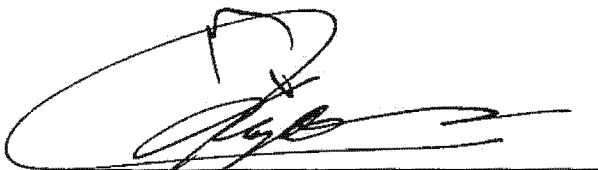
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE LAO TERMINAL EVALUATION TEAM
MINISTRY OF AGRICULTURE AND FORESTRY
THE GOVERNMENT OF LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
LAO ORGANIC AGRICULTURE PROMOTION PROJECT (LOAPP)

The Japanese Terminal Evaluation Team headed by Mr. Masanobu KIYOKA, the Senior Advisor of Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the Lao Terminal Evaluation Team headed by Mr. Khamtanh THADAVONG, Deputy Director General, Department of Agriculture of the Ministry of Agriculture and Forestry (hereinafter referred to as "MAF"), organized the Joint Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") of the technical cooperation project, Lao Organic Agriculture Promotion Project (hereinafter referred to as "LOAPP").

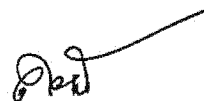
Through the Terminal Evaluation, the Team had a series of discussions for the purpose of clarifying the achievement and lessons learned of the Project. The Team prepared the Joint Terminal Evaluation Report (hereinafter referred to as "the Report") as attached, and presented it at the Joint Coordinating Committee held on March 4, 2016.

As a result of the discussions, both the JICA and MAF reached common understanding and agreed upon the matters referred to in the Report.

Vientiane, March 4, 2016



Mr. Masanobu KIYOKA
Senior Advisor
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Khamtanh THADAVONG
Deputy Director General
Department of Agriculture
Ministry of Agriculture and Forestry
Lao PDR

**JOINT TERMINAL EVALUATION REPORT
ON
TECHNICAL COOPERATION FOR LAO ORGANIC AGRICULTURE
PROMOTION PROJECT (LOAPP)**

**Vientiane
March 4, 2016**

a



Contents

1. Introduction.....	4
1.1 Purpose of the Terminal Evaluation.....	4
1.2 Members of the Joint Terminal Evaluation.....	4
1.3 Process and Methods	5
2. Outline of the Project.....	6
3. Accomplishment of the Project.....	7
3.1 Actual Inputs	7
3.2 Accomplishment of Activities	8
3.3 Achievement of Outputs, Project Purpose and Overall goal (prospect).....	8
3.4 Project Implementation Process	9
4. Evaluation by Five Criteria.....	9
4.1 Relevance	9
4.2 Effectiveness	11
4.3 Efficiency	11
4.4 Impacts.....	12
4.5 Sustainability	12
5. Conclusion	13
6. Recommendations and Lessons learnt.....	14
6.1 Recommendations	14
6.2 Lessons learnt.....	17

n

7

ABBREVIATIONS AND ACRONYMS

ACT	Organic Agriculture Certification Thailand
CADC	Clean Agriculture Development Center
C/P	Counterpart Personnel
DAEC	Department of Agricultural Extension and Cooperatives
DAFO	District Agriculture and Forestry Office
DDG	Deputy Director General
DOA	Department of Agriculture
DOPC	Department of Planning and Cooperation
EOJ	Embassy of Japan
GAP	Good Agricultural Practice
GOJ	The Government of Japan
GOL	The Government of Lao PDR
ICS	Internal Control System
ISO	International Organization for Standardization
JCC	Joint Coordinating Committee
JFY	Japanese Fiscal Year
JICA	Japan International Cooperation Agency
Lao PDR	Lao People's Democratic Republic
LCB	Lao Certification Body
LOAPP	Lao Organic Agriculture Promotion Project
MAF	Ministry of Agriculture and Forestry
M/M	Minutes of Meeting
MOFA	Ministry of Foreign Affairs
OA	Organic Agriculture
ODA	Official Development Assistance
PAFO	Provincial Agriculture and Forestry Office
PDM	Project Design Matrix
PKZ	Pakse
P/O	Plan of Operation
PVP	Plant Variety Protection
R/D	Record of Discussions
STD	Standard Division
TIEP	Technical Information Exchanging Programme
TOT	Training for Trainers
USD	United States Dollar
VOAPG	Vientiane Organic Agriculture Production Group





List of ANNEX

- Annex 1 : Schedule for Terminal Evaluation on LOAPP
- Annex 2 : Project Design Matrix (PDM: Version 2)
- Annex 3 : Plan of Operation (P/O: Version 2)
- Annex 4 : List of Input
- Annex 5 : Status of training, workshop, etc (+ Definition of training, seminar and workshop)
- Annex 6 : List of Products
- Annex 7 : Summary of achievement level of Output & Project Purpose/Overall goal
- Annex 8 : Detailed description of project implementation process
- Annex 9 : Project Implementation Structure
- Annex 10 : PDM: Version 3
- Annex 11 : P/O: Version 3

(Exchange Rates)

LAK⇔JPY

JFY	LAK	JPY
JFY2013	LAK1=	JPY0.012
JFY2014	LAK1=	JPY0.014
JFY2015	LAK1=	JPY0.015

Source: JICA exchange rate

USD⇔LAK

JFY	USD	LAK
JFY2013	USD1=	LAK7,852.10
JFY2014	USD1=	LAK7,920.62
JFY2015	USD1=	LAK7,997.05

Source: Exchange rate from website, compiled from leading market-data contributors

a

7

1. Introduction

Lao Organic Agriculture Promotion Project (LOAPP) (hereinafter referred as to “the Project”) has been implemented since September 2013 in cooperation with JICA and will complete its three-year activities in September 2016.

This is the time for the Terminal Evaluation of the Project. Effective and successful joint Lao-Japan evaluation exercise is subject to an appropriate design and schedule as well as to the close discussions among stakeholders on the scope and key issues in the evaluation which takes the current situation and the characteristics of the Project into account.

1.1 Purpose of the Terminal Evaluation

Purpose of the Terminal Evaluation was as follows:

- (1) To review the achievement and implementation process of the Project according to the Project Design Matrix (hereinafter referred to as the “PDM”),
- (2) To evaluate the Project according to the five evaluation criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability),
- (3) To discuss the plan and issues for the remaining Project period,
- (4) To draw lessons learned from the Project by identifying the promoting and impeding factors of achievements of the Project, and
- (5) To present the evaluation result in a form of a joint evaluation report.

1.2 Members of the Joint Terminal Evaluation

The Joint Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”) consists of the following members:

(1) Lao Government Side

Name	Title	Position in the Team
Mr. Khamtanh THADAVONG	Deputy Director General, Department of Agriculture, MAF	Team Leader
Dr. Phanpradith PHANDALA	Director, Division of Planning and Cooperation, Department of Agriculture, MAF	Member
Mr. Hadsady SISOUVANH	Deputy Director, Administration Division, Department of Agriculture, MAF	Member
Mr. Vongsavanh VONGKAYSONE	Deputy Director, International Cooperation Division, Department of Planning and Cooperation, MAF	Member

(2) JICA side

Name	Title	Position in the Team
Mr. Masanobu KIYOKA	Senior Advisor, JICA	Team Leader
Mr. Takashi SEO	JICA Agricultural Policy Advisor. MAF	Member (Agricultural Policy)
Mr. Kazuhiro OTSUKI	Team 1 Special Advisor, Agricultural & Rural Development Group 1, Rural Development Department, JICA	Member (Planning Management)
Mr. Akira MATSUMOTO	President, A&M Consultant Co., Ltd.	Member (Evaluation & Analysis)

1.3 Process and Methods

(1) Process of the Joint Terminal Evaluation

The Joint Terminal Evaluation was implemented in two steps as follows:

1) Step 1: Preliminary survey by a member of JICA side

Based on the progress and achievement of the Project compiled by the Project staff, the Project was evaluated preliminary through interviews with the Lao counterpart personnel, Japanese experts and the Project beneficiaries using questionnaires and field investigation of the Project sites. The survey was implemented by a member of JICA side who was responsible for Evaluation Analysis in cooperation with JICA Laos Office.

2) Step 2: Joint evaluation survey

Taking into account the outcomes of the above step, the Team carried out further field investigation in the Project sites and series of discussion for adequate evaluation of the Project. The Team summarized the whole results in the Joint Evaluation Report (this report) for mutual understandings.

The Japanese members of the Joint Evaluation Team were dispatched on February 21 2016. Detailed schedule is shown in ANNEX 1.

(2) Evaluation Criteria

The Terminal Evaluation survey was carried out following JICA's Project Evaluation Guideline and the five evaluation criteria, which are explained below.

1) Relevance

Relevance refers to the validity of the Project Purpose and the Overall Goal in connection with the development policy of Lao PDR as well as the needs of beneficiaries.

2) Effectiveness

Effectiveness refers to the extent to which the expected benefits of the Project have been achieved as planned. It also examines whether these benefits have been brought about as

a result of the Project.

3) Efficiency

Efficiency refers to the productivity of the implementation process. It examines whether the inputs of the Project have been efficiently converted into Outputs.

4) Impact

Impact refers to direct and indirect, positive and negative impacts caused by the implementation of the Project, including the extent to which the Overall Goal has been attained.

5) Sustainability

Sustainability refers to the extent to which the Project can be further developed by Lao PDR, and the extent to which the benefits generated by the Project can be sustained under the national policies, technology, systems and financial state.

(3) PDM and P/O used for the Review

The Team conducted evaluation referring to the current version PDM (Version 2) and P/O that are shown in ANNEX 2 and ANNEX 3.

2. Outline of the Project

(1) Background

The Ministry of Agriculture and Forestry (MAF) is promoting commercial production in the 7th MAF Five Year Plan (2011-2015). In Lao PDR, it is described that organic agriculture (OA) has high potential for commercial production because pesticide and chemical fertilizer have not been widely applied in conventional farming.

With such preferable environmental condition for organic farming, the concept “sustainable agriculture and organic farming” was introduced in MAF since late 1990s, and sustainable farming technologies were incorporated into various training programs for farmers. The project aimed at creating an enabling framework and conditions for organic agriculture by supporting the production of organic products, and promoting their sale on the domestic market, and the development of regional and international markets, and the project was terminated in 2011. Although the project had set up the structure for promoting organic agriculture, inspection for certification on the organic agriculture by the accreditation body and the extension system is yet to be fully functional due to insufficiency of practical knowledge on OA and human resources. Hence, quality of organic products is still low and is yet to meet the demands of market. In addition, as practical plan of promotion of OA, DOA is going to develop national organic program.

Based on above background, JICA Technical cooperation project “Lao Organic Agriculture

Promotion Project (LOAPP)” was formulated aiming to strengthen the capacity of Department of Agriculture (DOA) officers on promotion of organic agriculture for increasing farmers’ income.

LOAPP has been implemented since September 2013 and will complete its three-year activities in September 2016. In order to make the best use of the last half-year-period of LOAPP, and to prepare for transferring the whole project activities to the Government of Lao PDR (GOL) after the completion of LOAPP, the Terminal Evaluation was conducted with the joint members consisting of both Lao and Japanese sides.

(2) Overall goal

Structure for promotion of organic agriculture is functional.

(3) Project purpose

Structure for promotion of organic agriculture is enhanced.

(4) Outputs

- Output 1: Strategic plan for national organic agriculture development is finalized.
- Output 2: CADC’s capacity for promotion of organic agriculture is improved.
- Output 3: Standard Division's capacity for promotion of organic agriculture is improved.

3. Accomplishment of the Project

Accomplishment of the Project was examined in terms of Inputs, Activities, Outputs and Project Purpose, as specified in the Record of Discussion of the Project, PDM, and P/O. The results are summarized in this chapter.

3.1 Actual Inputs

(1) From JICA side

The following items were the actual inputs from JICA to support the Project implementation. The details are summarized in ANNEX 4 (List of Input).

1) Assignment of experts

Three (3) long-term experts and three (3) short-term experts in total have been assigned by the time of the final evaluation study. In addition, ten (10) third country experts (from Malaysia and Thailand) as seminar lecturers in short-term have been assigned in total and local consultants for various activities such as market analysis survey were assigned.

2) Counterpart training (in Japan)

Two (2) times of training in Japan for C/Ps has been organized and a total of 20 officers have participated. In addition, Technical Information Exchanging Programme (TIEP) in the

④

third country (Thailand) for C/Ps have been organized and a total of 13 officers have participated.

3) Financial support for local costs

A total amount of USD 291,000 has been spent until the present (JFY 2015).

4) Provision of equipment

Technical equipment (USD 153,000) has been procured and provided, and the renovation and construction (USD 230,000) of the Project facilities has been implemented by JICA.

(2) From Lao side

On the other hand, actual inputs from GOL were as follows. Details are shown in ANNEX 4 (List of Input).

1) Assignment of Lao counterpart personnel

In total, 23 officers has been appointed from Lao Government offices as the C/P personnel of the Project: 12 officers from DOA/ /Standard Division (STD); 7 from CADC; and 4 from provincial levels in Vientiane Capital.

2) Office space and facilities for the Project

Offices for the project have been secured by the GOL in a building of DOPC and at CADC in Vientiane. Utilities for the offices such as water and electricity have been provided by the GOL.

3) Expenditure of local cost (October 2012 - September 2016)

A total amount of 919 million Kip has been allocated from Lao side (STD, CADC and PAFO Office).

3.2 Accomplishment of Activities

According to the implementation plan of the Project described in the P/O, the Project activities (from Output 1 to Output 3) are scheduled to be undertaken by the Project team. The various training, workshop and seminar undertaken by the Project are shown in ANNEX 5. And ANNEX 6 has summarized the list of Project products.

3.3 Achievement of Outputs, Project Purpose and Overall goal (prospect)

As mentioned above, since the Project has carried out various activities for achieving Output 1, 2, and 3 by the time of the terminal evaluation, the results of examination of the achievement level of three outputs are summarized below.

In general, most of activities in outputs have been implemented as planned, and those outputs have been achieved by the time of the terminal evaluation from the viewpoint of

a

⑦

indicators defined in the PDM. Therefore, most of the outputs are expected to be achieved by the end of the Project.

The summary of achievement level of each output as well as achievement of Project Purpose / Overall goal (prospect) are attached in Annex 7.

3.4 Project Implementation Process

The detail description of project implementation process is attached in Annex 8.

(1) Implementation structure and monitoring system

The Project activities have been monitored and managed by the P/O which stipulates the timing and responsible bodies of each activity. And the Project developed the annual plan of activities with each C/P before starting of the new fiscal year. The annual activities have been monitored and coordinated by P/O or a similar format. The daily activities have been discussed at the regular meeting. The minutes of the regular meetings have been made and circulated among all C/Ps every time.

The current implementation structure of the Project is shown in Annex 9.

(2) Technical Transfer

The technical transfer has been conducted by the JICA experts including Japanese and the third country short-term experts to specific issues, as well as local consultants.

4. Evaluation by Five Criteria

4.1 Relevance: High

The relevance of the Project was regarded high when the Project was formulated, and continues to be high even at this terminal evaluation stage for the following reasons (relevance to the policies and the local needs, and is consistent with the cooperation policy of the Japanese Government).

(1) Relevance to the development policies of GOL

The direction of the Project is in line with the national priorities of GOL as there has not been any major change in national strategy and policy of Lao government for OA within the framework of Clean Agriculture which the GOL has been emphasizing.

Within the national framework ("MAF Agricultural Development Strategy 2011 to 2020", final draft Sep. 2010 as well as "Strategic Plan for National Organic Agriculture Development 2025, Vision Towards 2030", 3rd draft, Sep 2015), OA is mentioned as part of the "New Agriculture"

4

trend and as a promising agricultural strategy for economically lagging areas away from the Mekong corridor, that is free from heavy use of chemicals and therefore have an advantage in obtaining organic certification. According to the “Agricultural Development Strategy 2020”, supporting the development of certified OA offers an alternative set of trading standards to mainstream commodity markets that can improve the environmental and social performance of agriculture. It offers an opportunity for resource poor farmers to be an integral part of export value chains.

Thus, Lao PDR considers clean agriculture production an important policy goal. In support of this aim, OA can play a crucial role in supporting safe food production for consumers, sustainable production, conservation of natural resources and opportunities to generate income for farmers. OA is deemed to have significant potential in the Lao PDR.

(2) Relevance of target groups' needs

The target groups of this Project include DOA officers (STD and CADC) and PAFO/DAFO officers of the Vientiane Capital.

To promote OA in Laos, technical advice and internal control are a crucial and necessary element for ensuring the functioning of the OA initiative. It therefore seems appropriate and necessary to strengthen the capacity of the inspection/training officers in order to support well-functioning of farmer organization.

In addition, improvement of OA farm in CADC is to go along the intention of the GOL which promotes clean and value-added agriculture, and also seems to be a good demonstration /display farm as well as basis on the new/appropriate techniques on OA.

(3) ODA policies of the Government of Japan (GOJ)

“Country Assistance Policy for Lao PDR (2014)”, prepared by Ministry of Foreign Affairs (MOFA) of GOJ sets the “Agricultural Development and Forest Conservations” as one of the priority areas, and Japan provides assistance to increase productivity with irrigated agriculture and promote the cultivation of commercial crops with the aims of achieving stable economic growth in Lao PDR and narrowing gaps between the urban and the rural areas generated by economic growth. It does so by enhancing the agricultural sector, a key industry in Lao PDR, and seeking to increase the earnings of farmers who constitute the majority of the nation's poor.

“Country Assistance Implementation Plan for Lao PDR (2015)” prepared by JICA in line with the MOFA policy placed the LOAPP Project in the “Program for Agricultural and Rural Development and Strengthening the Administration of Agriculture and Fisheries” in the focused area of “Agricultural Development and Forest Conservation”. The Project has been formulated in line with such ODA policies of GOJ.

⑦

4.2 Effectiveness: High

(1) Prospect for achievement of the Project Purpose

As discussed in chapter 3, most of the activities of the Project have been implemented as planned. As a result, it is expected that the Project is likely to achieve the outputs. Thus, it is anticipated that the structure for promotion of OA would be enhanced substantially by attaining indicators defined in the PDM by the end of the Project.

The institutional structure within governmental organization responsible for OA is strengthened and OA gradually spreads in Laos particularly in the Vientiane Capital and its surrounding. The Project has played an important role and made significant contribution in this respect.

(2) Effects of important assumptions and unexpected factors to the Project Purpose

According to the individual/group interviews and questionnaire results conducted during the Terminal evaluation, the following factors were observed as contributing and hindering factors for achieving the Project Outputs and the Project Purpose.

< Hindering factors >

Two (2) factors of personnel management are identified as hindering factors;

- ◇ Transfer of trainees from OA section to outside
- ◇ Unavailability of high ranking officers due to their heavy schedule

In addition, there have been delay of some project activities due to time consuming process of procurement of the equipment.

< Contributing factors >

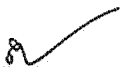
The C/Ps took strong commitment to produce outputs including the OA strategy and in the case of CADC, it showed strong leadership to develop and enlarge its OA demonstration farm.

For example the "Strategy team" (taskforce members) of the OA strategy was formed in DOA, and as a result, the OA strategy has been finally formulated by their own initiatives through public hearing in three parts of Laos with the technical advice and financial support from the Project.

In case of CADC, it carried out OA experiments and the variety of trainings on its demonstration farm under the ownership of its staffs.

4.3 Efficiency: Relatively High

Most of the activities were implemented as planned although some of the activities were delayed as pointed out in the previous section. Therefore, the efficiency is judged relatively



high.

Some of the good results in this Project regarding to efficient point view include the proper allocation of counterparts, dispatch of the third country experts, and engagement of local consultants. Those inputs are judged adequate from the aspect of the cost-effectiveness and level of competency of the recruited personnel.

In view of promoting OA further in Laos, it is expected that more human and financial resources from Lao side should be secured.

4.4 Impacts: Moderate

Several impacts have been recognized although the most activities of project were limited to capacity building of public sector and the implementation period of the Project was limited only three years.

<Permanent place of new market of organic farm products by construction of OA store in the Vientiane Capital>

The OA farmer's group members have a strong desire to establish permanent OA market because the OA products have been sold at only temporary facilities.

After the opening of the permanent OA market named "Organic Home", the place is secured for the farmers to regularly sell their OA products. The Organic Home is also expected to provide further opportunities for interaction between consumers and producers as well as to create people's awareness on OA.

<Improvement of the managerial capacity of the farmer's group>

The basic trainings to the OA farmer's groups, such as shop management and accounting, were provided by the Project. The farmer's groups become more conscious about their farm management and marketing.

<Enhanced utilization of CADC demonstration farm>

Through setting up/renovation of facilities in CADC and also providing trainings for the officers, it expanded experimental cultivation and applied new techniques in the CADC demonstration farm.

Furthermore, the CADC is now becoming a good learning centre of OA for young agricultural students who are expected to be future key players for OA promotion in Laos.

4.5 Sustainability: Expected to be relatively high

Although it is premature to assess "sustainability" of the Project, the prospective sustainability would be regarded as follows, based on the results of discussion during the Joint Terminal

A ✓

④

Evaluation Study.

(1) Policy aspect

Priority of the clean agriculture including OA is quite high in the agriculture development strategy plan to 2025, and also GOL is expected to take action for the further improvement of OA within the framework of “Strategic Plan for National Organic Agriculture Development”.

(2) Institutional aspect

Based on strong policy of GOL to promote OA, there is the clear department structure such as STD and CADC within DOA/MAF. Those department and centre have mandate to provide quality service according to the needs of farmer’s groups and enterprises who apply for the certification of OA as well as technical guidance and OA training.

(3) Technical aspect

The C/Ps of the Project have gained knowledge and practical skills on OA. Thus, it is expected that such trained C/Ps shall undertake their duties in their offices and transfer outputs of the Project to other staffs including PAFO/DAFO.

(4) Financial aspect

The Project faced financial constraints during implementation period. In accordance with the importance of OA and official endorsement of OA strategy, MAF has a plan to secure financial resources for OA.

From the viewpoint of sustainable field activities, the Team appreciates that CADC has been utilising their technical revenue such as sales of OA products in order to operate and maintain their farm and facilities.

5. Conclusion

As a result of series of meetings, interviews and field surveys, it is found that most of the project activities have been completed and produced valuable achievements. The Project has successfully been implemented and will mostly achieve its outputs by the end of the Project period. Prospect of achieving the Project purpose is evaluated as high, thus, it is concluded that the Project will be terminated in September 2016 as stipulated in the R/D.

In terms of five criteria as stated chapter 4, the Project has high relevance and effectiveness. The Project has achieved considerably positive results on OA in Lao PDR through the

7

infrastructure development and capacity building. The Project was efficiently implemented in general. With these reasons, the Team concludes that the Project is managed well to achieve its purpose. The important considerations has summarized below:

- (i) Strategic plan for national OA development has been approved by DOA officially.
- (ii) More than the target number of CADC staff have been brought up to be trainers who are capable of conducting TOT on OA.
- (iii) Standard Division had covered all the topics required by international norms by the set of policy documents.
- (iv) Number of inspectors capable enough to execute their inspection role had increased through the series of training. In addition, some inspectors are supposed to be accredited by Organic Agriculture Certification Thailand (ACT).
- (v) Most of PAFO/DAFO officers in charge of crop in the target areas have passed the understanding test on OA standards.
- (vi) Although the period required for organic certification process (starting from receiving application until granting approval) is not reaching the target level (4 months or less) yet, the counter measures are being taken with the expected outcome shorter than 4 months.

6. Recommendations and Lessons learnt

The Team has made the following recommendations and lessons learnt based on the results of the Evaluation.

6.1 Recommendations

(1) Future course of actions

Several activities are to be sustained even after the closure of the Project while some activities are expected to accomplish within the Project period. Therefore, those activities are categorized into three different timeframes as shown in the table below:

Category	Output 1	Output 2	Output 3
1. Activities to be accomplished within the Project period	Finalize the Strategic Plan with approval of MAF	Conduct IPM training and develop TOT curriculum and training materials with CADC staff (intermediate level)	Strengthen the certification system in accordance with ISO/IEC 17065
	Print necessary copies of the Strategic Plan	Formulate training program for farmers by PAFO/DAFO with CADC staff and conduct trainings to farmers (based on	Launch the countermeasures, such as frequent holding of Certification Committee and implementing Quality

		farmers' needs) as an OJT for CADC/PAFO/DAFO staff (basic level)	Manual/Standard Operating Procedures, to shorten the inspection period
	Set up a steering committee to decide the implementation plan and responsible persons	Build capacity of farmer's group/PAFO on the management of Organic Home	Hold Workshop at DOA for revising the OA Standard
			Conduct field trainings of the inspectors
2. Activities to be continued by the effort of Lao side	Develop a roadmap of the Strategic Plan with specific indications of the organizations in charge and allocation of the budget	Conduct trainings to PAFO/DAFO staff (intermediate level) and conduct trainings to respective farmer's group/farmers	Monitor the progresses of shortening the certification period
	Hold a dissemination WS to discuss the Strategic Plan and the Road map/annual work plan	Assist PAFO/DAFO to plan/conduct trainings to farmers with CADC staff	Hold public hearings to improve the OA Standard
	Plan to establish nationwide "OA association" for promotion of OA (multi-stakeholder network)	Build capacity of CADC as a national learning center for OA technology	Continue to develop the capacities of inspectors to be registered as ACT inspectors
3. Activities based on long-range perspective for further improvement	Initiate to implement the activities	Develop TOT curriculum and training materials by CADC (advanced level)	Discuss the means to delegate the inspection activities to PAFO in the Provinces
	Follow up progress of the Strategic Plan/Road map and monitor the activities	Strengthen the TOT activities of CADC to PAFO/DAFO staff to develop OA trainers	Get equivalency of LCB with some international norms
	Improve/revise the Strategic Plan	Establish OA markets in target provinces	Continue training for officers to be entitled as inspectors for foreign certification system

(2) Revision of PDM and P/O

The Team recommends the contents of PDM shall be revised with the following findings and considerations.

i) Clarification of activities

The Project has supported several facilities such as warehouse, packinghouse, greenhouse, and Organic Home (permanent OA market), which should be indicated in PDM for the clarification of the necessities of those facilities established. Therefore, two activities should be appeared under Output 2 as shown below.

2-2) Set up/renovate necessary facilities in CADC for training and demonstration (warehouse, packinghouse, greenhouse, etc.)
2-10) Support farmers' groups / farmers for marketing activities (permanent OA market, etc.)

ii) Modification of Indicators for Overall Goal

With reference to the Annex 7, two indicators for Overall Goal are considered too ambitious and inappropriate. It is recommended therefore to make following modifications for both indicators.

Indicator 1:

Present	More than <u>40 times of CADC trainings</u> on OA for PAFO/DAFO technicians/farmer's groups/etc. are conducted after the project termination.
Revised	More than <u>20 times of farmer's training on OA by CADC and PAFO/DAFO are conducted annually</u> after the project termination.

Indicator 2:

Present	Number of cases that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups <u>trained by CADC and PAFO/DAFO is increased by 4 times</u> (currently 2 cases increased to 8 cases).
Revised	Number of cases* that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups <u>increased by 10% year by year.</u> (* Cases including not only new application but also renewal of certification)

The proposed version of PDM and P/O are shown in ANNEX 10 & 11.

(3) Supports for Organic Home

While the Organic Home will be managed by the Vientiane Organic Agriculture Production Group (VOAPG), constant supports by PAFO are crucial for further continuation and sound management. The supports provided by Japanese side should be limited only to technical advice and practical training. Once the building and facilities have been completed, operational cost shall be taken by VOAPG.

In view of promoting OA and people's awareness, the Team proposes that MAF provides VOAPG with trainings for ICS, inspection/certification, promotion activity, and so on.

(4) Interaction among stakeholders

The Team found the gap among voices of stakeholders. In order to grasp the potential and changing needs of farmer's, DOA/CADC and PAFO/DAFO, as service providers, are

expected to clarify what can be provided for farmer's groups/ farmers and to disseminate such information widely. Frequent occasions for making interactive communication with farmer's group/ farmers are needed.

6.2 Lessons learnt

(1) Framework of Project

"Technical Cooperation Project" cannot be formulated with sufficient information from key informants including farmers. Therefore, in the process of project implementation, the project should consider the measures to address the real needs of farmers.

(2) Utilization of Resource person and training center in the region

A number of lecturers from neighboring countries and Lao local consultant personnel were appointed frequently to the Project since they have good advantage in understanding the country's and personal situation, culture, even language of Laos. In addition, the procedure of assignment is not relatively time consuming in comparison with the assignment of Japanese Expert.

Moreover, there are several training centers for practicing OA in Thailand where foreign trainees can be accepted. Because of similarity in language and their training style and topic as well as cost-effectiveness, sending trainees to Thailand may be quite beneficial for Lao personnel, especially for district level and farmer's level since there would be quite less barrier.

Therefore, utilizing resources for training in the region is highly recommended.

A ✓

⑦

Schedule for the Terminal Evaluation on
the Technical Cooperation for Lao Organic Agriculture Promotion Project (LOAPP)

Day	Date		JICA HQ	Consultant
1	Feb 21	Sun		Haneda - Bangkok - Vientiane
2	Feb 22	Mon		07:30-08:30 Meeting with JICA Laos Office 09:00-11:00 Kick-off Meeting with DOA/MAF and with Lao Evaluation Team members 11:00-12:30 Internal Meeting with Japanese Experts 14:00-17:00 Interview with Japanese Experts
3	Feb 23	Tue		09:00-12:00 Interview with PM (at DOA) 13:00-15:00 Interview with STD 15:00-16:30 Interview with Japanese Experts (cont.)
4	Feb 24	Wed	10:00 Narita - Hanoi - 16:35 Vientiane (VN3858) Evening : Internal Mtg among Japanese Team	09:00-12:00: Observation of OA farm & Interview with Director, CADC 13:30-15:30 interview with technical staff, OA unit (CADC) 16:30 Observation of OA supermarket Evening : Internal Meeting among Japanese Team
5	Feb 25	Thu	↑ Activity for other issues	08:45-10:15 Interview with PAFO VTE Capital 10:30-12:00 Interview with DAFOs (Xaysetha District) 13:00-14:30 Observation of OA farms & Interview with OA farmers in Nasangphai village 15:30-17:00 Observation of Chao Fa Ngum Market & Interview with Vientiane Organic Vegetable Group
6	Feb 26	Fri		AM: Documentation 14:00-18:00 Interview with Japanese Experts
7	Feb 27	Sat		Documentation
8	Feb 28	Sun	↓	Documentation
9	Feb 29	Mon	08:30-09:00 Courtesy call to DG of DOA 09:00-12:00 Joint Evaluation meeting (1) 14:45-16:30 Observation of Chao Fa Ngum Market 16:45-18:00 Interview with Japanese Experts	08:30-09:00 Courtesy call to DG of DOA 09:00-12:00 Joint Evaluation meeting (1) 14:45-16:30 Observation of Chao Fa Ngum Market 16:45-18:00 Interview with Japanese Experts
10	Mar 1	Tue	09:00-12:00 Observation of OA farm & Interview with CADC 13:00-14:30 Meeting with farmers in Nontae Village 15:30-18:00 Internal Meeting with Japanese Team	09:00-12:00 Observation of OA farm & Interview with CADC 13:00-14:30 Meeting with farmers in Nontae Village 15:30-18:00 Internal Meeting with Japanese Team
11	Mar 2	Wed	09:00-10:00 Observation of Organic Home 10:30-12:00 Courtesy call and meeting with PAFO VTE Capital 13:30-16:30 Joint Evaluation Meeting (2)	
12	Mar 3	Thu	09:00-17:00 Document preparation	
13	Mar 4	Fri	09:00-12:00:JCC 13:00-14:00 Report to EOJ 14:00-15:00 Report to JICA Departure from Vientiane	
14	Mar 5	Sat	Arrival in Japan	

A

②

Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Lao Organic Agriculture Promotion Project
 Target Area: Vientiane Capital
 Target Group: DOA¹ officers (Standard Division and CADC²), PAFO³/DAFO⁴ officers of Vientiane Capital

Project Period: Sep 2013 ~ Sep 2016
 PDM (Version 2)
 Date: 5th March, 2015

Overall Goal	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Structure for promotion of organic agriculture is functional.	<ul style="list-style-type: none"> - More than 40 times of CADC trainings on organic agriculture for PAFO/DAFO technicians/farmer's groups/etc. are conducted after the project termination. - Number of cases that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups trained by CADC and PAFO/DAFO is increased by 4 times (currently 2 cases increased to 8 cases). 	<ul style="list-style-type: none"> - DOA and DAEC reports - DOA report 	
Project Purpose			
Structure for promotion of organic agriculture is enhanced.	<ul style="list-style-type: none"> - At least 50% of PAFO/DAFO officers (in-charge of crop) in the target areas pass an understanding test on organic agriculture standard. - Period required for organic certification process (after receiving completed application to notification) is no longer than 4 months. 	<ul style="list-style-type: none"> - Results of examinations (for PAFO officers) - Project reports 	<ul style="list-style-type: none"> - Market of organic agricultural products is secured. - Necessary budget for CADC trainings is secured by the government of Laos. - Serious natural disaster does not occur. - Usage of pesticide nearby target farms can be controlled.
Outputs			
1 Strategic plan for national organic agriculture development is finalized.	<ul style="list-style-type: none"> - JCC member reaches the consensus on the strategic plan in the Project JCC. 	<ul style="list-style-type: none"> - Project reports 	<ul style="list-style-type: none"> - Trained officers of Standard Division and CADC are not transferred.
2 CADC's capacity for promotion of organic agriculture is improved.	<ul style="list-style-type: none"> - Number of CADC trainers who are capable of conducting TOT on organic agriculture is increased by 8 persons (currently 4 persons). 	<ul style="list-style-type: none"> - Project reports/training reports 	
3 Standard Division's capacity for promotion of organic agriculture is improved.	<ul style="list-style-type: none"> - Standard Division has policy documents covering at least 70% of the topics required by international norms (i.e. ISO 17065) guiding the handling and conduct of the LCB certification process. - All the Standard Division inspectors are capable of inspection of farms by oneself in accordance to the designated procedure. 	<ul style="list-style-type: none"> - Project reports - Project reports 	



Activities	Japanese side	Lao side
1-1 Review current situation and issues to be addressed Lao organic agriculture		
1-2 Review current situation and issues to be addressed domestic and foreign organic agriculture market		
1-3 Organize seminar(s) to share the results of the review above with DOA and the other organizations concerned	1. Long-term Experts - Chief Advisor/Organic agriculture - Coordinator/Training and extension	1. Assignment of counterparts - Project Director - Project Manager and the other counterparts
1-4 Clarify the roles and responsibilities among Standard Division, CADC and other sections in MAF ^{*5}	2. Short-term Experts - Organic certification system - Field inspection - Organic farm management - Integrated Pest Management, etc.	2. Facilities Office space and other facilities
1-5 Prepare a strategic plan for national organic agriculture development	3. Equipment and materials Project vehicle, office equipment, training materials, and others	3. Project operation cost Electricity, stationary, telephone and communication cost, and others if any
2-1 Review current situation and issues to be addressed in awareness raising and extension of organic agriculture	4. Training Training in Japan and in a third country (Thailand, Vietnam, and China)	
2-2 Prepare/update handbooks and training/awareness raising materials		
2-3 Conduct training for CADC staff on awareness raising and extension of organic agriculture		
2-4 Prepare TOT ^{*6} curriculum regarding awareness raising and extension of organic agriculture		
2-5 Prepare extension materials for extension of organic agriculture		
2-6 Conduct TOT for PAFO/DAFO staff in the pilot area		
2-7 Provide support to PAFO /DAFO staff to conduct training for farmers		
2-8 Support farmers' groups/farmers in obtaining organic certifications		
3-1 Review current situation of organic agriculture certification		
3-2 Propose possible improvements on Standard Division's organic agriculture certification (to DOA and Standard Division)		
3-3 Prepare/update standard, guidelines, handbooks and handouts related to certification and inspection		
3-4 Conduct training for Standard Division staff on inspection method(s) on organic agriculture certification		
3-5 Support Standard Division to conduct field inspection for organic agriculture certification		
3-6 Support farmers' groups/farmers in obtaining the foreign organic certification		

*4 DAFO: District Agriculture and Forestry Office
*5 MAF: Ministry of Agriculture and Forestry
*6 TOT: Training of Trainers

NOTE (Abbreviation): *1 DOA: Department of Agriculture
*2 CADC: Clean Agriculture Development Center
*3 PAFO: Provincial Agriculture and Forestry Office



4.1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERT, INVITING SEMINAR LECTURER AND EMPLOYMENT OF LOCAL CONSULTANT

1) LONG-TERM EXPERTS

No.	Name	Field	Period						
			From	To	2013	2014	2015	2016	
1	Mr. Akira Nagaoka	Chief Advisor / Organic Agriculture	15/09/2013	14/09/2016	■	■	■	■	■
2	Ms. Kaori Honda	Project Coordinator / Training and Extension	20/11/2013	09/04/2016	■	■	■	■	■
3	Mr. Yuki Morino	Project Coordinator / Training and Extension	14/09/2015	14/09/2016	■	■	■	■	■

2) SHORT-TERM EXPERTS

No.	Name	Field	Period						
			From	To	2013	2014	2015	2016	
1	Mr. Takao Akutsu	Organic Agriculture and Market Survey	09/02/2014	25/03/2014	■	■	■	■	■
2	Mr. Kazuhiro Koide	Organic Agriculture Technology and Training Curriculum Development	13/08/2014	25/09/2014	■	■	■	■	■
3	Mr. Takahiro Miyauchi	TOT Curriculum and Training Material Development	27/09/2015	07/11/2015	■	■	■	■	■

3) SEMINAR LECTURER

No.	Name	Field	Period						
			From	To	2013	2014	2015	2016	
1	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	10/02/2014	15/02/2014	■	■	■	■	■
2	Mr. Ong Kung Wai	National Strategy Development for Lao Organic Agriculture	04/08/2014	13/08/2014	■	■	■	■	■
3	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	02/12/2014	06/12/2014	■	■	■	■	■
4	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	11/01/2015	20/01/2015	■	■	■	■	■
5	Mr. Ong Kung Wai	National Strategy Development for Lao Organic Agriculture	19/01/2015	28/01/2015	■	■	■	■	■
6	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	02/03/2015	13/03/2015	■	■	■	■	■
7	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	05/10/2015	11/10/2015	■	■	■	■	■
8	Ms. Narturdee Nakornvaja & Ms. Sumneang Raburee	Promoting Capacity Development on Internal Control System	13/12/2015	18/12/2015	■	■	■	■	■
9	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	11/01/2016	17/01/2016	■	■	■	■	■
10	Mr. Vitoon R. Panyakul	Training on Accreditation and Certification System Development	22/04/2016 (planned)	30/04/2016 (planned)	■	■	■	■	■

4) LOCAL CONSULTANT

No.	Name	Field	Period						
			From	To	2013	2014	2015	2016	
1	Mixai Techno Engineering and Consulting Co., Ltd	Organic Agriculture and Market Survey	17/01/2014	20/03/2014	■	■	■	■	■
2	New Era+	Promoting Capacity Building of CADC staff in Conducting Training in the Field	22/01/2015	03/03/2015	■	■	■	■	■
3	Champa Lao Co., Ltd.	OA Market Analysis Survey for Promoting Organic Agriculture in Lao PDR	30/04/2015	07/07/2015	■	■	■	■	■

4.2. COUNTERPART ALLOCATION

1) DOA/Standard Division

No.	Name	Position	Section	To	Period						Training	
					From	2012	2013	2014	2015	2016		2017
1	Dr. Monthathip Chanphengxay	DG of DOA	Dept of Agriculture, MAF	09/2013								
2	Mr. Vilaysouk Khennavong	DG of DOA	Dept of Agriculture, MAF	08/2015	at present							
3	Mr. Kham Sanatem	DDG of DOA	Dept of Agriculture, MAF	09/2013								
4	Dr. Thongsavath Thipphavongphanh	Director	CADC	09/2013								
		DDG of DOA	Dept of Agriculture, MAF	07/2015	at present							
5	Dr. Thatsaka Saphangthong	Director of STD	STD, DOA, MAF	09/2013								
6	Mr. Viengsavai Sengsoulyvong	Director of STD	STD, DOA, MAF	03/2015	at present							
7	Mr. Khamxay Sipaseuth	DD of STD	STD, DOA, MAF	09/2013								
8	Ms. Phonethip Sommany	DD of STD	STD, DOA, MAF	09/2013								
9	Mr. Thavisith Bournyasouk	DD of Section	Standard Devt Section, STD, DOA, MAF	09/2013								
		DD of STD	STD, DOA, MAF	07/2015	at present							
10	Mr. Bolikan Phengkhamone	Tech Staff	Accreditation and Certification Unit, STD	09/2013								✓
11	Mr. Sengsouly Kommameoang	Tech Staff	Clean Agr. Commodity Standard Unit, STD	09/2013								✓
12	Ms. Laongdao Sysomephou	Tech Staff	Crop Production Standard Unit, STD	09/2013								✓

2) CADC

No.	Name	Position	Section	To	Period						Training	
					From	2012	2013	2014	2015	2016		2017
1	Mr. Bouthsakone Inthlangsee	Deputy Director	CADC	09/2013								✓
		Director	CADC	03/2015	at present							
2	Mr. Sengkeo Xayavong	Head of Section	OA Development Section, CADC	09/2013								✓
3	Mr. Viengvilaylak Phouthalath	Tech Staff	OA Development Section, CADC	09/2013								✓
4	Mr. Phoudthasone Phongoudome	Dep Head of Sec	OA Development Section, CADC	09/2013								✓
5	Mr. Sungvanh Chanthalad	Head of Unit	Head of OA (Fruit Tree) Unit, OA Devt Section	12/2014	at present							✓



4.3. TRAINING IN JAPAN / TECHNICAL EXCHANGING PROGRAMME IN THE THIRD COUNTRY

1) COUNTERPART TRAINING IN JAPAN - Project-provided Training Occasion

No.	Name	Position / Section	Course Title	Period					
				From	To	2013	2014	2015	2016
1	Mr. Bolikan Phengkhamone	Technical Official, STD, DOA, MAF	Outline of policy and activities of organic agriculture in Japan				■		
2	Mr. Sengsouly Kommameuang	Technical Official, STD, DOA, MAF					■		
3	Ms. Laongdao Syzomephou	Technical Official, STD, DOA, MAF					■		
4	Mr. Sengkeo Xayavong	Head of OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF					■		
5	Mr. Phouttasone Phongoudom	Deputy Head of OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF		08/10/2014	24/10/2014		■		
6	Mr. Vienvilaylak Phouthlath	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF					■		
7	Mr. Nieokham Khamminathy	Deputy Head of Agri. Section, PAFO, VTE Capital					■		
8	Mr. Khamkhay Phounsomsavanh	Head of Clean Agriculture Nonwai Station, PAFO, VTE Capital					■		
9	Mr. Sommay Sipasaeuth	Technical Official, Agri. Section, PAFO, VTE Capital					■		
10	Mr. Sisavath Vaninthanouvong	Technical Official, STD, DOA, MAF						■	
11	Mr. Thanousone Phongchaleun	Technical Official, STD, DOA, MAF						■	
12	Mr. Sangvan Chanthalath	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF						■	
13	Mr. Somphanh Sengkhamtha	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF		22/08/2015	06/09/2015			■	
14	Ms Bounkham Pavongviengkham	Technical Official, Agri. Section, PAFO, VTE Capital						■	
15	Mr. Phaivanh Thippavong	Technical Official, Agr. Section, PAFO, VTE Capital						■	

2) GROUP TRAINING COURSE IN JAPAN

No.	Name	Position / Section	Course Title	Period					
				From	To	2013	2014	2015	2016
1	Mr. Sengkeo Xayavong	Head of OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF	Vegetable Cultivation Technology and Marketing Method Small Scale Farmers	11/02/2013	09/11/2013	■			
2	Ms. Phimchai Vilaysone	CADC, DOA, MAF					■		

4.3. TRAINING IN JAPAN / TECHNICAL EXCHANGING PROGRAMME IN THE THIRD COUNTRY

3	Mr. Phetsavong Sandara	CADC, DOA, MAF	Vegetable Cultivation Technology and Marketing Method for Small Scale Farmers	08/02/2015	07/11/2015				
4	Mr. Ketsadong Silythone	PAFO, VTE Capital	Quality Control System of Seeds and Seedlings to Facilitate Distribution of High Quality Seeds	14/06/2015	12/09/2015				
5	Mr. Chansamone Phommachan	Technical Official, CADC, DOA, MAF	Vegetable Production Technology for Livelihood Improvement of Small Scale Farmers	07/02/2016	05/11/2016 (planned)				

3) TECHNICAL INFORMATION EXCHANGING PROGRAMME (TIEP) IN THE THIRD COUNTRY

No.	Name	Position / Section	Field (Country)	Period					
				From	To	2013	2014	2015	2016
1	Mr. Bouthsakone Inthlangsee	Deputy Director of CADC, DOA, MAF	Organic Agriculture (Thailand)						
2	Mr. Sengkeo Xayavong	Head of OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
3	Mr. Somphanh Sengkhamtha	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
4	Mr. Boudsady Southammavong	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
5	Mr. Somphou Thammavongsa	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
6	Mr. Soukanda Vichitry	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
7	Mr. Khounlou Soutinath	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
8	Ms. Khampai Simamai	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
9	Mr. Pethsavong Soundala	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
10	Mr. Sangvan Chanthalath	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
11	Mr. Soulichanh Voraboud	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
12	Ms. Prisamai Sengmany	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							
13	Mr. Phasouk Kasem	Technical Official, OA Dev Unit, CADC, DOA, MAF							

4.4(1). PROVISION OF EQUIPMENT (TECHNICAL EQUIPMENT)

JFY	Item No	Item Name	Model	Qty	Cost (US\$) Unit	Total	Japanese Yen	Location	Status		On site Inspection Record
									Management	Running	
2013		Copy machine	Canon IR2525 Full set 1Unit	1	2,600.00	2,600.00	255,450.00	LOAPP	A	A	2013/11/11
				Total	2,600.00	2,600.00	255,450.00				
2014		Laptop Computer	Dell	4	1,044.00	4,176.00	424,615.68	PAFO	A	A	2014/06/30
		Copy Machine	Canon	1	2,219.00	2,219.00	225,627.92	PAFO	A	A	2014/06/30
		Laptop Computer	Dell	2	1,044.00	2,088.00	215,920.08	CADC	A	A	2014/07/03
		Copy Machine	Canon	1	2,219.00	2,219.00	229,466.79	CADC	A	A	2014/07/03
		Pick up truck	ISUZU	1	25,500.00	25,500.00	2,636,955.00	DOA	A	A	2014/07/04
				1							
				1							
				Total	32,026.00	36,202.00	3,732,585.47				
2015		Tractor	Kubota	1	62,434.00	62,434.00	7,663,149.16	CADC	B	C	2015/07/24
		Motorcycle	Suzuki	2	1,384.50	2,769.00	339,867.06	PAFO	A	A	2015/07/24
		Pick up truck	Toyota	1	24,450.00	24,450.00	3,036,934.50	DOA	A	A	2015/08/18
		Laptop Computers	HP	2	1,038.00	2,076.00	257,859.96	PAFO Nongway1, PMI	A	A	2015/08/19
		Desktop Computers	HP	7	1,132.00	7,924.00	984,240.04	DAFO	A	A	2015/08/19
		Air conditioner vegetable refrigerator	gree 28,000BTU L*D*H 1.2*0.5*1.8m	2	4,200.00	8,400.00	997,416.00	PAFO for KMB			2015/02/15
				2	809.30	1,618.60	192,192.00	PAFO for KMB			2016/02/29
		Furniture 1set	Vegetable center table (2), wall vegetable shelf(4), vegetable table (2), counter table (1), counter chair (1)	1	4,456.80	4,456.80	529,200.00	PAFO for KMB			2016/02/29
				Total	99,904.59	114,128.39	14,000,858.72				
		Sub-Grand Total			152,930.39	17,988,894.19					
					USD	Yen					

Note: JICA monthly exchange rate is adopted to convert USD into JPY for each item.

4.4(3) Equipment provided by JICA (the other list)

No.	Date of Arrival	Description of Equipment		Amount	Unit Price		total		Place of Storage	Frequency of Use(4)	Conditions of equipment(5)	Maintenance Mechanism	remark
		Item	Manufacturer & Model Number		K/P	Currency	Unit Price	Currency					
	2014-01-29	chair	Mono	5	KIP	650,000	KIP	3,250,000	CADC	A	A		
	2014-02-17	Color Printer	EPSON L560	1	USD	340	USD	34,835	CADC	A	A		
	2014-02-17	B & W Printer	Canon LIP 6000	1	USD	120	USD	12,295	CADC	A	A		
	2014-02-17	Digital Camera	Canon IXUS	1	USD	300	USD	30,738	CADC	B	B		
	2014-02-17	Color Printer	EPSON L550	1	USD	340	USD	34,835	STD	A	A		broken many times
	2014-03-19	Color Printer	EPSON L550	1	USD	340	USD	34,748	PAFO	A	A		
	2014-03-19	Digital Camera	Canon IXUS	1	USD	320	USD	32,704	PAFO	B	A		
	2014-04-09	Chairs	blue	10	KIP	162,500	KIP	1,625,000	PAFO	A	A		
	2015-02-10	Sprayers for liquid fertilizer		2	KIP	1,075,000	KIP	2,150,000	CADC	A	B		
	2015-02-10	Plastic Containers to Produce Liquid Fertilizer		10	KIP	350,000	KIP	3,500,000	CADC	B	B		
	2015-03-13	Small Grass Cutters		2	USD	281	USD	562	CADC	A	B		
	2015-03-17	Post for Dragon Fruits	0.1m x 0.1m x 2.5m	436	KIP	45,000	KIP	19,170,000	CADC	A	A		
	2015-03-18	chair	Mono	2	USD	80	USD	160	LOAPP	A	A		
	2015-09-18	Desk	wooden	2	USD	113	USD	226	LOAPP	A	A		
	2015-09-21	Portable air Conditioner	GREE 12,000	1	USD	340	USD	41,415	LOAPP	A	A		
	2016-01-21	PHI tester	Shimadzu	1	USD	80	USD	80	CADC	A	A		
								total					
								755,965					

Note: JICA monthly exchange rate is adopted to convert USD/LAK into JPY for each item.

	Equipment total
4(1)	Provision of Equipment
	17,988,894.19 Yen
4(2), (3)	Equipment provided by JICA (Asset and Property List)
	2,466,070 Yen
	Grand total
	20,454,964 Yen

* Condition of equipment

rank	statement
a	Good condition
b	In moderate condition
c	For Repair
d	Unable to use

** Classification of the frequency of use of the equipment

rank	statement	frequency	others
A	used frequently	almost daily	
B	used well	1-3 times per week	
C	used in specific season(s)	reasons	
D	not so much used	3-11 times per year	reasons
E	not used by specific reason	reasons	reasons

4.5. INPUT OF INFRASTRUCTURE AND MATERIALS

No.	Date of Completion	Item	Place	Component	Price	
		F.Y. 2014				
	18/02/2015	Electric system	CADC	Construction	2,676,900.00	KIP 37,477 Yen
	30/3/2015	Water supply system	CADC	Construction	140,200,000.00	KIP 1,962,800 Yen
	30/03/2015	Warehouse	CADC	Construction	559,700,000.00	KIP 7,835,800 Yen
				Total	702,576,900.00	KIP 9,836,077 Yen
		F.Y. 2015				
	22/4/2015	Green house 12	CADC	Construction	168,767,100.00	KIP 2,531,507 Yen
	2015/10/08	Green house 5	CADC	Construction	92,423,500.00	KIP 1,386,353 Yen
	2016/11/12	Packing house	CADC	Construction	372,655,886.00	KIP 5,589,838 Yen
	28/1/2016	Additional work for packing house	CADC	Construction	14,714,809.00	KIP 220,722 Yen
	2016/05/02	Permanent shop	KM8 Vientiane city (land of PAFO)	Construction	432,629,190.00	KIP 6,056,809 Yen
	2016/05/02	Additional work for permanent shop	KM8 Vientiane city (land of PAFO)	Construction	55,035,990.00	KIP 770,504 Yen
				Total	1,136,226,475.00	KIP 16,555,732 Yen

Note: JICA monthly exchange rate is adopted to convert LAK into JPY for each item.

Grand Total	1,838,803,375.00	KIP	26,391,809	Yen
-------------	------------------	-----	------------	-----

Grand Total	229,935	USD
-------------	---------	-----

4.6. LAND, BUILDING, OFFICE, AND FACILITIES PROVIDED BY LAO SIDE

JFY	Category	Item	Place	Component
2013	General	Project office space	VTE	1 room in DOA (before moved to NRI)
	General	Project office space, office phone and electricity	VTE	1 room in NRI
2014	General	Project office space, office phone and electricity	VTE	1 room in NRI
	General	Project office space	CADC	1 room in CADC for Short-term expert
	General	Room for regular meeting	VTE:CADC	1 room in DOA, PAFO, CADC
2015	General	Project office space office, phone and electricity	VTE	2 rooms in NRI
	General	Project office space	CADC	1 room in CADC for Short-term expert
	General	Room for regular meeting	VTE:CADC	1 room in DOA, PAFO, CADC

4.7(1). EXPENDITURE OF LOCAL COST (JAPANESE SIDE)

No.	JFY2013		JFY2014		JFY2015		JFY2016	
	USD	Kip	USD	Kip	USD	Kip	USD	Kip
1	\$41,106.00	125,384,500kip	\$74,755.00	91,195,000kip	\$52,656.48	105,682,000kip		
2	\$814.00	0kip	\$8,548.00	0kip	\$3,112.00	0kip		
3	\$0.00	265,500kip	\$13,729.00	58,842,000kip	\$3,052.00	91,656,000kip		
4	\$2,699.00	2,476,500kip	\$10,843.00	10,789,500kip	\$9,742.00	13,091,000kip		
5	\$2,510.00	0kip	\$411.00	14,073,000kip	\$1,076.40	11,048,000kip		
	\$47,129.00	128,126,500kip	\$108,286.00	174,899,500kip	\$69,638.88	221,477,000kip	\$0.00	kip
Currency exchange (end of each FY)	2014.03.31	7,862.10kip	2015.03.31	7,920.62kip	2015.12.31	7,997.05kip		
Grand Total (in USD)	\$63,446.48		\$130,367.54		\$97,333.72		US\$291,147.74	

* Currency exchanges (USD to Kip) were adopted at the end of each FY for 2013 and 2014 from OANDA website.

** For the FY2015, the disbursed amount was calculated and the exchange rate was adopted as of 31 Dec, 2015.

4.7(2). EXPENDITURE OF LOCAL COST (LAO SIDE)

Total

No.	Category	Oct 2012 - Sep 2013	Oct 2013 - Sep 2014	Oct 2014 - Sep 2015	Oct 2015 - Sep 2016	Total
1	Salary of counterparts and supporting staff	24,365,800kip	54,763,900kip	67,814,400kip	31,615,800kip	178,559,900kip
2	Building / Facilities	246,500,000kip	5,000,000kip	6,000,000kip	6,000,000kip	263,500,000kip
3	Electricity / Water charges	2,800,000kip	7,900,000kip	16,800,000kip	6,650,000kip	33,950,000kip
4	Local labor & material	27,954,000kip	103,176,000kip	132,210,000kip	18,937,500kip	282,277,500kip
5	O&M	2,500,000kip	3,000,000kip	4,500,000kip	1,500,000kip	11,500,000kip
6	Others	50,000,000kip	14,500,000kip	82,500,000kip	1,900,000kip	148,900,000kip
	Total	353,919,800kip	188,339,900kip	309,824,400kip	66,603,300kip	918,687,400kip

STD

No.	Category	Oct 2012 - Sep 2013	Oct 2013 - Sep 2014	Oct 2014 - Sep 2015	Oct 2015 - Sep 2016	Total
1	Salary of counterparts and supporting staff	7,200,000kip	10,800,000kip	10,800,000kip	10,800,000kip	39,600,000kip
2	Building / Facilities					kip
3	Electricity / Water charges					kip
4	Local labor & material					kip
5	O&M					kip
6	Others					kip
	Total	7,200,000kip	10,800,000kip	10,800,000kip	10,800,000kip	39,600,000kip

4.7(2). EXPENDITURE OF LOCAL COST (LAO SIDE)

CADC

No.	Category	Oct 2012 - Sep 2013	Oct 2013 - Sep 2014	Oct 2014 - Sep 2015	Oct 2015 - Sep 2016	Total
1	Salary of counterparts and supporting staff	8,525,800kip	31,963,900kip	39,734,400kip	3,535,800kip	83,759,900kip
2	Building / Facilities	242,500,000kip				242,500,000kip
3	Electricity / Water charges	1,400,000kip	6,600,000kip	15,300,000kip	5,150,000kip	28,450,000kip
4	Local labor & material	24,714,000kip	98,856,000kip	123,570,000kip	10,297,500kip	257,437,500kip
5	O&M	2,500,000kip	3,000,000kip	4,500,000kip	1,500,000kip	11,500,000kip
	the other	50,000,000kip	14,500,000kip	82,500,000kip	1,900,000kip	148,900,000kip
	Total	329,639,800kip	154,919,900kip	265,604,400kip	22,383,300kip	772,547,400kip

PAFO

No.	Category	Oct 2012 - Sep 2013	Oct 2013 - Sep 2014	Oct 2014 - Sep 2015	Oct 2015 - Sep 2016	Total
1	Salary of counterparts and supporting staff	8,640,000kip	12,000,000kip	17,280,000kip	17,280,000kip	55,200,000kip
2	Building / Facilities	4,000,000kip	5,000,000kip	6,000,000kip	6,000,000kip	21,000,000kip
3	Electricity / Water charges	1,200,000kip	1,300,000kip	1,500,000kip	1,500,000kip	5,500,000kip
4	Local labor & material	3,240,000kip	4,320,000kip	8,640,000kip	8,640,000kip	24,840,000kip
5	O&M					kip
	Total	17,080,000kip	22,620,000kip	33,420,000kip	33,420,000kip	106,540,000kip

Status of training, workshop, etc (1)

JFY	Category	Title	From/To	Duration (days)	Target	Attendance by Lao side (persons)	Remarks
2013	General	Preparation Meeting for Kick-off Meeting	10/12/2013	1	STD, CADC, PAFO	(no data)	
2013	General	Kick-off Meeting	26/12/2013	1	STD, CADC, PAFO	14	
2013	Workshop	Workshop on Lao Organic Agriculture in VTE capital	12/03/2014	1	STD, CADC, PAFO/DAFO, stakeholders	25	held with 1st JCC, 16 attendance (stakeholders)
2014	Study Meeting	Task Force Meeting for Discussion on OA Strategy	29/07/2014	1	DOA	(no data)	
2014	Seminar	1st Coordination Seminar on National Organic Agriculture Strategy	05/08/2014	1	DOA	15	Mr. Ong
2014	Study Tour	Study tour on Organic Agriculture (The Xang village)	12/09/2014	1	CADC	21	Mr. Koide
2014	Study Tour	Study tour on Organic Agriculture (Boung Phao village)	16/09/2014	1	CADC	20	Mr. Koide
2014	Workshop	Workshop on Organic Agriculture Standard (1st time)	06/10/2014	1	STD	8	
2014	Workshop	Workshop on ISO Conformity Assessment with LOB System	08-04/12/2014	2	STD, CADC	4	Mr. Vitoon
2014	Workshop	Workshop on Organic Agriculture Standard (2nd time)	22/12/2014	1	STD	9	
2014	Workshop	Workshop on ISO Conformity Assessment with LOB System	13-17/01/2015	5	STD	7	Mr. Vitoon
2014	Seminar	2nd Coordination Seminar for National Organic Agriculture Strategy	20-22/01/2015	3	DOA, PAFO	22	Mr. Ong
2014	Training	Field training on Facilitation Capacity (Savanakhet)	3-5/02/2015	3	CADC	6	Mr. Sunnti, 101(farmers, PAFO/DAFO staff, PIAD experts and students in total for 3 days)
2014	Training	Training on Facilitation Capacity	17-19/02/2015	3	CADC	17	Mr. Sunnti
2014	Training	Field training on Facilitation Capacity (Luang Prabang)	25-27/02/2015	3	CADC	6	Mr. Sunnti, 134 (farmers and PAFO/DAFO staff in total for 3 days)
2014	Training	Field Training on Inspection (VTE province)	03-07/03/2015	5	STD	4	Mr. Vitoon
2014	Workshop	Workshop on ISO Conformity Assessment with LOB System	10-11/03/2015	2	STD	8	Mr. Vitoon
2014	Workshop	Workshop on Organic Agriculture Standard (3rd time)	17/03/2015	1	STD	10	
2015	Workshop	Workshop on Organic Agriculture Strategy	26/05/2015	1	DOA, PAFO	20	
2015	Public Hearing	Public Hearing on National Organic Agriculture Strategy (Southern Region)	30/06-01/07/2015	2	STD, CADC, PAFO (southern provinces)	37	
2015	Public Hearing	Public Hearing on National Organic Agriculture Strategy (Northern Region)	14-15/07/2015	2	STD, CADC, PAFO (northern provinces)	52	
2015	Training	ACT intern training	10-14/08/2015	5	STD	1	
2015	Training	ACT intern training	23-27/08/2015	5	STD	2	
2015	Public Hearing, Workshop	Public Hearing on National Organic Agriculture Strategy (central region) and Result Sharing of Organic Agriculture Market Analysis and Consumer Awareness Survey	10/09/2015	1	DOA, PAFO (central province), related ministry, stakeholders	46	
2015	Training	ACT intern training	04-20/10/2015	17	STD	1	
2015	Workshop	BOD Workshop	09/10/2015	1	STD, BOD members	13	Mr. Vitoon
2015	Training	TOT Training on Organic Agriculture Basic Level for PAFO/DAFO Staff	10-12/10/2015	3	CADC, PAFO/DAFO	28	Mr. Miyauchi, CADC (8), PAFO/DAFO (20)
2015	Training	ACT intern training	10-20/10/2015	11	STD	1	
2015	Training	ACT intern training	11-17/11/2015	7	STD	2	
2015	Training	Training on Internal Control System	14-17/12/2015	4	CADC, PAFO, STD	34	Ms. Nartrudee & Ms. Sumretang
2015	Training	ACT intern training	21-28/12/2015	8	STD	2	
2015	Workshop	Workshop on the Formulation of Business Outline of Organic Home	03/11/2015	1	PAFO/Farmers	20	
2016	Training	Accounting Training at Lao Japan Institute	12, 13, 15/01/2016	3	CADC/PAFO/Farmers	13	
		Grand Total		107		468	

Definition of Training, Seminar and Workshop

Annex 5 (2)

No.	Type	Definition
1	Training	The learning course for counterparts, target farmers and other related beneficiaries for acquiring specific techniques set by the Project
2	Seminar	The lecture-style learning occasion in order to share the knowledge and experience.
3	Workshop	The group discussion oriented meeting for the purpose of: drafting literal items, elaboration of plans and summary of outcome.
4	Study Meeting	Small-scale learning occasion to discuss necessary matters.
5	Study Tour	The observation at outer place apart from project sites for learning the practitioners' experience and lessons learned.
6	Public Hearing	The occasion of disseminating plans and asking for comments and suggestions from related people including PAFO/DAFO staff, development partners and so on..

LIST OF PRODUCTS

No	JFY	Item	Language	Description	Distributed To
1	2013	Project Description of Lao Organic Agriculture Promotion Project	English	Brief overview of the Project	STD, CADC, PAFO
2	2013	Draft Action Plan for Lao Organic Agriculture Promotion Project	English	Detailed plan of actions under PO with responsible organization/person and time frame	STD, CADC, PAFO
3	2013	Report: Accreditation and Certification System for Lao Organic Agriculture	English	Overview analysis of current certification system	STD, CADC, PAFO
4	2013	Report: The Survey on Lao Organic Agriculture for Lao Organic Agriculture Promotion Project	English	Overview analysis of current situation on organic farmers	STD, CADC, PAFO
5	2014	Project Leaflet	English	Brief overview of the Project	STD, CADC, PAFO
6	2014	Draft Capacity Assessment Sheet for CADC Staff	English	Format to analyze the current capacity of CPs	STD, CADC, PAFO
7	2014	Draft Capacity Assessment Sheet for STD Staff	English	Format to analyze the current capacity of CPs	STD, CADC, PAFO
8	2014	National Strategy for Organic Agriculture Sector Development, Lao PDR - 1st Draft	English	Draft of OA Strategy	STD, CADC, PAFO
9	2014	National Strategy for Organic Agriculture Sector Development, Lao PDR - 2nd Draft	English	Draft of OA Strategy	STD, CADC, PAFO
10	2014	Report: Training on Accreditation and Certification System Development	English	Report on the training of certification system development	STD, CADC, PAFO
11	2014	Report: Promoting Capacity Building of CADC staff in Conducting Training in the Field	English	Report on the facilitation skill development training of CADC staff	STD, CADC, PAFO
12	2015	Report: OA Market Analysis Survey for Promoting Organic Agriculture in Lao PDR	English	Report on the OA market analysis	STD, CADC, PAFO
13	2015	TOT Program Orientation (PPT)	Lao	Basic Level TOT Material	CADC
14	2015	OA Principal and OA Standard (Poster)	Lao	Basic Level TOT Material	CADC
15	2015	Bokashi Production (Kamishibal) - Draft	Lao	Basic Level TOT Material	CADC

LIST OF PRODUCTS

No	JFY	Item	Language	Description	Distributed To
16	2015	Herb Liquid (Kamishibai) - Draft	Lao	Basic Level TOT Material	CADC
17	2015	Liquid Fertilizer (Kamishibai) - Draft	Lao	Basic Level TOT Material	CADC
18	2015	National Strategy for Organic Agriculture Sector Development, Lao PDR - 3rd Draft	Lao/English	Draft of OA Strategy	STD, CADC, PAFO
19	2015	Strategic Plan for National Organic Agriculture Development 2025, Vision Towards 2030	Japanese	Japanese brief of OA Strategy (3rd draft as of 30 Sep, 2015)	JICA
20	2015	Accounting Training Manual by LJI	Lao	Accounting training manual	CADC, PAFO
21	2015	Production Capacity Survey of OA Association	Lao/English	Analysis of production capacity of OA Association	STD, CADC, PAFO
22	2015	Findings and Analysis from Consumer Surveys for the Establishment of Organic Home (KM8)	Lao/English	Findings and analysis from consumer surveys	STD, CADC, PAFO
23	2015	Report: Promoting Capacity Development on Internal Control System	English	Report on the ICS training of CADC staff	STD, CADC, PAFO
24	2015	Report: Training on Accreditation and Certification System Development	English	Report on the training of certification system development	To be submitted later after finishing all assignments
25	2015	Quality Management Manual	Lao/English	LCB document regarding certification system in line with ISO/IEC 17065	STD

Summary of achievement level of Output & Project Purpose/Overall goal (Prospect) of LOAPP Project

1. Outputs of the Project

(1) Output 1

Output 1		Strategic plan for national organic agriculture development is finalized.
Indicator (PDM Ver. 2)		Achievement Level & Prospects
1-1	JCC member reaches the consensus on the strategic plan in the Project JCC.	<ul style="list-style-type: none"> • Draft action plan was developed by holding a kick-off meeting with persons concerned including C/Ps (December 2013). • The outline of Lao organic agriculture was investigated by a short-term expert on "Organic Agriculture Market Survey" and a local consultant on "The Survey on Lao Organic Agriculture for LOAPP" (January to March 2014). • The 1st Draft of the Strategic plan for national OA development (hereinafter referred to as "OA Strategy") was developed (September 2014) through several steps such as making a rough draft (starting from April 2014) and by holding the 1st seminar (August 2014). • The 2nd Draft of OA Strategy was developed (March 2015) after holding the 2nd seminar (January 2015). • The OA Strategy meeting was held attended by DOA & PAFO to discuss the Lao draft of the OA Strategy (May 2015). • Overall picture of OA market situation was investigated by a local consultant on "Market Analysis Survey for Promoting OA in Lao PDR" (May and June 2015). • The 3rd draft of OA Strategy was developed (November 2015) after three times of public hearing at southern, northern and central region (June, July and September 2015). • The semi-final version of OA Strategy (English & Lao version) was completed (December 2015 and January 2016, respectively). • The draft version of the OA Strategy was shared among JCC members, and no specific comment was received from JCC members. • Strategic plan for national organic agriculture development has been approved by DOA officially.
Overall Achievement and Prospect for Output 1:		
<ul style="list-style-type: none"> • Through the survey and consultation by short-term expert and local consultant, the Strategic plan for national OA development ("OA Strategy") was developed and drafted. 		

(2) Output 2

Output 2		CADC's capacity for promotion of organic agriculture is improved.
Indicator (PDM Ver. 2)		Achievement Level & Prospects
2-1	Number of CADC trainers who are capable of conducting TOT on organic agriculture is increased by 8 persons (currently 4 persons).	<ul style="list-style-type: none"> • Capacity of CADC staff was evaluated by using the capacity assessment sheet considering the competencies to be developed (July 2014, now revising). • Technical training for CADC staff including field practice was conducted and several ideas for enhancing capacities of CADC were proposed by a short-term expert on "Organic Agriculture Technology and Training Curriculum Development" (August and September 2014). • Knowledge and skills of OA by CADC staff was cultivated by holding technical information exchange program in Thailand (December 2014). • Training on facilitation capacity was conducted by a local consultant on "Promoting Capacity Building of CADC staff in Conducting Training in the Field" including two times of field practice with other JICA projects (January

	<p>and February 2015).</p> <ul style="list-style-type: none"> • Curriculums and materials for TOT by CADC staff were developed by a short-term expert on “TOT Curriculum and Training Materials Development” (October and November 2015). • Training on Internal Control System (ICS) was conducted by seminar lecturers on “Promoting Capacity Development on ICS” (December 2015). • Currently, CADC trainers who were instructed and become more capable of conducting TOT on OA are ‘10’ persons in comparison with ‘4’ persons on 2014.
<p>Overall Achievement and Prospect for Output 2:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Most of activities in Output 2 have been implemented as planned. The Output 2 has been achieved by the time of the terminal evaluation from the viewpoint of Indicators defined in the PDM. • However, capacity level of CADC trainers in particularly on technical and facilitation skills and knowledge shall be enhanced through the accumulation of practical training and OJT continuously. (Other main activity achievement) • Function of CADC was facilitated by procuring various kinds of equipment and materials including tractor, tiller, and materials for OA fertilizer (February 2013, March and May 2015). • The activities of farmers who held temporary OA markets were strengthened by supporting procurement of tent and other materials (July and December 2014). • Ability of CADC as a training facility and pilot farm for OA was reinforced by constructing facilities (warehouse, greenhouse, electricity/water supply system) (March 2015). • A pick-up truck was procured to CADC to strengthen mobility of them (August 2015). • Function as a training facility for processing was added to CADC by constructing a packing house (December 2015). 	

(3) Output 3

Output 3	Standard Division's capacity for promotion of organic agriculture is improved.	
	Indicator (PDM Ver. 2)	Achievement Level & Prospects
3-1	Standard Division has policy documents covering at least 70% of the topics required by international norms (i.e. ISO17065) guiding the handling and conduct of the LCB certification process.	<ul style="list-style-type: none"> • Outline of OA certification system (LCB) was summarized and training system for Lao officials (LCB inspectors) was proposed by a seminar lecturer on “Accreditation and Certification System Development” (February 2014). The results of the investigations of it were presented at workshop (March 2014). • Three times of discussion session were held to revise the Organic Agriculture Standard considering regional OA standard (October and December 2014, March 2015) • Developing LCB documents in line with ISO norm were facilitated by the seminar lecturer mentioned above, including the on-site training for junior inspectors (December 2014, January and March 2015). • “Quality management manual” (QM) had finally formulated and the manual covered all the items which are stipulated by ISO 17065 (January 2016). • Therefore, the covering in policy documents is seems to be “100%” of the topics required by international norms.
3-2	All the Standard Division inspectors are capable of inspection of farms by oneself in accordance to the designated procedure.	<ul style="list-style-type: none"> • Capacity of STD staff was evaluated by using the capacity assessment sheet considering the competencies to be developed (September 2014, October to December 2015). • Through attending on-site training not only domestic field-training but also the overseas training in Thailand and Japan, all the trainees who attended the trainings had upgraded their skills of inspection. • Capacity of STD staff as inspectors had been raised through attending ACT intern trainings (August to December 2015). • Developing LCB documents had been continued (October 2015 and January

	2016, planned in April 2016). <ul style="list-style-type: none"> The number of inspectors has been increased from 4 (2014) to 6 (2015).
Overall Achievement and Prospect for Output 3:	
<ul style="list-style-type: none"> STD has developed some policy documents in line with ISO17065 depending on the results of several workshops held by a seminar lecturer. Furthermore, the capacities of inspectors have been improved by holding on-site training by the lecturer and attending ACT intern trainings. Thus, most of activities in Output 3 have been implemented as planned. The Output 3 (Policy documents covering the topics required by international norms & Capability of inspectors) has been achieved by the time of the terminal evaluation from the viewpoint of Indicators defined in the PDM. <p>(Other main activity achievement)</p> <ul style="list-style-type: none"> A car (pick-up truck) was procured to DOA to be utilized for inspection activities (July 2014). 	

2 Achievement of Project Purpose (Prospect)

Project Purpose	Structure for promotion of organic agriculture is enhanced.	
Indicator (PDM Ver. 2)	Achievement Level & Prospects	
1	At least 50% of PAFO/DAFO officers (in-charge of crop) in the target areas pass an understanding test on organic agriculture standard.	<ul style="list-style-type: none"> Through the Project support, the OA training for PAFO/DAFO officers was undertaken 2 times by CADC trainers (in Oct 2015 and Feb 2016) until the time on terminal evaluation. At the time on TOT training ("TOT training on OA Basic Level for PAFO/DAFO Staff") in October 2015, all the PAFO/DAFO officers (in-charge of crop) in the target areas who attended the training were passed the trial test on OA standard. As the second training, the Project carried out the final test (in Feb 2016), and 69% of the PAFO/DAFO trainees passed the understanding test.
2	Period required for organic certification process (after receiving completed application to notification) is no longer than 4 months.	<ul style="list-style-type: none"> The period required for organic certification process is currently 6.4 month (2015) in average which was 7 month on 2014. The causes of suspension in the certification process had already been analyzed and counter measures will be treated shortly. Therefore, it is anticipated that the process will be shorten enough to achieve the targeted level at the end of the Project.
Overall Prospect for Achievement of Project Purpose:		
<ul style="list-style-type: none"> Indicator 1 above were reached the target level ("at least 50 %"), but Indicator 2 above were not yet reached the target level ("no longer than 4 months"). It is anticipated that the structure for promotion of organic agriculture would be enhanced substantially by attaining two (2) Indicators defined in the PDM as discussed above through the Project activities. In this sense, the Project Purpose shall be achieved at a satisfactory level by the end of the Project. 		

3 Achievement of Overall goal (Prospect)

Overall goal	Structure for promotion of organic agriculture is functional.	
Indicator (PDM Ver. 2)	Achievement Level & Prospects	
1	More than 40 times of CADC trainings on organic agriculture for PAFO/DAFO technicians/ farmer's groups/etc. are conducted after the project termination.	<p><Past & Current situation of CADC trainings on OA for PAFO/DAFO technicians/farmer's groups/etc.></p> <ul style="list-style-type: none"> Year 2013: 32 times of CADC trainings Year 2014: 13 times of CADC trainings Year 2015: 16 times of CADC trainings
2	Number of cases that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups trained by CADC and PAFO/DAFO is increased by 4 times	<p><Past & Current number of cases></p> <p>Number of cases that STD conducted organic inspection and certification to organic farmers groups trained by CADC and PAFO/DAFO were described below.</p>

(currently 2 cases increased to 8 cases).	<ul style="list-style-type: none"> • 2 cases (2014) • 2 cases (2015)
<p>Overall Prospect for Achievement of Overall goal:</p> <p><Indicator 1 of Overall goal ></p> <ul style="list-style-type: none"> • During the last three years, the CADC trainings on OA for PAFO/DAFO technicians/ farmer's groups/etc., were conducted 32, 13 and 16 times on Year 2013, 2014 and 2015 respectively. • Within current PDM version 2, the target values of the Objectively Verifiable Indicators (OVIs) were supposed to be determined two years after the commencement. Therefore, the year targeted will be "2018". • Based on current situation and trend of CADC trainings on OA, it is not possible to attain the target level ("more than 40 times of CADC trainings"). • At the time on beginning of the Project year "2013", the number of CADC trainings was "32 times", therefore it is highly expected such increasing trend of training, however, the trend were not favorably and declined due to budget constraints. • Therefore, the Team proposes that the OVI shall be modified according to the current situation. <p><Indicator 2 of Overall goal></p> <ul style="list-style-type: none"> • It is hardly expected the increased number of cases that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups based on past situation. Because it depends on the tangible structure for promotion of organic agriculture, in deeds, it is necessary to secure continuous resources including financial and human resources. • Therefore, the Team proposes that the OVIs shall be modified based on the current situation. 	

Detail Description of Project Implementation Process

(1) Implementation structure and monitoring system (Management and Operation Structure including management system, communication between C/P, monitoring of project activities)

The Project activities have been monitored and managed by the "Action Plan" developed at the kick-off meeting from the PO and authorized at the 1st JCC meeting, which stipulates the timing and responsible bodies of each activity.

The LOAPP Project developed the annual planning of activities with each C/P before starting of the new FY. The annual activities have been monitored and coordinated by "Planning Chart of Activities" or a similar format. The daily activities have been discussed at the regular meeting, which has been held basically once per 1-2 weeks. The minutes of the regular meetings have been made and circulated among all C/Ps every time. The daily contact each other has been done through telephone and e-mails. When the discussions are complicated, C/Ps and the JICA experts hold the meetings to solve the issues. Also, the experts sometimes discussed directly with the person of higher position at DOA such as DDG when urgent and/or significant issues arose. However, after the appointment of current Project Manager (PM), there was no need to discuss with higher positioned persons basically since the communications with upper management have been smoothly done.

There have been several occasions that the regular meeting could not be held for more than one month and sudden cancellation of planned workshop took place. One of the reasons can be that the C/Ps were too busy and occupied with other urgent duties as one of the organizations under DOA/MAF. To avoid the delay of the Project activities, JICA experts have been asking them to inform their schedule as early as possible and clarify responsible person.

(2) Technical Transfer

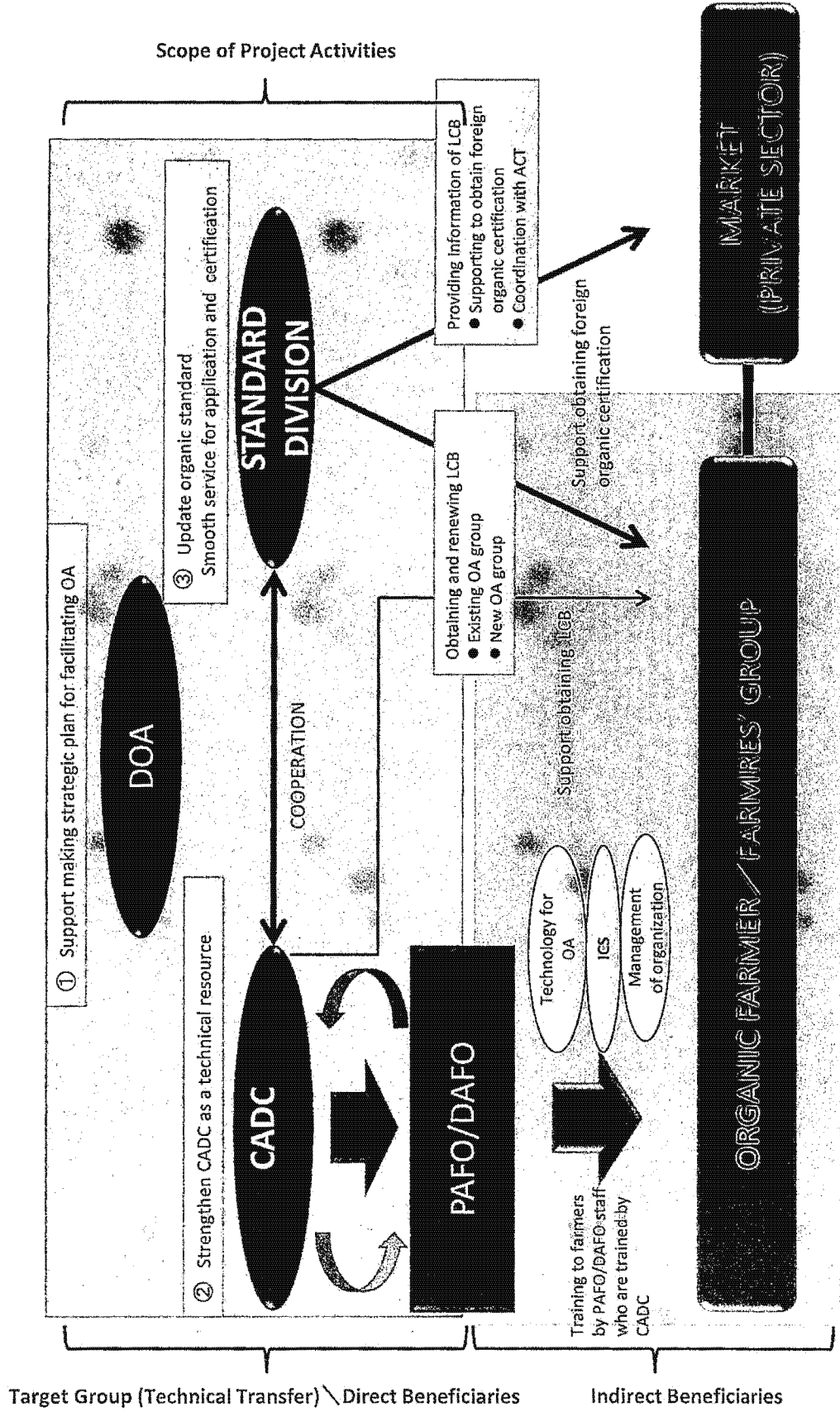
The technical transfer has been conducted mainly inviting short-term experts and seminar lecturers as well as contracting local consultants. The JICA experts have supported C/Ps to develop persuasive documents when they request something to the LOAPP Project. Also, the C/Ps have exercised to develop plans in advance, and the activities were conducted in accordance with the plans in principle.

In terms of the short-term experts and seminar lecturers, it was not easy to recruit appropriate persons for longer periods since they had other engagements; therefore, the contract period was too short to deal with all the duties which the Project expected in some cases. From such experiences, the Project found out alternatives that the third country experts or lecturers might have been able to provide effective trainings in consideration of efficient communication and budget. The Project invited from outer resources (8 Thai and 2 Malaysian), and also the Project employed local consultants 3 times for undertaking research activities.

**LAO ORGANIC AGRICULTURE PROMOTION PROJECT (LOAPP)
PROJECT IMPLEMENTATION STRUCTURE**

Annex 9

To clarify each Division's roles and activities at MAF in promoting organic agriculture, and to strengthen the capacities of DOA and CADC



Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Lao Organic Agriculture Promotion Project
 Target Area: Vientiane Capital
 Target Group: DOA¹ officers (Standard Division and CADC²), PAFO³/DAFO⁴ officers of Vientiane Capital

Project Period: Sep 2013 ~ Sep 2016
 PDM (Version 3)

Date: 4th March, 2016

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal</p> <p>Structure for promotion of organic agriculture is functional.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - More than 20 times of farmer's training on organic agriculture by CADC and PAFO/DAFO are conducted annually after the project termination. - Number of cases⁵ that Standard Division conducts organic inspection and certification to organic farmers groups increased by 10% year by year. 	<ul style="list-style-type: none"> - DOA and DAEC reports - DOA report 	
<p>Project Purpose</p> <p>Structure for promotion of organic agriculture is enhanced.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - At least 50% of PAFO/DAFO officers (in-charge of crop) in the target areas pass an understanding test on organic agriculture standard. - Period required for organic certification process (after receiving completed application to notification) is no longer than 4 months. 	<ul style="list-style-type: none"> - Results of examinations (for PAFO officers) - Project reports 	<ul style="list-style-type: none"> - Market of organic agricultural products is secured. - Necessary budget for CADC trainings is secured by the government of Laos. - Serious natural disaster does not occur. - Usage of pesticide nearby target farms can be controlled.
<p>Outputs</p> <p>1 Strategic plan for national organic agriculture development is finalized.</p> <p>2 CADC's capacity for promotion of organic agriculture is improved.</p> <p>3 Standard Division's capacity for promotion of organic agriculture is improved.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ICC member reaches the consensus on the strategic plan in the Project ICC. - Number of CADC trainers who are capable of conducting TOT on organic agriculture is increased by 8 persons (currently 4 persons). - Standard Division has policy documents covering at least 70% of the topics required by international norms (i.e. ISO17065) guiding the handling and conduct of the LCB certification process. - All the Standard Division inspectors are capable of inspection of farms by oneself in accordance to the designated procedure. 	<ul style="list-style-type: none"> - Project reports - Project reports/training reports - Project reports - Project reports 	<p>Trained officers of Standard Division and CADC are not transferred.</p>

Activities	Inputs	Lao side	Precondition
1-1 Review current situation and issues to be addressed Lao organic agriculture	Japanese side	Lao side	Sufficient numbers of staffs are assigned to Standard Division and CADC.
1-2 Review current situation and issues to be addressed domestic and foreign organic agriculture market	1. Long-term Experts - Chief Advisor/Organic agriculture - Coordinator/Training and extension	1. Assignment of counterparts - Project Director - Project Manager and the other counterparts	
1-3 Organize seminar(s) to share the results of the review above with DOA and the other organizations concerned	2. Short-term Experts - Organic certification system - Field inspection - Organic farm management- Integrated Pest Management, etc.	2. Facilities Office space and other facilities	
1-4 Clarify the roles and responsibilities among Standard Division, CADC and other sections in MAF*6	3. Equipment and materials Project vehicle, office equipment, training materials, and others	3. Project operation cost Electricity, stationary, telephone and communication cost, and others if any	
1-5 Prepare a strategic plan for national organic agriculture development	4. Training Training in Japan and in a third country (Thailand, Vietnam, and China)		
2-1 Review current situation and issues to be addressed in awareness raising and extension of organic agriculture			
2-2 Set up/renovate necessary facilities in CADC for training and demonstration (warehouse, packinghouse, greenhouse, etc.)			
2-3 Prepare/update handbooks and training/awareness raising materials			
2-4 Conduct training for CADC staff on awareness raising and extension of organic agriculture			
2-5 Prepare TOT*7 curriculum regarding awareness raising and extension of organic agriculture			
2-6 Prepare extension materials for extension of organic agriculture			
2-7 Conduct TOT for PAFO/DAFO staff in the pilot area			
2-8 Provide support to PAFO /DAFO staff to conduct training for farmers			
2-9 Support farmers' groups/farmers in obtaining organic certifications			
2-10 Support farmers' groups/farmers for marketing activities (permanent OA market, etc.)			
3-1 Review current situation of organic agriculture certification			
3-2 Propose possible improvements on Standard Division's organic agriculture certification (to DOA and Standard Division)			
3-3 Prepare/update standard, guidelines, handbooks and handouts related to certification and inspection			
3-4 Conduct training for Standard Division staff on inspection method(s) on organic agriculture certification			
3-5 Support Standard Division to conduct field inspection for organic agriculture certification			
3-6 Support farmers' groups/farmers in obtaining the foreign organic certification			

NOTE (Abbreviation):

*1 DOA: Department of Agriculture

*2 CADC: Clean Agriculture Development Center

*3 PAFO: Provincial Agriculture and Forestry Office

*4 DAFO: District Agriculture and Forestry Office

*5 Cases including not only new application but also renewal of certification

*6 MAF: Ministry of Agriculture and Forestry

*7 TOT: Training of Trainers

(A)

